

あきた公共施設等総合管理計画 に基づく個別施設計画

【施設の存廃による県民生活への影響が認められる公共施設】

平成 2 9 年 8 月
秋 田 県

(平成 2 9 年 8 月 3 1 日策定)

(平成 3 0 年 3 月 3 0 日更新)

(平成 3 1 年 3 月 2 9 日更新)

目 次

1	総務部所管施設	
1)	【総括表】防災備蓄倉庫	1
	・ 県北地区防災備蓄倉庫	2
	・ 中央地区防災備蓄倉庫	4
	・ 県南地区防災備蓄倉庫	6
2)	消防防災航空隊	8
3)	消防学校	10
4)	自治研修所	12
2	あきた未来創造部所管施設	
1)	【総括表】地域振興局	14
	・ 鹿角地域振興局庁舎	15
	・ 北秋田地域振興局庁舎	17
	・ 北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	19
	・ 山本地域振興局庁舎	21
	・ 由利地域振興局庁舎	23
	・ 仙北地域振興局庁舎	25
	・ 平鹿地域振興局庁舎	27
	・ 雄勝地域振興局庁舎	29
	・ 鹿角地域振興局職員会館	31
	・ 北秋田地域振興局職員会館	33
	・ 山本地域振興局職員会館	35
	・ 由利地域振興局職員会館	37
	・ 仙北地域振興局職員会館	39
	・ 平鹿地域振興局職員会館	41
	・ 雄勝地域振興局職員会館	43
2)	ゆとり生活創造センター（遊学舎）	45
3)	児童会館	47
4)	子ども博物館	49
3	観光文化スポーツ部所管施設	
1)	【総括表】オートキャンプ場	51
	・ 八幡平オートキャンプ場	52
	・ 男鹿オートキャンプ場	54
	・ 宮沢海岸オートキャンプ場	56
	・ 由利高原オートキャンプ場	58
	・ 田沢湖オートキャンプ場	60
2)	大潟スポーツ宿泊センター（サンルーラル大潟）	62
3)	秋の宮山荘	64
4)	鳥海観光宿泊センター（フォレスト鳥海）	66
5)	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	68
6)	秋田ふるさと村	70
7)	新玉川地区リゾート整備基盤施設	72
8)	田沢湖スキー場	74
9)	男鹿水族館	76
10)	総合プール	78
11)	スケート場	80
12)	武道館	82
13)	体育館	84
14)	総合射撃場	86
15)	田沢湖スポーツセンター	88
16)	スポーツ科学センター	90
17)	能代山本スポーツリゾートセンター	92
18)	大館地区多目的ドーム	94
19)	向浜運動広場	96
20)	新屋運動広場	98
21)	野球場	100
22)	大潟漕艇場	102
23)	鹿角トレーニングセンター	104
24)	総合食品研究センター	106
25)	県民会館	108
26)	総合生活文化会館（アトリオン）	110

4 健康福祉部所管施設

1)	【総括表】地域振興局福祉環境部	112
	・ 北秋田地域振興局大館福祉環境部	113
	・ 北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	115
	・ 山本地域振興局福祉環境部	117
	・ 秋田地域振興局福祉環境部	119
	・ 由利地域振興局福祉環境部	121
	・ 仙北地域振興局福祉環境部	123
	・ 平鹿地域振興局福祉環境部	125
	・ 雄勝地域振興局福祉環境部	127
2)	社会福祉会館	129
3)	福祉相談センター	131
4)	総合保健センター	133
5)	中央児童相談所	135
6)	千秋学園	137
7)	母子福祉総合センター	139
8)	衛生看護学院	141
9)	【総括表】老人福祉総合エリア	143
	・ 北部老人福祉総合エリア	144
	・ 中央地区老人福祉総合エリア	146
	・ 南部老人福祉総合エリア	148
	・ 能代山本老人福祉総合エリア	150
	・ 南部老人福祉総合エリア(軽費老人ホーム)	152
	・ 南部老人福祉総合エリア(養護老人ホーム)	154
10)	点字図書館	156
11)	健康増進交流センター(ユフォーレ)	158
12)	心身障害者コロニー	160
13)	身体障害者更生訓練センター	162

5 生活環境部所管施設

1)	環境保全センター	164
2)	動物管理センター	166
3)	食肉衛生検査所	168
4)	健康環境センター	170
5)	鳥獣保護センター(傷病鳥獣救護・野生化訓練棟)	172
6)	【総括表】鳥海国定公園	174
	・ 鳥海国定公園(鉾立ビジターセンター)	175
	・ 鳥海国定公園(祓川休憩所)	177
7)	秋田白神県立自然公園(素波里ふるさと自然公園センター)	179
8)	森吉山県立自然公園(こめつが山荘)	181
9)	【総括表】環境と文化のむら	183
	・ 環境と文化のむら(文化の館)	184
	・ 環境と文化のむら(自然ふれあいセンター)	186
	・ 環境と文化のむら(愛鳥山荘)	188
10)	新玉川温泉健康保養基地(玉川温泉ビジターセンター)	190
11)	【総括表】奥森吉青少年野外活動基地	192
	・ 奥森吉青少年野外活動基地(野外活動センター)	193
	・ 奥森吉青少年野外活動基地(親子キャンプ場サニタリー)	195
12)	秋田駒ヶ岳情報センター	197
13)	能代産業廃棄物処理センター	199

6 農林水産部所管施設

1)	【総括表】地域振興局農村整備課	201
	・ 山本地域振興局農村整備課(水沢ダム管理事務所)	202
	・ 由利地域振興局農村整備課(旧由利南部総合土地改良事務所)	204
	・ 雄勝地域振興局農村整備課(旧雄勝平野土地改良事務所)	206
2)	農業試験場(雄和)	208
3)	【総括表】果樹試験場	210
	・ 果樹試験場	211
	・ 果樹試験場天王分場	213
4)	かつの果樹センター	215
5)	畜産試験場	217
6)	【総括表】水産振興センター	219

	・ 水産振興センター	220
	・ 水産振興センター内水面試験池	222
7)	林業研究研修センター	224
8)	【総括表】家畜保健衛生所	226
	・ 北部家畜保健衛生所	227
	・ 中央家畜保健衛生所	229
	・ 南部家畜保健衛生所	231
9)	花き種苗センター	233
10)	秋田県種苗センター	235
11)	秋田県種苗センター（神岡）	237
12)	県営秋田港魚市場	239
13)	森林学習交流館（プラザクリプトン）	241

7 産業労働部所管施設

1)	計量検定・計量検定所	243
2)	【総括表】産業技術センター	245
	・ 産業技術センター本館	246
	・ 産業技術センター高度技術研究館	248
3)	勤労身体障害者スポーツセンター	250
4)	【総括表】技術専門校	252
	・ 鷹巣技術専門校	253
	・ 秋田技術専門校	255
	・ 大曲技術専門校	257
5)	職業訓練センター	259
6)	金属鋁業研修技術センター	261

8 建設部所管施設

1)	県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟	263
2)	【総括表】県立中央公園（スポーツ施設）	265
	・ 県立中央公園トレーニングセンター	266
	・ 県立中央公園スカイドーム	268
	・ 県立中央公園庭球場メインスタンド	270
	・ 県立中央公園球技場メインスタンド	272
	・ 県立中央公園陸上競技場メインスタンド	274
	・ 県立中央公園野球場メインスタンド	276
	・ 県立中央公園フィールドアスレチック管理棟	278
3)	【総括表】県営住宅	280
	・ 県営萩の台住宅	282
	・ 県営獅子ヶ森住宅	284
	・ 県営花岡改良住宅	286
	・ 県営芝童森住宅	288
	・ 県営旭南住宅	290
	・ 県営新屋住宅	292
	・ 県営大野住宅	294
	・ 県営手形山住宅	296
	・ 県営松崎住宅	298
	・ 県営イサノ住宅	300
	・ 県営桜ガ丘住宅	302
	・ 県営土崎港住宅	304
	・ 県営御野場住宅	306
	・ 県営矢留改良住宅	308
	・ 県営新屋改良住宅	310
	・ 県営将軍野改良住宅	312
	・ 県営船越内子住宅	314
	・ 県営追分長沼住宅	316
	・ 県営南ヶ丘住宅	318
	・ 県営高森住宅	320
	・ 県営梵天住宅	322
	・ 県営船場町住宅	324
	・ 県営吉沢住宅	326
	・ 県営朝日が丘住宅	328
	・ 県営倉内住宅	330
4)	【総括表】県立中央公園（スポーツ施設を除く）	332
	・ 県立中央公園休憩所（ファミリーピクニックゾーン）	333

	・ 県立中央公園宿泊棟	335
5)	【総括表】県立小泉潟公園	337
	・ 県立小泉潟公園事務所	338
	・ 県立小泉潟公園休憩所	340
6)	【総括表】県立北欧の杜公園（オートキャンプ場管理棟を除く）	342
	・ 県立北欧の杜公園中央休憩所	343
	・ 県立北欧の杜公園パークセンター	345
7)	秋田空港	347
8)	大館能代空港	349
9)	南ヶ丘ニュータウン事務所	351
8	出納局所管施設	
1)	【総括表】県庁舎等	353
	・ 秋田県庁舎	354
	・ 秋田地方総合庁舎	356
	・ 秋田県庁第二庁舎	358
2)	【総括表】職員公舎（一定規模を超える施設）	360
	・ 職員公舎（矢留）	361
	・ 職員公舎（川尻）	363
9	警察本部所管施設	
1)	【総括表】警察施設等	365
	・ 警察本部庁舎、第二庁舎	366
	・ 運転免許センター庁舎	368
	・ 警察本部別館（交通機動隊）	370
	・ 航空隊庁舎	372
	・ 警察学校道場	374
	・ 警察学校体育館	376
	・ 機動隊屋内訓練場（道場）	378
	・ 鹿角警察署	380
	・ 大館警察署	382
	・ 北秋田警察署	384
	・ 能代警察署	386
	・ 五城目警察署	388
	・ 男鹿警察署	390
	・ 秋田臨港警察署	392
	・ 秋田中央警察署	394
	・ 秋田東警察署	396
	・ 由利本荘警察署	398
	・ 大仙警察署	400
	・ にかほ警察署	402
	・ 仙北警察署	404
	・ 横手警察署	406
	・ 湯沢警察署	408
	・ 北秋田警察署 森吉幹部交番	410
	・ 北秋田警察署 合川駐在所	412
	・ 能代警察署 三ツ井交番	414
	・ 秋田東警察署 城東交番	416
	・ 由利本荘警察署 矢島幹部交番	418
	・ にかほ警察署 仁賀保駐在所	420
	・ 大仙警察署 協和交番	422
	・ 大仙警察署 美郷交番	424
	・ 横手警察署 増田幹部交番	426
10	教育委員会所管施設	
1)	【総括表】高等学校	428
	・ 花輪高等学校	430
	・ 十和田高等学校	432
	・ 小坂高等学校	434
	・ 大館鳳鳴高等学校	436
	・ 大館鳳鳴高等学校（定時制）	438
	・ 大館国際情報学院中学校・高等学校	440
	・ 大館桂桜高等学校	441-1
	・ 秋田北鷹高等学校	442

・	二ツ井高等学校	444
・	能代高等学校	446
・	能代松陽高等学校	448
・	能代工業高等学校	450
・	能代西高等学校	452
・	五城目高等学校	454
・	男鹿海洋高等学校	456
・	男鹿工業高等学校	458
・	金足農業高等学校	460
・	秋田西高等学校	462
・	秋田高等学校	464
・	秋田北高等学校	466
・	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	468
・	秋田中央高等学校	470
・	秋田工業高等学校	472
・	秋田明德館高等学校	474
・	新屋高等学校	476
・	本荘高等学校	478
・	由利高等学校	480
・	由利工業高等学校	482
・	矢島高等学校	484
・	西目高等学校	486
・	仁賀保高等学校	488
・	西仙北高等学校	490
・	大曲農業高等学校	492
・	大曲農業高等学校太田分校	494
・	大曲高等学校	496
・	大曲工業高等学校	498
・	角館高等学校	500
・	角館高等学校（定時制）	502
・	六郷高等学校	504
・	横手高等学校	506
・	横手城南高等学校	508
・	横手清陵学院中学校・高等学校	510
・	平成高等学校	512
・	雄物川高等学校	514
・	増田高等学校	516
・	湯沢高等学校	518
・	湯沢高等学校稲川分校	520
・	湯沢翔北高等学校	522
・	羽後高等学校	524
・	雄勝高等学校	526
2)	【総括表】特別支援学校	528
・	視覚支援学校	529
・	聴覚支援学校	531
・	比内支援学校	533
・	比内支援学校たかのす校	535
・	比内支援学校かつの校	537
・	能代支援学校	539
・	栗田支援学校	541
・	大曲支援学校	543
・	横手支援学校	545
・	稲川支援学校	547
・	ゆり支援学校	549
・	天王みどり学園	551
・	秋田きらり支援学校	553
3)	【総括表】教育機関	555
・	総合教育センター	556
・	自然体験活動センター	558
・	青少年交流センター	560
・	県立美術館	562
・	近代美術館	564
・	博物館	566
・	奈良家	568

・ 埋蔵文化財センター	570
・ 農業科学館	572
・ 図書館・公文書館	574
・ あきた文学資料館	576
・ 生涯学習センター	578
・ 大館少年自然の家	580
・ 保呂羽山少年自然の家	582
・ 岩城少年自然の家	584
・ 旧県立美術館	586

【総括表】

部局(庁)名	総務部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(防災備蓄倉庫)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県北地区防災備蓄倉庫	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	中央地区防災備蓄倉庫	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	県南地区防災備蓄倉庫	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

県として大規模災害時に必要な救援物資を県内各地に分散備蓄しているものであり、各備蓄倉庫に優先順位はない。修繕が必要になった際には、各備蓄倉庫の状況を勘案して対応する。

1	施設名	県北地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	県北地区防災備蓄倉庫	所在地	北秋田市脇神字ハケノ下
施設面積	840.00 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	88,382,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な行政施設である。また、建物の健全性も大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

大規模災害時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散化することを目的に現体制となっているため、集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であり、県以外の民間によるサービス代替性がないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

防災備蓄倉庫として防災行政における不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の救援物資の倉庫であり、空きスペースも無いことから市町村協働の検討はしていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後20年を経過しているため、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕を実施し、施設全体の長寿命化を図る。一方で、修繕費用が著しく高額となった場合などには、更新を検討する。

4 管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5 管理に関する実施方針

県内で発生した大規模災害時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。

なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は30年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

県北地区防災備蓄倉庫に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
35	倉庫オーバースライダー動作不良のための修繕	1,000	築25年経過
	通用口ドアノブ・錠前交換	100	
	(合 計)	1,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	375,900	386,640	386,640	
運用コスト	42,143	29,141	38,880	
修繕コスト	35,700	75,060	0	
その他				
(合計)	453,743	490,841	425,520	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

2	施設名	中央地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	中央地区防災備蓄倉庫	所在地	秋田市雄和椿川字山簗
施設面積	480.00 m ²	建設年	平成14年
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	43,844,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な行政施設である。また、建物の健全性も大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。

※ 集約・複合化の検討について

大規模災害時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散化することを目的に現体制となっているため、集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であり、県以外の民間によるサービス代替性がないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

防災備蓄倉庫として防災行政における不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の救援物資の倉庫であり、空きスペースも無いことから市町村協働の検討はしていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後16年を経過しているため、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕を実施し、施設全体の長寿命化を図る。一方で、修繕費用が著しく高額となった場合などには、更新を検討する。

4 管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5 管理に関する実施方針

県内で発生した大規模災害時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。
 なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は30年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

中央地区防災備蓄倉庫に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,500	10,800	10,800	
運用コスト	—	—	—	光熱水費等は消防防災航空隊に含むため、個別に計上できない
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	10,500	10,800	10,800	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

3	施設名	県南地区防災備蓄倉庫

1 施設の概要

施設名称	県南地区防災備蓄倉庫	所在地	横手市赤坂字館の下
施設面積	801.24 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	80,038,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であるため、必要不可欠な行政施設である。また、建物の健全性も大きな問題がないことから、機能維持のための予防保全を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

大規模災害時に倉庫自体の被害や交通網の遮断リスクを分散化することを目的に現体制となっているため、集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

災害対策基本法等により県として備蓄が義務づけられた救援物資の倉庫であり、県以外の民間によるサービス代替性がないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

防災備蓄倉庫として防災行政における不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の救援物資の倉庫であり、空きスペースも無いことから市町村協働の検討はしていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

県内で発生した大規模災害時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。

なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は30年を目標とする。

4 管理上の課題等

施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要であること。

5 管理に関する実施方針

県内で発生した大規模災害時に物資供給機能が果たせるよう、施設管理について専門的知識を持つ営繕課等の職員や外部の専門業者の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。
 なお、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は30年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

県南地区防災備蓄倉庫に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
35	倉庫オーバースライダー動作不良のための修繕	1,000	築25年経過
	通用口ドアノブ・錠前交換	100	
	(合 計)	1,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	289,380	270,000	270,000	
運用コスト	37,203	38,378	39,485	
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	326,583	308,378	309,485	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	該当事項なし

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	施設の性質上、利用者ないしそれに類する指標は

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（消防防災航空隊）

1 施設の概要

施設名称	消防防災航空隊	所在地	秋田市雄和椿川
施設面積	1,166.01 m ²	建設年	平成11年
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	166,064,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県の消防防災航空隊の活動拠点であり、必要不可欠な行政施設である。建物の健全性についても大きな問題はないことから、機能維持の観点から予防保全型の管理を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

既に消防防災航空隊基地と警察航空隊基地の機能を集約させた施設であり、さらなる集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

全県域を対象とする航空消防防災業務や警察業務を行うための施設であり、民間等の県以外の主体によるサービス代替性はないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

全県域を対象とする航空消防防災業務や警察業務を行うための施設として、県行政の不可欠な機能を果たしており、利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

市町村に類似施設はない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

構造上の耐久性等に問題はないが、築後17年を経過しており、施設設備の適時適切なメンテナンス及び予防保全型の修繕などを実施することにより施設全体の長寿命化を図り、法定耐用年数の34年経過後も可能な限り長く使用することを目標とする。修繕費用が著しく高額となった場合などには、更新を検討する。

4 管理上の課題等

- ・施設設備の適時適切なメンテナンスの実施が必要である。
- ・老朽化が進み既に不具合が生じている箇所の早期の修繕が必要である。
- ・予防保全型の高額修繕の実施が必要である。

5 管理に関する実施方針

自隊のみならず、県内で発生した大規模災害時に全国から集う緊急消防援助隊の活動拠点施設として完全に機能を果たせるよう、建物、機械設備、電気設備及び外構設備について、営繕課等の専門的知識を持った職員や外部の専門家の判断を仰ぎながら、時期を逸することなく、修繕等を行っていく。

6 管理に関する実施計画

消防防災航空隊施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	航空保安維持のための警戒センサー設置	16,568	築後18年経過
	格納庫泡消火設備維持のための修繕 ほか	11,098	
30	屋根・外壁の修繕	32,998	築後19年経過
	航空燃料給油施設維持のための修繕	1,627	
	格納庫オーバードア動作不良のための修繕	1,242	
	エアコン冷媒配管修繕 ほか	895	
31	航空保安維持のための監視カメラの設置	20,163	築後20年経過
	不良鉄製扉の交換	2,621	
	埋設電気ケーブルの交換 ほか	2,020	
32	正面ゲート腐食・損壊に伴う交換	2,500	築後21年経過
	航空燃料給油施設維持のための修繕 ほか	10,000	
33	照明設備交換 ほか	11,934	築後22年経過
	航空燃料給油施設維持のための修繕 ほか	10,000	
34	基地地盤沈下防止対策、排水路改修	16,500	築後23年経過
	航空燃料給油施設維持のための修繕 ほか	10,000	
35	受水導水、ガス給湯設備交換 ほか	26,500	築後24年経過
36	受電設備交換 ほか	26,500	築後25年経過
37	非常用発電設備交換 ほか	26,500	築後26年経過
	(合 計)	229,666	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,400	3,400	3,400	
運用コスト	2,600	2,600	2,600	
修繕コスト	2,000	26,000	37,200	
その他				
(合計)	8,000	32,000	43,200	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（消防学校）

1 施設の概要

施設名称	消防学校	所在地	由利本荘市岩城内道川字築館1－1
施設面積	8,910.82 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	管理研修棟（RC造3階）他10棟	台帳価格	620,464,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 消防組織法により県に設置が義務づけられている行政施設である。建物の健全性については、大きな問題はないものの、老朽化が進んでおり、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

建替等の計画はなく、他に類似施設もないことから、集約・複合化の検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

消防職員等の教育機関としての機能上、民間等の県以外の主体によるサービス代替性がないことから、公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

消防職員等の教育機関として県行政の不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

消防組織法により県に設置が義務づけられた施設であり、市町村に類似施設はない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

構造上の耐久性及び耐震性に問題は無いが、各種設備の老朽化や交換部品供給の停止が懸念されており、消防学校としての機能を維持するための必要な修繕を行いながら、さらに20年以上使用する予定。

4 管理上の課題等

老朽化により外壁にひびが入る等、コンクリート片落下の危険性がある箇所が多い。また、壁からの浸水、屋根からの漏水（未修繕箇所）も頻繁に確認される。
また、教育訓練基準の一部改正により、実践的訓練施設の整備が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・屋内訓練場屋根について、強風を伴う降雨の際に漏水することから、改修を行う。
- ・外周フェンスは老朽化により破損していることから、安全面に配慮し改修を行う。
- ・降雨時に車庫備蓄倉庫の外壁及び屋根から漏水することから、改修を行う。
- ・本校は大規模災害時の緊急消防援助隊集結場所に指定されていることから、全国から集結する消防車両等の駐車及びテント設営等のためのスペース確保が必要である。

6 管理に関する実施計画

消防学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	屋内訓練場屋根改修	24,268	
32	フェンス改修	10,863	
32	駐車場整備工事	57,156	
32	車庫備蓄倉庫屋根外壁改修	18,376	
33	構内舗装	27,344	
	(合 計)	138,007	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,697	4,262	4,188	
運用コスト	8,297	9,689	8,291	
修繕コスト	56,908	15,510	8,269	H25屋内訓練場西側屋根改修 H26放水訓練場舗装改修 H27宿泊棟厨房空調更新
その他	0	0	0	
(合計)	68,902	29,461	20,748	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,136	16,071	11,562	

部局(庁)名

総務部

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(自治研修所)**

1 施設の概要

施設名称	自治研修所	所在地	潟上市天王
施設面積	7,057.00 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・4階	台帳価格	1,316,677,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県職員及び市町村職員の公務員としての資質の向上を図るための研修所であり、必要不可欠な行政施設である。建物の健全性についても大きな問題がないことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

建替等の計画はなく、他に類似施設がないことから集約・複合化は検討していない。
 なお、県教育委員会所管の総合教育センターと設備の共有や一体的管理を行っており、今後も施設・設備の修繕や更新に当たっては、県教育委員会との連携が必要である。

※ 公民連携の検討について

県及び市町村職員の研修機関としての機能上、民間等の県以外の主体によるサービス代替性はないことから公民連携は検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

職員の研修所として県行政の不可欠な機能を果たしており、施設利用上の問題もないことから、民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

既に県職員及び市町村職員の合同研修所として機能しており、市町村施設との集約は、現在のところ想定できない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

構造上の耐久性及び耐震性に問題はないが、築後24年を経過しており、各種設備の老朽化や交換部品供給の停止が懸念される。職員の研修施設としての機能を維持・向上させるために必要な修繕を実施しながら、目標使用年数の60年使用する予定。

4 管理上の課題等

老朽化が顕著である自動火災報知設備、誘導灯、自動制御設備等の設備機器・非常警報設備等については、早急な修繕が必要である。実施に当たっては、各年度における研修が年間を通して予定されていることから、研修のスケジュールと実施時期との調整が必要になる。
 また、修繕の実施に当たっては、設備を共有する県教育委員会（総合教育センター）ともスケジュールや予算の調整が必要である。

5 管理に関する実施方針

研修所としての研修環境を維持・向上させるため、直近では、自動火災報知設備や誘導灯、研修所設備を制御・監視する自動制御設備及び中央監視装置の更新が急務である。その他の施設・設備についても、営繕課等の専門的知見を持った職員や外部の専門家に判断を仰ぎながら、老朽化の診断を実施し、時期を逸することなく、修繕・更新を続けていく必要がある。

6 管理に関する実施計画

自治研修所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	自動火災報知設備更新	36,628	教育センター折半
H32	防災設備（誘導灯）：管理棟、宿泊棟	3,988	
H32	直流電源装置	23,512	教育センター折半
H32	中央監視装置更新	22,176	教育センター折半
H32	自動制御設備更新	86,957	
H33	浴槽系循環濾過装置更新	10,195	教育センター折半
H34	照明設備LED改修	9,933	
H34	屋上防水改修	90,860	30,800円/㎡×建築面積
H35	昇降機更新	31,106	
	(合 計)	315,355	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	14,640	14,582	15,071	
運用コスト	3,922	4,095	2,991	
修繕コスト	601	668	1,772	
その他				
(合計)	19,163	19,345	19,834	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,112	13,037	13,963	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,975	5,890	4,945	

【総括表】

部局(庁)名	あきた未来創造部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(地域振興局)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鹿角地域振興局庁舎	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
2	北秋田地域振興局庁舎	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	大館市	存続	大規模修繕を実施
4	山本地域振興局庁舎	能代市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局庁舎	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局庁舎	大仙市	存続	大規模修繕を実施
7	平鹿地域振興局庁舎	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局庁舎	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9	鹿角地域振興局職員会館	鹿角市	廃止	集約化(従)を実施
10	北秋田地域振興局職員会館	北秋田市	廃止	集約化(従)を実施
11	山本地域振興局職員会館	能代市	廃止	集約化(従)を実施
12	由利地域振興局職員会館	由利本荘市	廃止	集約化(従)を実施
13	仙北地域振興局職員会館	大仙市	廃止	集約化(従)を実施
14	平鹿地域振興局職員会館	横手市	廃止	集約化(従)を実施
15	雄勝地域振興局職員会館	湯沢市	廃止	集約化(従)を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

【個別票】

1	施設名	鹿角地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局庁舎	所在地	鹿角市花輪字六月田 1
施設面積	5,511.23 m ²	建設年	S40
構造・階数	鉄筋コンクリート造 3階建	台帳価格	129,504,009 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。 ・設置目的にも合致した使用状況となっている。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により地域振興局庁舎に生じた余剰スペースを活用、オフィススタンダードの推進により空きスペース等を確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。 ・空調設備等の耐久性は低いが、大規模修繕により対応可能。 ・職員数の減少による効率性の低下は、課室の再配置により対応予定。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新や屋根防水改修を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

鹿角地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷温水発生機他機器	40,060	
H32	屋上防水改修	21,009	
	(合 計)	61,069	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,611	5,611	5,620	
運用コスト	8,054	8,044	6,637	
修繕コスト	30	0	6	
その他				
(合計)	13,695	13,655	12,263	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

2	施設名	北秋田地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局庁舎	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	5,288.51 m ²	建設年	S 4 6
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	159,225,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・空調設備は、20年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。
・煙突の断熱材にアスベストの含有が認められ、対策が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 早期に煙突改修を行い、引き続き、空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・ また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	煙突改修	31,838	
H34	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	96,838	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,768	6,768	6,768	
運用コスト	7,896	7,896	7,896	
修繕コスト	2,000	2,000	2,000	
その他	316	316	316	
(合計)	16,980	16,980	16,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

【個別票】

3	施設名	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館地区総合庁舎	所在地	大館市片山町三丁目
施設面積	800.73 m ²	建設年	S 6 0
構造・階数	W造・1階	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・多くの設備の老朽化が進行しており、改修が必要となっている。

5 管理に関する実施方針

- ・暖房、冷房設備更新、給排水配管等更新、照明器具更新を行い、併せて省エネ化を図る。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局大館地区総合庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	暖房設備更新工事	5,000	
H33	冷房設備更新工事	5,000	
H33	給排水管等更新工事	5,000	
H33	照明器具等更新工事	1,000	
	(合 計)	16,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	943	943	943	
運用コスト	1,089	1,089	1,089	
修繕コスト	300	300	300	
その他	77	77	77	
(合計)	2,409	2,409	2,409	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				不明

4	施設名	山本地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局庁舎	所在地	能代市御指南町
施設面積	6,324.05 m ²	建設年	S44
構造・階数	RC 3 階	台帳価格	178,482,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・空調設備は既に耐用年数を経過しており、毎年保守点検時に不具合を指摘されている。 ・水道管は昭和44年に配管されたものであり、老朽化により度々水漏れが発生している状態である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 早期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・ また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

山本地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備改修	1,193	
H30	冷温水発生機	61,665	
H31	外壁改修等	8,188	
	(合 計)	71,046	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,602	6,879	7,143	
運用コスト	9,675	9,725	8,232	
修繕コスト	1,867	2,958	1,957	
その他				
(合計)	18,144	19,562	17,332	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

5	施設名	由利地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局庁舎	所在地	由利本荘市水林
施設面積	5,933.36 m ²	建設年	S 3 8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	159,213,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修が行われ、概ね建物本体の安全性等は確保している。
・電気設備は、悪天候時に低圧絶縁抵抗値が不良となる箇所がある。また、引込ケーブルやキュービクルの更新・補修の検討が必要である。
・空調設備は、製造（平成7年）から20年以上経過し、全体的に発錆が見られるため、更新の検討が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

由利地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	受変電設備更新	1,553	
H34	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	66,553	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,750	6,752	6,757	
運用コスト	8,882	8,378	6,590	
修繕コスト	1,779	1,218	1,012	
その他				
(合計)	17,411	16,348	14,359	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

6	施設名	仙北地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局庁舎	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	6,556.27 m ²	建設年	S 4 2
構造・階数	R C 3 階	台帳価格	156,742,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・耐震改修も終了し、概ね本体の安全性等は確保しているが、設備の老朽化が進んでいる。 ・早期に冷暖房設備の更新、防火シャッターの更新が必要となる。 ・職員会館の機能を集約するに当たって、壁、ドア等の大規模改修が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

仙北地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	65,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,225	6,296	6,513	
運用コスト	13,090	12,713	10,799	
修繕コスト	2,144	1,099	2,369	
その他				
(合計)	21,459	20,108	19,681	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

7	施設名	平鹿地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局庁舎	所在地	横手市旭川
施設面積	5,666.45 m ²	建設年	S 4 5
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	180,653,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・横手市との機能合体により庁舎内の余剰スペースはほとんどなく、行政庁舎として代替性はないことから、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・横手市との機能合体分野の拡大で、平成25年度から庁舎の一部機能を職員会館へ移管済み。オフィススタンダードの推進により、福祉環境部の庁舎も含め、更なる機能の集約・複合化の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の推進のため有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。
・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・3階の1部で漏水が発生。原因は屋上と思われるが、箇所については特定出来ていない。また、庁舎内部のタイル等が剥がれる事例が多発している。

5 管理に関する実施方針

- ・緊急に、屋上の防水工事が必要である。
- ・引き続き、空調設備の改修を行い、施設の長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

平鹿地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根防水改修	12,243	
H31	冷暖房設備設計	3,546	
H32	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	80,789	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,845	6,282	5,517	PCB処理(H26)
運用コスト	10,099	10,656	9,235	
修繕コスト	39,624	2,243	20,533	鉄塔更新(H27)、太陽光(H25)
その他				
(合計)	56,568	19,181	35,285	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	150	150	150	50(来客駐車場)×3回転程度か

8	施設名	雄勝地域振興局庁舎

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局庁舎	所在地	湯沢市千石町
施設面積	5,382.86 m ²	建設年	S41
構造・階数	RC造・3階	台帳価格	135,886,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・行政庁舎として代替性はなく、大規模修繕を実施し、長寿命化のうえ存続。		

※ 集約・複合化の検討について

・職員数の減少により生じた余剰スペース、オフィススタンダードの実施による空きスペースを確保しながら、職員会館や福祉環境部の庁舎内との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【長寿命化を図りながら今後20年以上使用】

・耐震工事が完了し、主要構造部の安全性は確保されている。 ・屋根防水、外壁及び設備の予防保全型管理を実践し、長寿命化を図りながら継続使用する。

4 管理上の課題等

・早期に冷暖房設備の更新が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・早い時期に空調設備更新を実施し、施設の長寿命化を図る。
- ・また、オフィススタンダードによる集約化に伴い、必要な修繕等の対策を行う。

6 管理に関する実施計画

雄勝地域振興局庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	冷温水発生機	65,000	
	(合 計)	65,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,892	5,018	5,320	
運用コスト	7,843	5,948	5,315	電力料金、ガス料金、冷暖房用燃料、上下水道料金
修繕コスト	2,915	1,260	1,345	25年度照明器具修繕実施
その他				
(合計)	15,650	12,226	11,980	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,500	4,500	4,500	推計値

【個別票】

9	施設名	鹿角地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	鹿角地域振興局職員会館	所在地	鹿角市花輪字六月田 1
施設面積	265.05 m ²	建設年	S40
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建	台帳価格	11,965,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

鹿角地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				利用者未集計

【個別票】

10	施設名	北秋田地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局職員会館	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	270.54 m ²	建設年	S 4 7
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	12,717,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィスタンドアードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

・煙突内石綿対策（撤去若しくは封じ込め）工事が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

北秋田地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	54	54	54	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	54	54	54	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	※本来目的として使用できない

【個別票】

11	施設名	山本地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局職員会館	所在地	能代市御指南町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S47
構造・階数	RC 2 階	台帳価格	13,359,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

山本地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	9	10	10	
修繕コスト				
その他				
(合計)	9	10	10	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

12	施設名	由利地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局職員会館	所在地	由利本荘市水林
施設面積	265.05 m ²	建設年	S 4 6
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	11,965,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

由利地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	庁舎に含む
運用コスト	-	-	-	庁舎に含む
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				把握困難

【個別票】

13	施設名	仙北地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局職員会館	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S 4 7
構造・階数	R C 2 階	台帳価格	8,230,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・食堂及び理髪室は現在も利用されているが、それ以外では会議での利用がほとんどである。施設は、老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィスのスタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

仙北地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				振興局庁舎に一括記載
運用コスト				振興局庁舎に一括記載
修繕コスト				振興局庁舎に一括記載
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

14	施設名	平鹿地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局職員会館	所在地	横手市旭川
施設面積	270.54 m ²	建設年	S47
構造・階数	R C 造、2 階建	台帳価格	12,717,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・横手市との機能合体により一部が市の倉庫として使用されている。地域振興局庁舎のオフィススタンダードにより生じた余剰スペースは有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

平鹿地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	103	102	90	
修繕コスト	126	31	200	H25内部改修(機能合体) H27漏水
その他				
(合計)	229	133	290	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

15	施設名	雄勝地域振興局職員会館

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局職員会館	所在地	湯沢市千石町
施設面積	271.44 m ²	建設年	S48
構造・階数	RC造・2階	台帳価格	13,467,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・老朽化が進行していることに加え、旧耐震基準の時期に建設された施設であるため、耐震性に問題がある恐れがある。現在は、設置目的であった職員の福利厚生のための使用が減少しており、一部を備蓄倉庫として使用している。そのため、当面は最低限の維持修繕を行いながら、引き続き使用する。地域振興局庁舎への機能の集約化の際には、執務室、備蓄倉庫、書庫などに有効利用を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・地域振興局庁舎のオフィススタンダードの推進とともに、執務室、会議室、備蓄倉庫、書庫などの有効利用の検討を行う。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

・地域振興局庁舎との集約化の実施により生じた余剰スペースは、市町村との機能合体の際に有効利用する。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

・使用年数経過後の建替は行わない。

4 管理上の課題等

・執務室としての利用は、耐震性の問題をはじめ、トイレ設備の老朽化、冷房未設置、バリアフリー未対応となっており、課題となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は、地域振興局庁舎の倉庫、書庫又は備蓄倉庫のための改修を進める。

6 管理に関する実施計画

雄勝地域振興局職員会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	庁舎に含む
運用コスト	34	38	40	ガス料金、上下水道料金 電気料金は庁舎に含む
修繕コスト	0	0	20	
その他				
(合計)	34	38	60	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	20	35	20	25年度は推計値

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田県ゆとり生活創造センター）

1 施設の概要

施設名称	秋田県ゆとり生活創造センター	所在地	秋田市上北手荒巻字堺切24-2
施設面積	3,521.60 m ²	建設年	平成14年
構造・階数	木造平屋建	台帳価格	586,851,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 木造で、平成30年度末時点において築17年となっており、老朽化が進んでいる。今後、目標使用年数を定め、大規模修繕などにより予防保全型（未然に劣化・損傷等を防止）の管理を基本とする長寿命化対策を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。（類似施設もなく、複合化・集約化になじまないため、単独で存続）		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

施設を存続することとし、適切な維持管理を心がけると共に、平成29～37年にかけて建築物及び設備の修繕を計画的に実施する。

4 管理上の課題等

- ・経年劣化により、暖房用パネル、自動ドアモーター、排煙窓、煙感知器、床暖房システム、外壁、昭和館外壁隙間等の修繕・交換等が必要となっている。
- ・利用者の増加に伴い駐車場が不足しており、駐車スペースの確保が課題となっている。

5 管理に関する実施方針

大規模修繕等により、予防保全型の管理による長寿命化を図る。それまでの間は小規模修繕により対応する。
また、躯体保護のため、木造の外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県ゆとり生活創造センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	温水二次ポンプ、排煙窓修繕（小規模修繕）	1,149	
H31	防災監視盤火災受信機更新	2,721	
	昭和館外壁隙間修繕等（小規模修繕）	2,620	
H32	暖房用パネルヒーター更新（大規模修繕）	24,754	
	大会議室床塗装等（小規模修繕）	2,620	
H33	研修室1、2、3 床塗装等（小規模修繕）	2,620	
H34	自動ドアモーター交換等（小規模修繕）	2,620	
H35	一部外壁塗装（小規模修繕）	2,620	
H36	一部外壁塗装（小規模修繕）	2,620	
H37	ふれあい広場枕木等（小規模修繕）	2,620	
	（ 合 計 ）	45,815	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,492	6,461	6,688	
運用コスト	14,204	13,923	13,992	
修繕コスト	1,500	1,838	2,602	
その他	0	0	0	
（合計）	22,196	22,222	23,282	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	5,587	5,793	5,656	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109,457	110,292	115,432	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(児童会館)

1 施設の概要

施設名称	児童会館	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	3,614.00 m ²	建設年	S55
構造・階数	RC造・地上4階地下1階	台帳価格	252,929,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内唯一の大型児童館で、利用者数も増加しており県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。 建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県内唯一の大型児童館として、県内児童館の指導及び連絡調整等の役割を果たす中枢的機能を有していることから、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

子ども博物館部分の国庫補助に係る処分制限期間が60年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、自動ドア装置の劣化や舞台床の歪みなど、通常想定される設備の耐用年数の超過に伴う不具合が生じ、利用が制限されている部分があることから、補修や張替など、できる限り早い対応が望まれる。

5 管理に関する実施方針

29年度に外壁、30年度に内壁及び天井の修繕及び劇場設備の一部を更新するほか、劇場舞台設備の不具合箇所も多いことから、順次修繕を行っていくものとする。
また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

児童会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	天井等耐震化	60,804	
30	内部改修及び子ども劇場設備更新工事等	140,290	
31	防犯カメラ設備更新工事	3,388	
35	舞台幕等更新工事	22,877	
35	舞台床張替工事	67,976	
32～	自動ドア装置更新	1,760	
32～	サスペンションライト位置管理機能追加工事	13,500	
32～	絞り緞帳更新工事	10,044	
32～	劇場空調設備（チラーユニット）修繕工事	4,154	
32～	児童会館パッケージエアコン更新	64,885	
32～	第一展示室展示物更新	19,000	
32～	レクリエーションホール展示物更新	21,000	
35～	照明設備調光盤・ブレーカー更新	40,000	
38～	プラネタリウム更新	30,000	
	(合 計)	298,584	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
(合計)	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（子ども博物館）

1 施設の概要

施設名称	子ども博物館	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	2,058.70 m ²	建設年	S55
構造・階数	RC造・地上4階地下1階	台帳価格	138,519,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 博物館法に基づく博物館相当施設であるが、機能は児童会館に一元化されている。利用者数も増加しており県民のニーズが高いことから、引き続きサービス提供を行っていく必要がある。建物については、構造体は問題ないものの、設備の老朽化が目立っていることから、設備の大規模修繕を計画的に行っていくものとする。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では集約・複合化は検討していないが、隣接している生涯学習センターと建替時期が同時期となることから、合築等であれば、当該センターとの集約について検討可能と考えられる。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済。それまで減少傾向にあった利用者数が、同制度導入後は増加に転じるなど、効果が現れている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

児童会館と一元化されており、譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

児童会館と一元化されており、市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

国庫補助に係る処分制限期間が60年とされており、それまでの間は使用する。

4 管理上の課題等

建物の構造体の大規模修繕は必要ないものの、耐用年数を経過した科学展示物等は修理不能のものや内容の陳腐化したものがほとんどであり、新たな展示物等を望む声も高く、できるだけ早い更新が望まれる。

5 管理に関する実施方針

児童会館全体の修繕の進捗状況を踏まえ、科学展示物のあり方を検討する。
また、躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

子ども博物館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	児童会館の修繕に含まれる		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,424	9,691	9,691	
運用コスト	12,459	12,294	10,583	
修繕コスト	3,118	11,035	3,505	
その他				
(合計)	25,001	33,020	23,779	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,487	8,974	8,869	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	122,246	125,484	134,398	

【総括表】

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（オートキャンプ場）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	八幡平オートキャンプ場	鹿角市	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
2	男鹿オートキャンプ場	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	宮沢海岸オートキャンプ場	男鹿市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	由利高原オートキャンプ場	由利本荘市	廃止	廃止に向けた検討を実施（施設残存）
5	田沢湖オートキャンプ場	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

- (1) 施設の存続
- 点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設
 - 利用需要の継続した実績及び今後の見込みがあり、必需性の高い施設
- などは利用者の安全確保を第一に考え修繕等を実施
- (2) 施設の廃止
- 老朽化が著しく、事故防止の観点から安全確保に支障がある施設
 - 利用者が少なく、今後も増加が見込めない施設
- などは廃止した上で除却処分等を実施

【個別票】

1	施設名	八幡平オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	八幡平オートキャンプ場	所在地	鹿角市八幡平字切留平
施設面積	2,395.08 m ²	建設年	H4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	270,545,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・利活用策を募集したが、いずれも県の設備投資が多額に上ること等から、提案の実現は、事実上難しいものと判断した。 ・当面の間、施設は存続し、適切な時期に解体除却する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・利活用策の募集（平成27、28年度）を実施済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成34年頃に除却】

・起債の償還が終わる平成34年頃までに除却するよう手続きを進める。

4 管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6 管理に関する実施計画

八幡平オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	327	—	
運用コスト	1,503	1,011	—	
修繕コスト	552	0	—	
その他				
(合計)	2,627	1,338	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,251	3,558	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,329	2,059	—	

【個別票】

2	施設名	男鹿オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	男鹿オートキャンプ場	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
施設面積	1,308.91 m ²	建設年	H11
構造・階数	木造・2階	台帳価格	101,514,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

男鹿オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	506	514	482	
運用コスト	1,933	2,388	1,937	
修繕コスト	332	1,011	500	26高圧気中開閉器更新550
その他				
(合計)	2,771	3,913	2,919	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,244	10,311	10,665	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,774	6,041	6,041	

【個別票】

3	施設名	宮沢海岸オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	宮沢海岸オートキャンプ場	所在地	男鹿市野石字大場沢下
施設面積	314.67 m ²	建設年	H12
構造・階数	木造・2階	台帳価格	18,527,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けていることから民間等への譲渡を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ 男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

・ 建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・ 民間等への譲渡を検討し、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・ 現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成27年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

宮沢海岸オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	415	427	427	
運用コスト	410	451	423	
修繕コスト	30	0	694	27高圧気中開閉器更新608
その他				
(合計)	855	878	1,544	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,477	3,027	3,452	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,428	2,108	2,344	

【個別票】

4	施設名	由利高原オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	由利高原オートキャンプ場	所在地	由利本荘市西沢字南由利原
施設面積	247.75 m ²	建設年	H3
構造・階数	木造・1階	台帳価格	5,800,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	廃止に向けた検討を実施（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・施設が老朽化しているほか、近隣に類似施設があることから、今後、廃止に向けた検討を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成33年頃に廃止】

・由利本荘市と廃止に向けた協議を行う。

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

- ・利用者等の安全確保に必要な修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

由利高原オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	165	180	180	
運用コスト	282	282	268	
修繕コスト	165	42	19	
その他				
(合計)	612	504	467	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	272	234	191	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	559	242	475	

【個別票】

5	施設名	田沢湖オートキャンプ場

1 施設の概要

施設名称	田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前
施設面積	367.07 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	56,291,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・仙北市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
 ※平成25年度木柵改修及び平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

田沢湖オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	125	130	142	
運用コスト	931	818	966	
修繕コスト	538	627	54	25木柵改修538 26高圧気中開閉器更新573
その他				
(合計)	1,594	1,575	1,162	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,920	5,668	5,753	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,766	5,414	5,585	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大潟スポーツ宿泊センター)

1 施設の概要

施設名称	大潟スポーツ宿泊センター(サンルール大潟)	所在地	南秋田郡大潟村字北
施設面積	6,706.30 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・8階	台帳価格	1,031,160,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・大潟村に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大潟スポーツ宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	7,903	
H30	外壁等改修	6,062	
H31	外壁等改修(展望風呂)	11,371	
H31	客室風呂改修	26,189	
H31	照明改修	19,010	
H32	ピット配管改修	9,700	
H33	空調設備(FCU)改修	55,270	
H33	排気ファン改修	994	
H34	空調設備(AHU)改修	93,891	
H34	空調設備(換気)更新	3,850	
H34	昇降機改修	644	
H35	内装改修	1,075	
H35	消防設備改修	18,794	
H36	音響設備更新	958	
H37	宴会場 壁面改修	4,038	
H34	厨房 排水関係改修	2,578	
H34	客室 照明交換	3,647	
H35	畳更新	6,325	
H35	敷居改修	2,596	
H35	和室建具(襖)改修	1,031	
H36	内装改修	18,138	
H37	エレベーターホール照明交換	1,307	
H37	自家発電用蓄電池交換	792	
	(合 計)	282,198	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,023	9,764	10,270	
運用コスト	41,299	34,968	31,802	
修繕コスト	5,027	23,261	4,476	26自動火災報知設備更新 21,531
その他				
(合計)	58,349	67,993	46,548	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	140,617	140,860	138,713	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	31,259	30,398	28,984	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋の宮山荘）

1 施設の概要

施設名称	秋の宮山荘	所在地	湯沢市秋ノ宮字殿上
施設面積	4,936.16 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	777,683,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ 湯沢市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・ 目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・ 設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋の宮山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	18,146	
H29	冷温水発生機改修	15,473	
H30	電気設備改修	6,850	
H30	ポンプ類更新	7,415	
H31	屋根改修	2,473	
H31	浴場関係設備改修	13,131	
H31	風除室及び自動ドア改修	16,155	
H32	屋根改修	36,894	
H33	和室畳取替	5,251	
H35	大浴場換気扇改修	2,305	
H35	音響設備改修	10,800	
H36	自動織機洗浄機取替	4,361	
H37	サウナ改修	3,016	
H37	客室ペアガラス交換	1,141	
H37	宴会場 内装改修	1,369	
	(合 計)	96,896	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,727	7,287	6,620	
運用コスト	24,136	23,824	19,446	
修繕コスト	1,482	5,051	2,615	
その他				
(合計)	33,345	36,162	28,681	H27.12～H28.3休業

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	231,431	207,600	144,858	H27.12～H28.3休業

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,423	12,778	8,724	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（鳥海観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海観光宿泊センター（フォレスト鳥海）	所在地	由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前
施設面積	7,861.00 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階	台帳価格	1,264,439,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鳥海観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	25,280	
H30	直流電源装置等更新	20,546	
H31	外壁等改修	5,677	
H31	配電設備更新	8,111	
H31	空調設備ポンプ類更新	12,162	
H32	高圧気中開閉器更新	3,130	
H32	濾過装置更新	20,627	
H32	浄化槽改修	1,094	
H32	給油配管更新	1,997	
H33	中央監視設備等更新	25,336	
H33	受変電設備変圧等更新	21,665	
H33	空調設備更新(AHU)	6,945	
H33	厨房空調設備更新	1,875	
H33	電話設備更新	10,272	
H34	内装改修	33,305	
H34	照明器具更新	48,571	
H35	外壁塗装改修	35,138	
H35	消防設備改修	20,637	
H35	排気設備改修	5,694	
H36	衛生器具更新	10,157	
H37	衛生設備等更新	5,269	
	(合 計)	277,662	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,462	24,124	25,071	
運用コスト	22,817	23,196	17,100	
修繕コスト	5,260	56,509	2,475	26冷温水発生機等更新54,211
その他				
(合計)	52,539	103,829	44,646	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	216,743	198,816	206,108	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,140	11,716	13,077	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（十和田観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	所在地	鹿角郡小坂町十和田湖字鉛山
施設面積	8,724.24 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,230,437,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

十和田観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷却塔等更新	41,338	
H30	外壁等改修	6,660	
H31	空調機器改修	9,978	
H32	ガス強制気化装置改修	2,971	
H32	空調機器（GHP）改修	2,775	
H33	空調機器（AHU）改修	2,308	
H34	厨房天井改修	2,791	
H35	宴会場 畳張替	1,705	
H36	エレベーター制御盤交換	9,720	
H37	内装改修	55,016	
	（ 合 計 ）	87,264	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,472	17,340	17,172	
運用コスト	23,380	24,184	21,806	
修繕コスト	32,770	2,951	21,028	25中央監視装置更新32,148 27冷温水発生機改修17,660
その他				
（合計）	71,622	44,475	60,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	208,807	216,480	211,344	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	12,327	13,447	13,055	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田ふるさと村）

1 施設の概要

施設名称	秋田ふるさと村	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	18,167.05 m ²	建設年	H5
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階地下1階	台帳価格	2,829,244,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間60万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田ふるさと村に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	直流電源装置等更新	11,950	
H30	ドーム劇場屋上防水改修	2,056	
H30	非常用照明修繕	5,402	
H31	屋上防水改修	31,611	
H31	ワンダーキャッスル屋根改修	13,560	
H31	中央監視装置更新	3,478	
H32	中央監視装置更新	66,545	
H33	郷土料理館屋根改修	12,636	
H34	ドーム劇場舞台設備改修	30,000	
H35	給水ポンプユニット更新	27,772	
H35	ドーム劇場舞台設備改修	30,000	
H36	ドーム劇場舞台設備改修	30,000	
H37	ドーム劇場舞台設備改修	64,600	
H32	高圧遮断機更新	5,017	
H33	直流電源装置改修	2,524	
H35	手作り体験工房 空調設備更新	19,182	
H35	自動ドア装置改修	8,047	
H36	浄化槽改修	8,912	
H36	屋外排水路等改修	5,570	
H37	LPG消費プラント設備更新	3,753	
H36	消防設備更新	1,155	
H37	舗装改修	3,039	
	(合 計)	367,401	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	108,259	106,730	107,686	
運用コスト	84,685	82,927	78,229	
修繕コスト	252,524	15,189	9,834	25遊具改修 20,952 25ﾌﾞﾗﾈﾘｳﾑ改修 114,285 25空調照明等改修113,604
その他				
(合計)	445,468	204,846	195,749	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	274,438	306,897	323,386	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	583,948	583,634	614,155	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（新玉川地区リゾート整備基盤施設）

1 施設の概要

施設名称	新玉川地区リゾート整備基盤施設	所在地	仙北市田沢湖玉川字柳沢
施設面積	1,086.15 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	542,285,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。

4 管理上の課題等

・給排水施設の修復については、(株)玉川サービスが県との覚書に基づき、費用の積立等を実施している。確実な費用の積み立てが課題である。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新玉川地区リゾート整備基盤施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	屋根改修（多目的屋内広場）	22,290	
	（ 合 計 ）	22,290	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,111	6,111	6,111	
運用コスト	5,602	6,767	6,124	
修繕コスト	4,670	16,552	5,725	26転落防止柵等更新 14,582 27ガードパイプ更新5,725
その他				
（合計）	16,383	29,430	17,960	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スキー場)

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スキー場	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,359.14 m ²	建設年	H9
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	523,800,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・FISフリースタイルワールドカップ等の各種大会に利用されている。今後、インバウンド対策に取り組む上で重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎えるリフト設備等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、リフト設備等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・リフト設備等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スキー場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	スキーセンター改修及びラウンジ新設	303,296	平成28年度繰越
H29	銀嶺クワッドリフト等索受装置改修	24,192	
H29	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,832	
H30	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,184	
H30	銀嶺クワッドリフト搬器改修	43,200	
H31	かもしかクワッドリフト山麓押送駆動輪整備	3,197	
H31	銀嶺第1リフト改修	22,907	
H32	かもしかクワッドリフト握索装置オーバーホール	16,092	
H32	銀嶺第3リフト油圧緊張装置オーバーホール	4,310	
H33	銀嶺第3リフト制動装置オーバーホール	4,536	
H33	銀嶺クワッドリフト 制動装置オーバーホール	7,371	
H33	かもしかクワッドリフト握索装置改修	16,092	
H34	銀嶺クワッドリフト 搬器大規模改修	30,000	
H35	銀嶺クワッドリフト 搬器更新	27,000	
H35	銀嶺クワッドリフト 搬器大規模改修	30,000	
H36	銀嶺クワッドリフト 搬器大規模改修	30,288	
H36	銀嶺クワッドリフト 搬器更新	27,000	
H37	屋根等防水改修	33,405	
	(合 計)	252,198	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,770	3,414	
運用コスト	24,307	21,606	18,044	
修繕コスト	53,686	43,960	57,238	25リフト改修 44,401 26リフト改修 34,800 27リフト改修 49,453
その他				
(合計)	80,682	68,336	78,696	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	147,388	147,077	133,144	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	98,030	100,039	86,441	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（男鹿水族館）

1 施設の概要

施設名称	男鹿水族館	所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢
施設面積	8,968.75 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,804,574,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間20万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿水族館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	取水ポンプ室防潮扉等更新	15,094	
H30	ブラインチラー設備等更新	30,871	
H31	自家用発電機更新基本設計	2,177	
H31	空調設備更新	27,116	
H32	防潮扉改修	8,742	
H32	中央監視装置更新	57,349	
H32	配電設備改修	6,401	
H33	冷温水発生機更新	112,099	
H34	外壁改修	5,386	
H34	大水槽ろ過器改修	9,975	
H34	発電機改修	7,852	
H34	高圧継電器改修	3,496	
H34	電気設備改修	7,868	
H35	継電器改修	3,948	
H35	変換器改修	2,658	
H35	大水槽改修	26,102	
H35	低圧ブロー更新	6,745	
H36	直流電源装置改修	12,087	
H36	消化器更新	10,215	
H36	圧力式ろ過器改修	133,457	
H37	空調設備改修	2,494	
H37	ガスヒートポンプ改修	2,807	
H37	控室空調設備更新	1,174	
H37	梱包室空調設備更新	1,770	
H37	飼育系循環ポンプ更新	109,956	
H37	屋根改修	6,757	
	(合 計)	568,631	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,688	32,813	37,255	
運用コスト	87,165	83,663	73,202	
修繕コスト	18,875	6,517	34,497	27℃以下デッキ改修15,364 27℃空調機更新 6,650
その他				
(合計)	154,728	122,993	144,954	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	224,801	169,931	167,205	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	318,148	226,990	228,241	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(総合プール)

1 施設の概要

施設名称	総合プール	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,160.15 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	5,413,962,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・全国規模の大会開催や国内トップ選手の合宿を受入可能な設備を有する県内唯一の施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・軒天井落下防止のための補強
- ・プール用水確保のための井戸設置
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合プールに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	軒天井補強、蓄電池交換	19,468	
H30	2号井戸設置	17,623	
H30	吊り天井改修工事 実施設計	8,581	
H30	排気ファン修繕	1,500	
H30	照明設備LED改修	68,564	
H31	吊り天井改修	479,014	
H31	濾過制御装置修繕	4,510	
H31	LED改修工事	36,588	
H32	ろ過設備修繕	27,664	
H32	中央監視装置更新	34,419	
H32	濾過水質監視装置更新	23,325	
H32	フート弁交換	23,325	
H33	濾過装置濾材交換	42,330	
H33	暖房器修繕	1,460	
H33	可動床装置修繕	4,410	
H34	冷却塔・空調機修繕	9,980	
H34	ジャグジー装置修繕	12,000	
H34	温水器三方弁修繕	3,570	
H34	更衣室床張替修繕	2,420	
H34	2号温水器修繕	1,510	
H35	メインプール床修繕	2,100	
H35	膨張タンク修繕	2,050	
H35	エレベーター改修	6,000	
H35	ろ過フィルター修繕	4,100	
H35	ダイビングボードアンカー修繕	1,620	
H35	マンホール修繕	1,720	
H35	雨水浸透柵修繕	550	
H35	警備機器修繕	1,560	
H36	ろ過水質監視装置更新	19,440	
H37	メインプール床滑り止め修繕	2,160	
	(合 計)	863,561	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,827	3,048	2,799	
運用コスト	104,357	101,412	81,765	
修繕コスト	4,183	12,718	17,286	
その他				
(合計)	111,367	117,178	101,850	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	27,978	28,994	27,839	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	152,221	161,542	157,801	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スケート場)

1 施設の概要

施設名称	スケート場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,179.90 m ²	建設年	S46
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	113,977,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内唯一のスケート場であり、アスリート育成及び競技力向上、また、冬季における貴重な運動・レクリエーション施設として位置付けている。 ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成19年度に屋根改修、平成26年度に照明設備改修を実施している。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・製氷設備について、平成32年以降、冷媒として使用しているフロンガスの生産が規制されるため、更新が必要である。
- ・その他の設備機器等についても耐用年数を迎えたため、計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため污水管を更新
- ・フロンガス規制の伴う新たな冷凍機への設置
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スケート場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	污水管更新	8,388	
H30	井戸掘削工事	34,090	
H30	冷凍機更新（実施設計、機器製作、仮設工事）	351,154	
H31	冷凍機更新（設計監理、機器設置工事）	169,156	
H32	冷却配管更新	17,230	
H33	床コンクリート修繕	177,704	
H34	ゴムフロア張り替え	1,674	
H37	サッシ取替	101,848	
	（ 合 計 ）	861,244	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,795	1,841	1,868	
運用コスト	30,578	25,593	18,337	
修繕コスト	1,573	52,511	7,815	26冷凍機修繕 19,872 26照明LED化 26,482
その他				
（合計）	33,946	79,945	28,020	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	40,626	36,493	35,646	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	78,348	69,398	67,224	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(武道館)

1 施設の概要

施設名称	武道館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	18,744.00 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	3,093,225,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内唯一の総合的な武道競技施設であり、全国規模の大会の開催等によりスポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、年間を通じた武道の競技力向上、武道を通じた青少年の健全育成に寄与する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・省エネルギー対策のための照明LED化
- ・非常用照明の蓄電池交換
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

武道館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	蓄電池交換、気中開閉器交換、照明設備改修	79,391	
H30	雨水排水管洗浄業務委託	800	
H31	トランス絶縁油交換業務委託	2,530	
H31	吊り天井改修	335,771	
H32	冷温水発生機修繕（3号機、4号機）	12,493	
H32	大道場天井修繕	9,340	
H33	エアコン室外機改修	6,500	
H34	近的弓道場安土改修	1,190	
H35	空調フィルター交換	8,038	
H35	中央監視装置更新	48,535	
H36	冷温水機修繕（1号機、2号機）	25,902	
H36	大道場床修繕	12,111	
	（ 合 計 ）	542,601	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,747	12,244	11,525	
運用コスト	32,866	33,265	29,408	
修繕コスト	754	2,431	2,719	
その他				
（合計）	45,367	47,940	43,652	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,937	14,506	13,759	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	230,362	225,945	230,598	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(体育館)

1 施設の概要

施設名称	体育館	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	7,636.90 m ²	建設年	S43
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	277,525,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	複合化(主)を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・県内有数の観客席を有しており、全国規模の大会開催やコンサート、イベントの開催により交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
- ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成26年度にトイレ洋式化改修、平成27年度に照明設備改修を実施している。
- ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。

※ 集約・複合化の検討について

- ・建替えのうえ、アリーナ機能の追加及びスポーツ科学センターとの複合化を検討する。

※ 公民連携の検討について

- ・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年以上とする。
- ・目標使用年数経過にあわせ、建替えを実施する。
- ・建替えまでは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・耐用年数を迎える設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化している避雷設備の修繕
- ・既存不適格である吊り天井の改修（建替時期を見極めた上で実施を検討）
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	避雷設備修繕	2,262	
H31	空調設備改修工事	15,343	
H31	スプリンクラー設備修繕	10,792	
H31	吊り天井改修工事 設計業務	8,126	
H32	機械室オイル交換	1,980	
H32	国旗掲揚ポール改修	1,300	
H32	控え室エアコン設置工事	6,500	
H33	吊り天井改修	293,543	
H32	物置換気室設置工事	1,770	
H33	外壁防水工事	11,000	
H33	観覧正規天井修繕	7,500	
H33	機械室不凍液交換	740	
H34	入口玄関タイル修繕	7,200	
H34	駐車場舗装工事	20,000	
H34	暖房用ボイラー修繕	44,000	
H34	非常用発電機修繕	27,000	
	(合 計)	459,056	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,241	6,581	6,771	
運用コスト	12,056	12,035	8,904	
修繕コスト	861	15,554	41,709	26トイレ洋式化 14,958 27照明LED化 39,800
その他				
(合計)	19,158	34,170	57,384	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,236	13,415	14,854	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	121,933	131,104	134,387	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(総合射撃場)

1 施設の概要

施設名称	総合射撃場	所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢
施設面積	2,849.89 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	230,818,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内で唯一競技大会が開催可能な施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、ジュニア選手の強化拠点としても重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・野生鳥獣による人身被害や農作物被害が発生しており、その捕獲の担い手である狩猟者の育成・確保が喫緊の課題となっている。これに対処するため、現在休場している県立総合射撃場クレイ射撃場を若年層を主体とした狩猟技術向上のための広域的な狩猟技術訓練施設として再整備する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・指定射撃場として、ライフル射撃場の壁等の大規模修繕が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・地元住民の理解が得られたため、若年層を主体とした狩猟技術向上のための広域的な訓練施設として再整備する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・真空遮断器の交換
- ・指定射撃場として存続するため、ライフル射撃場の側壁等の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。
- ・鉛弾による環境保全上の問題を生じさせないよう鉛害防止対策を実施する。

6 管理に関する実施計画

総合射撃場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	真空遮断器交換	1,550	
H30	ライフル射撃場側壁修繕	28,294	
H30	飛散防止ネット実施設計	37,196	
H31	ライフル棟屋根・外壁防水塗装工事	32,024	
H31	防護ネット工事他	687,401	
H32	エアコン設置	1,600	
H32	ライフル棟弾回収器修繕	810	
H32	舗装工事	84,271	
	(合 計)	873,146	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	797	820	820	
運用コスト	1,521	1,582	1,436	
修繕コスト	81	49	3,137	
その他				
(合計)	2,399	2,451	5,393	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	546	542	557	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,127	1,210	1,168	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スポーツセンター)

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スポーツセンター	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,421.73 m ²	建設年	H18
構造・階数	鉄骨造・3階	台帳価格	699,295,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 体育館、サッカー・ラグビー・陸上競技場等を併設し、県外からも合宿を受け入れている施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ なし

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・ 設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化による腐食が進んでいる浴室壁や給水設備の修繕・交換
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スポーツセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	浴室壁等改修	8,494	
H34	空調設備更新	18,175	
H34	客室雨漏り修繕	3,377	
H35	体育館屋根・外壁改修	50,700	
H36	宿泊棟外壁改修	46,900	
	(合 計)	127,646	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,571	1,905	2,315	
運用コスト	18,200	17,477	15,463	
修繕コスト	1,883	2,491	2,035	
その他			91,022	27陸上競技場トイレ整備 13,262 27ジャッジハウス整備 77,760
(合計)	22,654	21,873	110,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	48,713	45,342	48,391	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,700	36,591	39,313	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スポーツ科学センター)

1 施設の概要

施設名称	スポーツ科学センター	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	6,506.79 m ²	建設年	S54
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	386,039,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化(従)を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田県スポーツ推進計画に基づき、スポーツ指導者の養成並びにスポーツに関する研修及び医学的研究を行うことによりスポーツの普及振興及び競技力向上を図る重要な施設と位置付けている。 ・今後、体育館(10年程度を目途に建替えを実施予定)との複合化(従)を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・今後、体育館(10年程度を目途に建替えを実施予定)との複合化(従)を検討する

※ 公民連携の検討について

- ・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年程度とした。
- ・複合化(従)となった場合の建物の扱いについては、今後検討する。
- ・目標使用年数経過までは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スポーツ科学センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	吊り天井改修	41,366	
H31	地下雑排水設備更新	2,145	
H34	耐震改修	4,672	
	(合 計)	48,183	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,139	4,239	4,101	
運用コスト	7,713	7,650	6,875	
修繕コスト	1,754	1,695	199,580	27大規模機械設備改修 198,337
その他			31,500	27太陽光発電設置 31,500
(合計)	13,606	13,584	242,056	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,336	7,046	7,222	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,084	54,008	52,628	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(能代山本スポーツリゾートセンター)

1 施設の概要

施設名称	能代山本スポーツリゾートセンター	所在地	能代市落合字下台
施設面積	9,013.70 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,378,157,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・各種スポーツ大会を開催しているほか、スポーツ合宿を受け入れており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・能代山本広域市町村圏組合に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。

4 管理上の課題等

・プール設備について大規模修繕が必要である。
・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため効率が低下しているプール濾過装置の濾材交換及びポンプの修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

能代山本スポーツリゾートセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	自家発電用蓄電池交換	1,600	
H31	プールろ過装置改修	9,482	
H32	直流電源装置修繕	5,216	
H33	昇温循環ポンプ修繕	2,334	
	(合 計)	18,632	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,867	9,963	10,196	
運用コスト	45,823	51,424	44,958	
修繕コスト	4,880	4,755	7,140	
その他				
(合計)	57,570	66,142	62,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	139,074	147,840	145,315	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179,355	201,058	206,779	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大館地区多目的ドーム)

1 施設の概要

施設名称	大館地区多目的ドーム	所在地	大館市上代野字稲荷台
施設面積	23,515.39 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C 造(一部木造)・2階	台帳価格	4,097,477,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・大館市に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

・膜屋根及び電気設備について大規模修繕が必要である。
・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化により不作動の恐れがある電気設備の交換・修繕
- ・雨や雪の影響により破損している外部柱の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館地区多目的ドームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	8,892	
H30	発電機修繕	14,600	
H30	照明灯設備改修	25,165	
H30	ボイラー内水管群交換修繕	10,411	
H31	膜屋根修繕	27,573	
H31	電光掲示板システム改修	13,179	
H32	膜屋根点検用フック交換修繕	12,312	
H34	電波障害設備撤去	12,000	
	(合 計)	124,132	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,844	12,637	12,643	
運用コスト	28,726	31,153	26,237	
修繕コスト	16,283	14,627	38,730	H25年 雑用水設備更新 (12,303円) H27年 中央監視装置更新 (17,167円) H27年 外部柱修繕 (11,069円)
その他				
(合計)	55,853	58,417	77,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	18,103	31,284	23,356	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,315	296,427	298,810	

【個別票】

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(向浜運動広場)

1 施設の概要

施設名称	向浜運動広場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	544.29 m ²	建設年	S55
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	19,447,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・テニスコートは、野球場及びスケート場とともに、向浜総合スポーツゾーンを形成する施設であり、対象となるテニスコート倉庫兼観客席は、住民が主体的に参加できる地域スポーツ施設を維持する施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、今後は必要最小限の修繕を行い、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、必要最小限の修繕を行い、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・なし

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・省エネルギー対策のため照明LED化
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

向浜運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	駐車場補修	11,373	駐車場は野球場・プールと共用
	(合 計)	11,373	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	113	112	54	
運用コスト	72	83	81	電気料金は野球場に含む
修繕コスト	50	73	80	
その他				
(合計)	235	268	215	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,917	3,231	3,423	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	37,254	36,710	39,081	

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(新屋運動広場)**

1 施設の概要

施設名称	新屋運動広場	所在地	秋田市豊岩石田坂字館野
施設面積	259.50 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	5,272,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内トップスポーツチームの練習場として使用されているほか、子供から高齢者まで生涯スポーツの拠点として重要な施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため不作動の恐れがある受電設備の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	3,084	
H31	トイレ洋式改修	583	
H31	監視塔及び物置撤去・新設工事 設計業務	1,154	
H32	監視塔及び物置撤去・新設工事	6,530	
H32	浄化槽制御装置修繕	3,671	
H32	投光器修繕	11,369	
H33	温水器改修	830	
H34	空調設備改修工事	2,030	
	(合 計)	29,251	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	405	417	417	
運用コスト	4,418	3,262	2,956	
修繕コスト	892	1,711	95	
その他				
(合計)	5,715	5,390	3,468	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	837	627	688	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,711	17,143	18,749	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(野球場)

1 施設の概要

施設名称	野球場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	5,666.51 m ²	建設年	H15
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	3,164,112,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内で唯一プロ野球開催可能なナイター照明設備を有しているほか、県内における主要な大会を開催しており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・建物については、平成29年度に観客席膜屋根鉄骨改修、付属設備についても同年度にナイター照明塔及びグラウンド改修実施予定。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・潮風の影響により金属部分は通常より早く錆・腐食が生じるためきめ細かな点検が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化により利用に支障が生じている膜屋根、照明、グラウンドの大規模改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

野球場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	膜屋根改修、照明改修及びグラウンド改修等	1,153,438	
H30	自動火災報知設備更新	909	
H32	エレベーター改修	3,500	
H33	新井戸設置工事	11,764	
H34	客席プレート修繕	13,130	
H34	客席防水塗膜修繕	90,000	
H34	電話設備修繕	1,080	
H35	スコアボード更新	297,601	
	(合 計)	1,571,422	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,077	2,781	2,577	
運用コスト	16,026	16,765	16,613	
修繕コスト	16,159	1,689	12,120	25スピーカー更新 15,645 27スコアボード*設備更新 10,768
その他				
(合計)	35,262	21,235	31,310	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	9,124	9,125	9,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	132,939	151,479	132,831	

【個別票】

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大潟漕艇場)

1 施設の概要

施設名称	大潟漕艇場	所在地	南秋田郡大潟村字方上
施設面積	— m ²	建設年	H18
構造・階数	木造・1階	台帳価格	— 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」		
・平成28年度に大潟村へ事業の継続を伴う譲渡を実施		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・平成28年度に大潟村へ事業の継続を伴う譲渡を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成28年度内に譲渡】

・なし

4 管理上の課題等

・なし

5 管理に関する実施方針

・なし

6 管理に関する実施計画

大潟漕艇場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	52	14	14	
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	52	14	14	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(鹿角トレーニングセンター)

1 施設の概要

施設名称	鹿角トレーニングセンター	所在地	鹿角市花輪字百合沢
施設面積	6,827.86 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階	台帳価格	1,397,067,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・鹿角市に対し意向調査を実施している。今後は付属構築物であるジャンプ台等を含め、譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

・建物と一体で管理している構築物（ジャンプ台）について改修が必要である。
・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・基礎の亀裂が生じているジャンプ台の改修
- ・経年劣化のためジャンプ台滑走路の更新
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鹿角トレーニングセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	吊り天井改修工事	36,475	
H31	ジャンプ台滑走路改修工事 設計業務	6,812	
H31	屋根防水改修工事 設計業務	1,010	
H32	ジャンプ台滑走路改修工事	277,364	
H33	非常放送設備更新	5,256	
H34	照明設備改修	15,682	
	(合 計)	342,599	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,731	21,104	21,104	
運用コスト	33,154	30,900	26,987	
修繕コスト	5,604	3,161	23,858	27屋根雪害復旧 13,824
その他				
(合計)	60,489	55,165	71,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	45,698	53,984	58,279	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,867	71,685	146,597	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合食品研究センター）

1 施設の概要

施設名称	総合食品研究センター	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	7,570.64 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,064,315,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当該施設は目標使用年数60年の想定建物であり、21年目の平成28年に以下の大規模修繕を実施した。すなわち、設備では冷暖房設備、受変電設備、照明LED化、電話交換機、警備システムの更新および相談機能と研究機能の再編に伴う建物レイアウト変更である。 ・29年度はクーリングタワー（熱交換ユニット）を更新し、30年度についても冷凍庫、冷蔵庫、恒温室などプレハブ式温度調節施設機器を更新した。今後少なくとも20年程度は設備関係については大規模な修繕を行う必要なく運営できると考えられる。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・すでに28年度から30年度において大規模修繕を実施し、研究機関としての機能を果せることから集約等については検討しない。

※ 公民連携の検討について

- ・県内食品事業者への技術支援や食品関係試験研究を設置目的としており、指定管理者制度やアウトソーシングについてはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・建物、施設の譲渡（一部を含む）の対象ではない。

※ 市町村協働の検討について

- ・市町村協働の対象となる機能は存在しない。

3 目標使用年数 【 目標使用年数60年 】

- ・当該施設は、目標使用年数60年を想定する建物であり長寿命化対策の適宜実施により今後40年以上は使用できると考えている。

4 管理上の課題等

- ・平成28年度の大規模修繕で空調の中央熱源方式が分散方式に改装、電気、警備、電話設備なども更新され、29年度以降のプレハブ式温度調節施設の適正化とクーリングタワー（熱交換ユニット）更新を行い施設設備上は今後20年は大きな問題は生じない。
- ・建物のシール（屋上防水あるいは壁面あるいは開口部窓など）など経年劣化による建物修繕は今後とも発生することが予想され、計画的な修繕を実施していきたい。

5 管理に関する実施方針

- ・平成28年度の大規模修繕によりセンター主要部については、ほぼ機能更新を実施した。
- ・29年度以降もプレハブ式冷凍冷蔵施設（熱交換ユニット含む）とドラフトチャンバー（実験用局所排気装置）の更新を実施し、今後20年以上大規模修繕を行わずともセンターの機能は維持できるものと判断している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合食品研究センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新	24,933	
H30	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新等	84,552	
H32	給湯設備・特殊排水処理施設の修繕	12,171	
H33	整流器盤の更新	14,410	
	(合 計)	136,066	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,607	16,844	16,990	
運用コスト	24,532	25,604	23,981	
修繕コスト	4,038	5,976	5,258	
その他	132	175	273	
(合計)	45,309	48,599	46,502	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,873	1,365	21	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,942	1,686	1,524	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県民会館）

1 施設の概要

施設名称	県民会館	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	9,304.61 m ²	建設年	S36
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	263,875,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 ・人口減少を見据えた施設の集約化や財政面での負担軽減などから、県と秋田市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約する県・市連携文化施設の整備を進めている。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・県と秋田市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約する県・市連携文化施設の整備を進めている。

※ 公民連携の検討について

- ・指定管理者制度を導入済
- ・県・市連携文化施設における指定管理者制度については、運営管理計画の中で方針を整理することとしている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・県・市協働プロジェクトとして、平成33年度の開館を目標とした県・市連携文化施設の整備を進め、施設の運営管理も共同で行うことを検討している。

3 目標使用年数 【平成31年度に除却予定】

- ・現在の施設は平成30年度から31年度に除却し、平成33年度中の県・市連携文化施設開館を目標とした整備を進めている。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を経過し、不具合が生じている。
- ・舞台、ホワイエ、搬入口が狭く、トイレ、楽屋も少ないなど利用者から改善要望が多い。

5 管理に関する実施方針

・なし

6 管理に関する実施計画

県民会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	基本設計等	232,308	
H30	解体費、実施設計費等	1,818,726	補償費等含む
H31～33	建設費等	22,191,300	
	(合 計)	24,242,334	県及び秋田市の負担合計額

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,404	4,519	4,595	
運用コスト	24,371	23,491	22,483	
修繕コスト	2,975	5,507	1,904	
その他	0	0	0	
(合計)	31,750	33,517	28,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	51,871	55,803	52,236	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	276,066	290,410	281,094	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合生活文化会館）

1 施設の概要

施設名称	総合生活文化会館（アトリオン）	所在地	秋田市中通
施設面積	13,375.15 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上12階地下3階	台帳価格	1,536,097,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・国内でも最高水準の音響条件を備えた音楽ホールを有し、芸術文化や観光スポットとして県民に親しまれているほか、地域の産業・生活・文化に渡り広く活動が行われる複合的機能を持つ拠点施設であるため、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・平成29年度に共用部の長期修繕計画（10年間）を策定したうえで、計画的な改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を経過しているため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・施設利用者の安全を確保するとともに、資産を保全するため修繕工事等を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合生活文化会館（アトリオン・共用部）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自家発電設備等改修	45,083	
30	空調機自動制御設備修繕 等	31,676	
31	エレベーター改修 等	48,084	
32	エレベーター改修 等	40,000	
33	受変電設備の改修、エレベーター改修、音楽ホール吊り天井改修 等	96,897	天井改修56,897
34	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
35	受変電設備の改修 等	40,000	
36	受変電設備の改修 等	40,000	
37	受変電設備の改修 等	40,000	
	(合 計)	421,740	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,925	64,202	64,226	
運用コスト	54,962	61,263	57,203	
修繕コスト	51,474	63,341	68,553	25熱源改修 30,499 26熱源改修 41,544 27熱源改修 45,850
その他	0	0	0	
(合計)	155,361	188,806	189,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	43,161	43,469	43,996	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,275	332,725	276,228	

【総括表】

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(地域振興局福祉環境部)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北秋田地域振興局大館福祉環境部	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	山本地域振興局福祉環境部	能代市	存続	大規模修繕を実施
4	秋田地域振興局福祉環境部	潟上市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局福祉環境部	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局福祉環境部	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	平鹿地域振興局福祉環境部	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局福祉環境部	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

大規模修繕の実施等により長寿命化を図りながら存続。
基本的に、屋根の崩落、外壁等の落下などの危険性がある老朽・損壊箇所を、優先して修繕対応する。
(秋田福祉環境部の「玄関アプローチ屋根」など)
各福祉環境部とも、エアコンのメーカー部品供給が終了、又は終了が迫っている状態のため、速やかに更新をしていく。その他に、FFストーブのメンテナンス・更新等を適宜実施。

1	施設名	北秋田地域振興局大館福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館福祉環境部	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	1,810.04 m ²	建設年	H 1 3
構造・階数	鉄筋コンクリート造・平家	台帳価格	336,564,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

現在、建築から15年を経過しているが、民間譲渡等の予定も無く、税法上の鉄筋コンクリート造の耐用年数である50年を超えるまで、適宜修繕を行いながら使用する。

4 管理上の課題等

ヒートポンプ式エアコンのメーカー部品供給がH27年3月末で終了しており、今後故障した際には機器更新が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・エアコンのメンテナンス
- ・屋上のコーキング剥がれ修理、屋上排水管詰まり
- ・外壁補修
- ・電話回線ナンバーディスプレイ化

6 管理に関する実施計画

大館福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	空調設備改修工事	2,002	
〃	電話回線ナンバーディスプレイ化（大館福祉、北児相）	6,965	
31	空調設備改修	73,371	
	(合 計)	82,338	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,171	2,265	2,276	
運用コスト	2,371	2,172	1,731	
修繕コスト	1,808	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	6,350	4,437	4,007	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

2	施設名	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	1,023.57 m ²	建設年	S 4 6 (H 1 4 改修増築)
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2 階建	台帳価格	155,346,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

・昭和 46 年建築部分については、平成 33 年に耐用年数が到来するが、長寿命化を図りながら使用する。

4 管理上の課題等

・冷暖房設備（KHP）が耐用年数を超過しており、更新が必要である。
 ・障害者用スロープのロードヒーティングが故障しており、修繕が必要である。
 ・事務室のタイルカーペットが、竣工以来一度も水洗いがされていないため、汚れが目立ち、不衛生で、張り替え等が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・冷暖房設備（KHP）は漏電による故障が多発し、その都度、利用者及び職員が影響を受けており、早急に更新等の対応が必要である。
- ・障害者用スロープの北側半分が故障により通電しない。積雪寒冷地のため、冬期間は車椅子利用者の来庁に支障を来すことから、早急に修繕等対応しなければならない。
- ・タイルカーペットの貼り替え等の対応が必要である。

6 管理に関する実施計画

鷹巣阿仁福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	耐震診断等	4,546	
32	空調設備更新	33,807	H29見積もり
〃	耐震改修工事	13,192	
34	障害者用スロープ	2,000	北側半分の融雪装置が故障
34	タイルカーペット貼り替え	1,665	H29見積もり
	(合 計)	55,210	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,886	1,436	1,569	
運用コスト	1,177	1,051	964	
修繕コスト	1,855	286	350	
その他				
(合計)	4,918	2,773	2,883	

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

3	施設名	山本地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局福祉環境部	所在地	能代市御指南町
施設面積	998.87 m ²	建設年	S44
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	161,156,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

・鉄筋コンクリート事務所の耐用年数 50 年を経過後も使用する。

4 管理上の課題等

・冷暖房設備（KHP）について製造メーカーの事業撤退及び耐用年数超過のため、更新の必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・冷暖房設備更新工事：修繕不能となることから更新が必要
- ・事務室カーペット貼替：カーペットタイルの剥離が散見されており、危険なため修繕が必要
- ・LED照明更新工事：LED蛍光灯又は照明器具の耐用年数経過により交換が必要となる

6 管理に関する実施計画

山本福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	耐震診断	3,618	
32	耐震改修工事	50,243	
33	空調設備更新	13,599	
	(合 計)	67,460	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,601	1,539	1,491	
運用コスト	768	724	561	電気料は庁舎に計上されているため除く。
修繕コスト				
その他				
(合計)	2,369	2,263	2,052	

【収入】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

4	施設名	秋田地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	秋田地域振興局福祉環境部	所在地	潟上市昭和乱橋字古開
施設面積	2,282.07 m ²	建設年	H10
構造・階数	R C造平屋建	台帳価格	328,809,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、今後の施設維持と移転に係るコスト等の比較結果によっては移転を検討するが、その場合であっても、男鹿・南秋地域の住民の利便性に配慮した場所とする必要がある。加えて、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・適宜修繕しながら使用する。

4 管理上の課題等

- ・事務室天井に雨漏り箇所がある。
- ・窓枠、外壁など、劣化が著しい箇所が多数ある。
- ・空調設備の効率が悪く、執務環境に影響が出ている。
- ・建設時から発生した地盤沈下の影響により、随所に陥没やひび割れがあるため、耐久性の診断が必要と思われる。

5 管理に関する実施方針

・全体的に劣化が著しい状態だが、来庁者の安全に関わる部分や職員の執務に影響が大きい部分を優先的に修繕していく。

6 管理に関する実施計画

秋田福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	玄関アプローチ屋根修繕	9,238	
H30	電話設備更新	5,892	
H32	冷温水発生機更新	52,678	
H35	庁舎建築改修(外壁他)	32,813	
	(合 計)	100,621	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,334	2,391	2,396	
運用コスト	3,503	3,278	3,043	
修繕コスト	9,505	1,652	627	
その他				
(合計)	15,342	7,321	6,066	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

5	施設名	由利地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局福祉環境部	所在地	由利本荘市水林
施設面積	1,237.15 m ²	建設年	S 6 0
構造・階数	鉄筋コンクリート2階	台帳価格	142,573,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物の損傷・劣化、空調等設備の故障等から、大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

- ・外壁の損壊箇所（外壁コンクリートの落下など）の確認と必要な修繕
- ・空調の交換（部品の供給が困難な状況にあることから、新式への交換が必要）
- ・玄関自動ドアの取替
- ・庁舎内のバリアフリー化
 - 障害者の2階への運搬機器（いす式階段昇降機、エレベータ）の設置
 - 事務室入り口の自動化、トイレの段差解消 等

5 管理に関する実施方針

部品の供給・交換が困難な次の2つについては、早期の修繕（交換）が必要である。

- ・空調設備
- ・玄関自動ドア

上記以外については、状況に応じて検討していく。

6 管理に関する実施計画

由利福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	実施設計（空調設備更新）	1,243	
32	玄関自動ドアの取替	324	
33	空調設備改修	23,858	
	(合 計)	25,425	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,931	2,040	2,049	
運用コスト	1,675	1,298	1,265	
修繕コスト	237	10	369	
その他				
(合計)	3,843	3,348	3,683	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

6	施設名	仙北地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局福祉環境部	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	1,145.47 m ²	建設年	S45（増築改修H14）
構造・階数	鉄筋コンクリート2階建て	台帳価格	171,028,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

冷暖房設備の補修部品の在庫がなくなり次第、修理不可となるため早めに対応を検討する必要がある。

4 管理上の課題等

既存冷暖房設備が年に数回の頻度で故障しており、また、2017年3月末で補修部品供給が終了しているため、今後施設を維持管理していくためには、冷暖房設備の更新を検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・既存冷暖房設備の補修部品の供給が、2017年3月で終了しているため、冷暖房設備の更新を検討する。
- ・保健所建物の軒天において、塗装部分が剥がれ、落下の恐れがあるため、修繕が必要。

6 管理に関する実施計画

仙北福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	耐震診断	3,696	
32	耐震改修工事	57,617	
33	空調設備更新	32,838	
	(合 計)	94,151	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,724	1,759	1,781	
運用コスト	2,339	2,319	2,086	
修繕コスト	642	52	685	
その他				
(合計)	4,705	4,130	4,552	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

7	施設名	平鹿地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局福祉環境部	所在地	横手市旭川
施設面積	1,590.01 m ²	建設年	S45 (H15増築)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	292,286,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

目標使用年数は、増築前の施設の耐用年数とした。

4 管理上の課題等

- ・構造体の大規模修繕は必要ないものの、空調設備については、製造メーカーが現存せず部品等の製造も行われていないため、早期の更新が必要である。
- ・執務室の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・空調設備の製造メーカーが現存せず部品等の製造も行われていないため、経年劣化等による事故や損壊など、不測の事態に備え早期に更新を行う。
- ・執務室内の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する。

6 管理に関する実施計画

平鹿福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	耐震診断等	4,781	
32	福祉環境部照明器具修繕	1,242	応急的に落下防止カバーを撤去したことにより、照度基準に達した状態にある。
〃	耐震改修工事	35,615	
	(合 計)	41,638	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,792	1,641	1,727	
運用コスト	612	608	470	
修繕コスト	1,855	202	49	照明器具修繕(H25)
その他	0	0	0	
(合計)	4,259	2,451	2,246	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

8	施設名	雄勝地域振興局福祉環境部

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局福祉環境部	所在地	湯沢市千石町
施設面積	996.90 m ²	建設年	H 1 4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	211,511,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。

なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物（鉄筋コンクリート造）の耐用年数に基づき目標使用年数を決定した。

4 管理上の課題等

冷暖房機器（灯油式ヒートポンプエアコン）が平成14年の設置から約17年を経過し、耐用年数10年を超えている。室外機についても生産終了により、平成29年8月に部品供給期限を迎えた。
・一部の室内機についても異音等小さな不具合は発生しており、また平成28年3月のメーカーによる点検時には機器更新について検討するよう報告を受けていることから、早期の機器更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・冷暖房機器（灯油式ヒートポンプエアコン）の更新が必要である。（既設の機器が耐用年数10年を超えている。部品等も生産終了。）
- ・躯体保護のための外壁塗装の周期は15年、屋根防水の改修周期は20年を目標とする。
- ・建物外壁は雨水浸透による塗装剥離箇所が増えているため、修繕が必要である。

6 管理に関する実施計画

雄勝福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	東側外壁塗装修繕	1,977	
33	空調設備更新	27,259	
	(合 計)	29,236	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	1,248	1,246	
運用コスト	1,650	1,400	1,150	
修繕コスト	1,070	708	502	
その他	-	-	-	
(合計)	3,960	3,356	2,898	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(社会福社会館)

1 施設の概要

施設名称	社会福社会館	所在地	秋田市旭北栄町
施設面積	12,909.98 m ²	建設年	S61
構造・階数	鉄筋コンクリート造地上10階、地下1階 ※一部3階建(心身障害者総合福祉センター部分)	台帳価格	1,447,313,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県条例に基づき設置された施設であり、社会福祉推進の拠点として、県民福祉の向上に関わる社会福祉団体等に利用されている。心身障害者総合福祉センターとしての機能については、民間での類似サービス施設はないことから、県が設置すべき施設である。

なお、施設・設備については、構造体は強固で、安全性もほぼ問題ないが、平成28年6月で建設から30年が経過し、設備の老朽化による不具合の箇所が多数発生している。前回の大規模修繕(平成20年)から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、大規模修繕が必要となっている。

※ 集約・複合化の検討について

当該施設は、社会福祉団体及び社会奉仕活動を行う者等に対する支援をはじめ、会館の一部として、障害者のための相談や事業などを行う県心身障害者総合福祉センターの機能も持ち合わせていることもあり、現時点では他の施設との集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

施設設置の趣旨に鑑み、現時点では民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の社会福祉を推進する団体の活動拠点や、他に類似施設のない心身障害者総合福祉センターとして、県が管理運営すべき施設であるため、現時点では市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

社会福祉推進の拠点及び心身障害者総合福祉センターとして県民に必要な施設であることから、予防保全型管理を行いながら、耐用年数まで現施設を使用する。
目標使用年数経過後は、建替等が必要となる。

4 管理上の課題等

設備の老朽化が進み、前回の大規模修繕（平成20年）から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、平成28年度に施設設備の劣化度診断調査を実施した結果、次の課題が明確となっている。

- 建築後30年が経過し、これまで修繕されていない不具合が生じている箇所の修繕や、更新等が必要な設備等が多数ある。
- 施設を安全に利用するためには、使用年限までの間、費用及び老朽化・不具合の状況等を考慮しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。

5 管理に関する実施方針

平成28年度に実施した劣化度診断調査結果をもとに、劣化状況及び法令上必要な年限の措置等を考慮して作成された保全計画に基づき、来館者及び入居団体が安全に利用できるよう、修繕を計画的に実施する。

○建築関係

雨漏りに対する防水工事、経年劣化による外壁・サッシ等の破損等の不具合箇所を修繕する外装及び内装工事を実施する。

○電気設備

更新年数を経過した設備の更新や電源装置のバッテリーの交換等を実施する。

○機械設備

腐食や故障している冷温水関係の配管とその機械設備、給水管の更新等を実施する。

6 管理に関する実施計画

社会福祉会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋上・トップライト防水	31,763	
H30	空調設備設計、天井改修工事	55,665	
H31	空調設備改修工事、冷温水配管設計等	39,111	
H32	冷温水配管改修工事等	170,443	
H33	昇降機修繕工事	49,562	
H34	昇降機修繕工事	45,890	
H35	カーテンウォール改修工事	64,736	
	(合 計)	457,170	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,179	24,361	23,977	
運用コスト	26,550	25,059	21,948	
修繕コスト	1,005	3,330	7,303	
その他	0	0	0	
(合計)	51,734	52,749	53,228	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,752	10,994	11,615	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48,040	46,383	54,096	※有料会議室利用人数のみ

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（福祉相談センター）

1 施設の概要

施設名称	福祉相談センター	所在地	秋田市中通
施設面積	1,016.53 m ²	建設年	H17
構造・階数	SRC造 地上8階（1階の一部）	台帳価格	156,986,000 円

※「施設面積」及び「台帳価格」には、秋田市新屋にある車庫分を含む。

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	他の用途への転換を実施
「基本的な方針の考え方」 当該施設は公共性の極めて高い相談機関であり、存続とする。 しかし、相談業務の拡充に伴い執務室が手狭となったことに加え、相談者用の駐車場の確保が困難である上、相談内容が女性相談と重複するなど専門分野を跨ぐものが多いため、老朽化が進んだ中央児童相談所及び母子福祉総合センター（女性相談所）の改築による複合化施設に、当該センター及び併設の精神保健福祉センターを併せて、4施設の複合化による新たな総合福祉相談施設を整備する。 中央児童相談所と女性相談所が児童虐待防止や一時保護者の生活環境改善等のために早急な改築を要することから、他の県有施設に優先して新施設の整備を行う。 移転後のスペースについては、34年度中に他の用途に転換する。		

※ 集約・複合化の検討について

中央児童相談所及び女性相談所との複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実など、県民サービスの向上に向けた検討を行う。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

当該施設の機能は平成34年度を目途に整備する新たな総合福祉相談施設に移転するが、センターが入居する明徳館ビルについては、今後、所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施していく。

4 管理上の課題等

当該施設が入居する建物は、老朽化は進んでいないものの、精神保健福祉センターの併設（H20）や補聴器相談事業の開始（H27）等により事務スペースが手狭となっている。
立体駐車場の高さ制限のため、高さ1.5m以上の車（軽のワンボックス等）が駐車できないが、障害者は大きな車に乗っていることが多いことから、利用者に不便を強いている。
移転後のスペースについては、他部局とも協議の上、新たな活用を検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施。

6 管理に関する実施計画

福祉相談センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	新施設建築に係る基本設計	6,970	現建物床面積計の27.88%
32	〃 実施設計	6,970	〃
33	本体工事、設備工事	278,800	〃
	(合 計)	292,740	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	明德館高校負担
運用コスト	1,061	1,575	1,474	センター負担分
修繕コスト	0	0	0	明德館高校負担
その他	0	0	0	明德館高校負担
(合計)	1,061	1,575	1,474	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	5,761	補聴器相談事業診療報酬

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,078	955	1,409	来所者人数

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(総合保健センター)**

1 施設の概要

施設名称	総合保健センター	所在地	秋田市千秋久保田町
施設面積	9,493.79 m ²	建設年	S61
構造・階数	R C造・地上5階、地下1階	台帳価格	1,068,838,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現時点で構造体に大きな問題はないが、老朽化に対応し、大規模修繕が必要である。当施設は県民に対する人間ドック提供や、医療関係団体が入居しており、県民の健康保持増進のため利便性の高い施設として今後も活用していく必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

・集約・複合化は予定していない。

※ 公民連携の検討について

・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・生活習慣病による死亡率が高止まりしている本県において、人間ドックによる疾病の早期発見は重要であり、引き続き健診の受診環境の提供が必要である。人間ドックを提供できる組織は限られており譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

・市町村協働は現時点で検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・施設及び設備の長寿命化対策（施設内照明LED化等）を行い、今後20年以上は使用する。目標使用年数経過後の取扱いについては、更新を前提に検討していく。

4 管理上の課題等

・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合保健センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	照明設備LED改修等	35,195	健康環境センターを含む。
32	放送設備更新	10,346	健康環境センターを含む。
33	空調機更新(自動制御装置)	103,151	健康環境センターを含む。
34	地下タンクライニング工事及びマンホール修繕	3,996	
35	エレベーター部品交換	699	
36	高圧受電盤他機器更新	15,120	
37	非常用発電機蓄電池交換	1,080	
38	大会議室照明LED化工事	13,771	
39	事務室等LED化工事	31,638	
40	自動ドア部品交換	1,344	
	(合 計)	216,340	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
保守コスト	40,245	27,195	27,490	
運用コスト	46,035	21,668	21,735	
修繕コスト	1,414	1,204	1,089	
その他				
(合計)	87,694	50,067	50,314	

(単位：千円)

【収入】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料収入	273,294	285,202	286,808	

(単位：人)

【利用者等】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用者数等	5,702	5,850	5,889	総合健診受診者数

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(中央児童相談所)**

1 施設の概要

施設名称	中央児童相談所	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	1,404.99 m ²	建設年	S 4 8
構造・階数	鉄骨・一部2階	台帳価格	61,291,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化(主)を実施
「基本的な方針の考え方」 当該施設は、老朽化が進んでいる上、一時保護室の狭小や個室の不足等により保護児童に良好な環境を提供できていない状況である。また、児童虐待に対応する国の方針により、今後児童福祉司等を増員していかなければならないところ、既に執務室に余剰スペースがない。 さらに、近年増加の傾向にある面前DVや発達障害に起因する児童虐待に迅速に対応する必要があることから、母子福祉総合センター(女性相談所)、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの一体的運用が有効であり、これら4施設を複合化して新たな総合福祉相談施設を整備する。 児童虐待防止や一時保護者の生活環境改善等に向けて早急な改築を要するため、他の県有施設に優先して新施設の整備を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

女性相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実など、県民サービスの向上に向けた検討を行う。

※ 公民連携の検討について

現時点では検討していない。児童相談所業務は、状況に応じて強制的な措置や立ち入り等を行うものであることから、公民連携になじまない。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

現時点では検討していないが、児童福祉法第12条第1項により、都道府県に設置義務があることから、民間等への譲渡になじまない。

※ 市町村協働の検討について

現時点では検討していない。児童相談所の設置に係る秋田市の意向等を確認し、状況に応じて協働の可能性を検討する必要がある。

3 目標使用年数 【目標使用年数50年】

施設の老朽化が進んでおり、平成34年度を目途に建替え(複合化)を行う。

4 管理上の課題等

建物の老朽化については、浄化槽の詰まり、配管からの水漏れ、壁の隙間からの風・害虫の進入等の不具合が顕著である。

平成24年度に改正された児童保護施設に係る設備基準では、一時保護居室の面積は1人当たり4.95㎡以上とされているが、現在の居室面積は1人当たり3.3㎡以上の旧基準となっている。

一時保護施設において、混雑時には一時的に一室に定員を上回る児童が入室する場合があります、特に、女子の居室が不足している。

虐待対応案件の増加や、里親委託を推進する中で、組織体制の強化も課題であるが、職員の執務スペースが狭隘になってきている。

5 管理に関する実施方針

建替が完了するまでの間は小破修繕で対応。

6 管理に関する実施計画

中央児童相談所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	冷房設備更新	12,116	
31	建替に係る基本設計	11,015	現建物床面積計の44.06%
32	〃 実施設計	11,015	〃
33	本体工事、設備工事	440,600	〃
	(合 計)	474,746	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,073	2,814	2,883	
運用コスト	4,677	4,893	3,914	
修繕コスト	1,184	526	2,099	
その他	48	74	113	
(合計)	8,982	8,307	9,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：件)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,241	2,357	2,478	相談受付件数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(千秋学園)

1 施設の概要

施設名称	千秋学園	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	2,962.98 m ²	建設年	S 4 9
構造・階数	鉄骨・一部2階	台帳価格	108,420,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 施設の全体的な老朽化は進んでいるものの、当面の間は機能維持のための修繕で対応する。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では検討しておらず、当面は施設の修繕等で対応予定である。建て替えをする場合、施設の複合化は、行政資源の効果的な活用を図る上で選択肢の一つではあるが、児童自立支援施設としての支援のあり方や、そのために必要な望ましい環境等を慎重に勘案し、検討する必要がある。

※ 公民連携の検討について

現時点では検討していない。不良行為をなし、又はなすおそれのある児童等について、警察署からの通告、家庭裁判所からの送致等を受けて入所するものであることから、公民連携には慎重な検討が必要である。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

現時点では検討していない。児童福祉法施行令第36条により都道府県に設置義務があり、県内に一施設のみであることから、民間等への譲渡になじまない。

※ 市町村協働の検討について

現時点では検討していないが、県内に一施設のみであるほか、不良行為等をなした児童等を対象とした生活指導等を行うものであることから、他施設との複合化等については、慎重な検討が必要である。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

施設の全体的な老朽化は進んでおり、他の県有施設との複合化等も含めて、施設のあり方を検討していく。

4 管理上の課題等

個別指導を必要とする児童の処遇スペースがない。

5 管理に関する実施方針

当面は機能維持のための修繕で対応。

6 管理に関する実施計画

千秋学園に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	プール濾過装置、滅菌装置改修	4,241	
31	外壁改修	11,043	
33	屋根外壁改修	32,000	
	(合 計)	47,284	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,987	3,056	3,152	
運用コスト	11,935	10,883	8,737	
修繕コスト	3,653	3,793	4,721	
その他	0	0	0	
(合計)	18,575	17,732	16,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6	9	11	新規入園者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(母子福祉総合センター)

1 施設の概要

施設名称	母子福祉総合センター	所在地	秋田市手形住吉町
施設面積	894.46 m ²	建設年	S 5 2
構造・階数	RC造・3階	台帳価格	55,027,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化(従)を実施
「基本的な方針の考え方」 当該施設は、老朽化が進んでいる上、エレベーターが不備であるなどの事情から、一時保護者(2階)及び婦人保護施設入居者(3階)の生活に支障を来している。 さらに、近年増加の傾向にある面前DVや発達障害に起因する児童虐待に迅速に対応するため、中央児童相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの一体化が有効であることから、これら4施設を複合化して新たな総合福祉相談施設を整備する。 児童虐待防止や一時保護者の生活環境改善等に向けて早急な改築を要するため、他の県有施設に優先して新施設の整備を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

中央児童相談所、福祉相談センター及び精神保健福祉センターとの複合化について、施設管理の効率化だけではなく、相談業務のワンストップ化や研修・企画部門の機能強化、心理司等専門職員の充実など、県民サービスの向上に向けた検討を行う。

※ 公民連携の検討について

現時点では検討していない。売春防止やDV防止に関わる女性の保護等を行うものであることから、公民連携には慎重な検討が必要である。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

現時点では検討していない。売春防止法第34条第1項により都道府県に設置義務があり、県内に一施設のみであることから、民間等への譲渡にはなじまない。

※ 市町村協働の検討について

現時点では検討していないが、売春防止やDV防止に関わる女性の保護等を行うものであることから、市町村有施設との複合化等については、慎重な検討が必要である。

3 目標使用年数 【目標使用年数50年】

施設の老朽化が進んでおり、平成34年度を目途に建替えを行う。

4 管理上の課題等

建物の老朽化については、全体的に壁のひび割れがあるほか、雨漏り、屋上（塔屋）の排水口の詰まりによる漏水がある。
一時保護者及び女性保護施設入居者の居住区は2階・3階であるが、洗面所、洗濯室や浴室などの水回り設備が1階にしかないため不便であることに加え、エレベーターがないことや施設内に段差が多いことから、高齢者や障害者の受入が困難となっている。

5 管理に関する実施方針

建替が完了するまでの間は小破修繕で対応。

6 管理に関する実施計画

母子福祉総合センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	建替に係る基本設計	7,013	現建物床面積計の28.05%
32	〃 実施設計	7,013	〃
33	本体工事、設備工事	280,500	〃
	(合 計)	294,525	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	978	984	
運用コスト	3,429	3,298	2,736	
修繕コスト	220	976	578	
その他	0	0	184	樹木剪定2件
(合計)	4,591	5,252	4,482	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：件)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,686	3,506	3,754	相談受付件数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(衛生看護学院)

1 施設の概要

施設名称	秋田県立衛生看護学院	所在地	横手市前郷
施設面積	6,078.39 m ²	建設年	H20
構造・階数	RC造・4階	台帳価格	819,589,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内の看護職員確保・定着に向けた質の高い看護職員養成のため、必要な修繕等により施設を維持・存続し社会に貢献できる人材の育成を図る。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

減価償却資産の耐用年数（学校：47年）を目標使用年数とした。
看護職員として社会に貢献する人材の育成を継続して行うため、耐用年数を目処に施設を建替え（更新）。

4 管理上の課題等

・建設時に導入した冷暖房空調機器の保守部品供給が平成32年11月をもって終了となるため、更新が必要。

5 管理に関する実施方針

・冷暖房空調機器はKHP（灯油式ヒートポンプ）方式であるが、近年の灯油料金の上昇や他方式の能力向上に伴い需要が減少し、製造メーカーの事業撤退や生産終了に伴う保守部品供給期限の告知がなされていることから、他方式で最もトータルコストが低いGHP（ガス式ヒートポンプ）方式の冷暖房空調機器に更新する。

6 管理に関する実施計画

衛生看護学院に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
32	冷暖房空調機器更新	136,336	
	(合 計)	136,336	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,516	6,937	6,627	FM基礎台帳より
運用コスト	8,090	7,956	6,312	FM基礎台帳より
修繕コスト	596	608	1,249	
その他	0	0	0	
(合計)	16,202	15,501	14,188	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,933	16,708	16,765	歳入決算より

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	168	166	170	FM基礎台帳より

【総括表】

部局(庁)名	健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（老人福祉総合エリア）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北部老人福祉総合エリア	大館市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
2	中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
3	南部老人福祉総合エリア	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	能代山本老人福祉総合エリア	能代市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
5	南部老人福祉総合エリア（軽費老人ホーム）	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
6	南部老人福祉総合エリア（養護老人ホーム）	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

施設（設備）の劣化状況や利用者ニーズ等を踏まえ、緊急性や必要性の高いものを優先して修繕等を行う。

1	施設名	北部老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	北部老人福祉総合エリア	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	7,327.28 m ²	建設年	H 1 1
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	1,877,160,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・ 建築後 20 年が経過する平成 31 年度以降、設備の劣化や、部品調達ができなくなるため、各種設備の更新、改修が必要になる。
- ・ 建築後 25 年が経過する平成 36 年度以降、屋根、内外装の劣化に伴う改修工事が必要になる。

6 管理に関する実施計画

北部老人福祉総合エリアに係る今後 10 年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	玄関・エントランス、運動スペース天井等耐震化	111,134	
H32	空調設備改修	37,714	
H32	中央監視盤更新	42,225	
(合 計)		79,939	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,644	12,316	14,125	
運用コスト	31,305	31,400	25,446	
修繕コスト	6,800	2,781	2,098	
その他	0	0	0	
(合計)	50,749	46,497	41,669	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	21,422	22,253	23,306	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	76,922	79,090	78,964	

2	施設名	中央地区老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	中央地区老人福祉総合エリア	所在地	秋田市御所野下堤五丁目
施設面積	9,344.55 m ²	建設年	H 9
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	2,105,502,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・ 建築後 25 年が経過する平成 34 年度以降、老朽化に伴う屋根等の改修や各種設備の更新、改修が必要になる。

6 管理に関する実施計画

中央地区老人福祉総合エリアに係る今後 10 年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	火災受信機更新	22,899	
H29	玄関エントランス、屋内運動場天井等耐震化	98,649	
	(合 計)	121,548	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,280	16,285	17,075	
運用コスト	61,722	64,389	58,028	
修繕コスト	11,149	6,628	22,550	H27(10,284)制御盤等更新
その他	0	0	0	
(合計)	89,151	87,302	97,653	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	52,412	53,978	55,070	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	156,515	161,517	164,214	

3	施設名	南部老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	11,113.40 m ²	建設年	S 6 3
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	1,105,426,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・平成32年度末を目途に、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団への老人専用マンションの譲渡を検討していく。
・コミュニティセンターについても、事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続させていく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・ 建築以来、30年が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。
- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリアに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	居室バリアフリー化改修	76,629	
H30	地下タンク・油面計	27,677	
H30	プール暖房配管改修	1,753	設計
H31	プール暖房配管改修	51,264	
H31	屋根防水改修（生きがい創作等）	5,683	
H33	給排気ファン更新（サプライエネセンター）	25,083	
H33	暖房配管機器更新（コミセン）	74,913	
H34	外壁改修（コミセン）	45,583	
H35	暖房配管機器更新（介護センター）	56,127	
H35	暖房配管機器更新（サプライエネセンター）	38,498	
H36	暖房配管機器更新（屋内プール）	43,164	
H36	火災感知器更新	30,597	
H36	昇降機改修（コミセン）	50,481	
H37	暖房配管機器更新（老人専用マンション）	57,266	
	（ 合 計 ）	584,718	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,360	13,160	13,160	
運用コスト	85,192	82,372	68,850	
修繕コスト	13,076	95,696	49,364	H26, H27屋上防水等改修
その他	0	0	0	
（合計）	109,628	191,228	131,374	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,730(19,722)	25,176(18,313)	25,071(14,865)	()内はマンション分、外数

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,604(16)	71,328(15)	71,070(10)	()内はマンション分、外数

4	施設名	能代山本老人福祉総合エリア

1 施設の概要

施設名称	能代山本老人福祉総合エリア	所在地	能代市字腹鞆の沢
施設面積	3,080.17 m ²	建設年	H 3
構造・階数	R C造・1階	台帳価格	415,762,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である能代山広域市町村圏組合等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の無償貸付先である能代山本広域市町村圏組合等への譲渡を検討しながら施設を存続する。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新をする場合、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・能代山本広域市町村圏組合に無償貸与している施設であり、施設運営に関する県の関与がないことから、今後、県費による施設の修繕等は予定しない。

6 管理に関する実施計画

能代山本老人福祉総合エリアに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	健康増進ホール天井耐震化	24,446	
	(合 計)	24,446	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,423	3,732	3,698	
運用コスト	13,491	12,316	9,707	
修繕コスト	1,551	1,260	1,708	
その他	0	0	0	
(合計)	18,465	17,308	15,113	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,993	10,559	10,144	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	27,364	26,555	24,981	

【個別票】

5	施設名	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,470.39 m ²	建設年	H 2
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	294,894,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【平成32年度を目途に民間等へ譲渡】

・現在の無償貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・ 建築以来、28年が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア軽費老人ホームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	暖房配管機器更新	76,158	
H32	防水改修	53,656	
	(合 計)	129,814	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	202	1,097	1,097	
運用コスト	1,297	1,225	11,126	
修繕コスト	2,978	2,743	1,749	
その他	0	0	0	
(合計)	4,477	5,065	13,972	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	34,851	33,940	53,278	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	43	43	37	

【個別票】

6	施設名	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,098.94 m ²	建設年	S 6 3
構造・階数	R C 造・1 階	台帳価格	213,043,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【平成32年度を目途に民間等へ譲渡】

・現在の無償貸与先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・ 建築以来、30年が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア養護老人ホームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	特種浴槽設置工事	16,128	
H32	防水の改修	80,623	
H36	暖房配管機器更新	72,911	
	(合 計)	169,662	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	514	549	549	
運用コスト	1,114	1,195	1,076	
修繕コスト	3,391	3,442	5,244	
その他	0	0	0	
(合計)	5,019	5,186	6,869	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	113,022	111,507	113,008	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48	48	49	

部局(庁)名

健康福祉部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田県点字図書館)

1 施設の概要

施設名称	秋田県点字図書館	所在地	秋田市土崎港南
施設面積	1,020.43 m ²	建設年	H6
構造・階数	R C造平屋建	台帳価格	160,261,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現在、平成28年度から平成32年度までの期間で指定管理により運営しており、指定管理者は(福)秋田県社会福祉事業団である。県内唯一の視覚障害者情報提供施設であり、指定管理期間終了後も機能を維持していく方針である。建物の経年劣化が懸念されるが、利用者の安全に係る損壊箇所はなく、今後、必要に応じて修繕を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

利用者の安全に係る損壊箇所はないが、必要に応じて大規模修繕を行い、機能を維持する。

4 管理上の課題等

現時点で大規模修繕の必要はないが、経年劣化により小破修繕を実施すべき箇所がある。

5 管理に関する実施方針

平成27年度に冷暖房設備を大規模修繕しており、現時点で大規模修繕は予定していない。
また、小破修繕については基本的に指定管理料の範囲内で実施することとしている。

6 管理に関する実施計画

秋田県点字図書館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	高気圧中負荷開閉器交換	885	指定修繕
	(合 計)	885	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,418	1,330	1,330	
運用コスト	2,020	2,023	1,625	
修繕コスト	560	1,086	36,181	H27大規模修繕実施
その他	0	0	0	
(合計)	3,998	4,439	39,136	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：冊)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	18,670	17,212	13,976	図書貸出数を記載

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(健康増進交流センター)

1 施設の概要

施設名称	健康増進交流センター	所在地	秋田市河辺三内字丸舞
施設面積	5,448.56 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	1,407,372,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

今後、温泉浴場施設の老朽化に対応した大規模修繕は必要であるものの、現時点で構造自体に大きな問題はなく、厚生労働省から、県内で唯一「温泉利用型健康増進施設」の認定を受けた「健康増進のための温泉利用及び運動を安全かつ適切に行うことができる健康づくり拠点施設」として有効に活用する。一定の役割を果たした後は、建物の更新はしない。

※ 集約・複合化の検討について

・集約・複合化は予定していない。

※ 公民連携の検討について

・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・健康づくりの拠点施設として当面は県が関与し、更新時期には譲渡を検討する。

※ 市町村協働の検討について

・既に秋田市の高齢者健康づくりセンターと合築するなどしており、これ以上の集約・複合化等は検討はしていない。更新時期には譲渡と併せて検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・施設及び設備の長寿命化対策（館内照明LED化、温泉設備ポンプ等インバーター制御装置導入等）を行い、今後30年以上は使用する。目標使用年数経過後は、譲渡・集約などを検討する。

4 管理上の課題等

・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後必要と見込まれる修繕や更新等は次のとおり。

- ・施設及び設備の長寿命化対策：館内照明ＬＥＤ化、温泉設備ポンプ等インバーター制御装置の全箇所への導入。
- ・温泉浴場設備：ろ過ユニットやポンプ類の老朽化があり、更新が必要。
- ・取水井更新：不具合が生じており、更新が必要。

6 管理に関する実施計画

健康増進交流センターに係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
32	取水設備更新	10,114	
33	温泉浴場設備改修	145,228	
34	空調設備ポンプ改修	20,242	
35	給排水設備改修	14,254	
36	廊下トップライト改修	11,232	
37	自動火災報知設備及び付帯設備更新	14,303	
	(合 計)	215,373	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
保守コスト	37,152	40,427	41,059	
運用コスト	72,596	68,778	70,971	
修繕コスト	10,595	7,560	7,560	
その他				
(合計)	120,343	116,765	119,590	

(単位：千円)

【収入】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料収入	50,224	51,601	54,724	

(単位：人)

【利用者等】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用者数等	93,108	94,006	95,029	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(心身障害者コロニー)

1 施設の概要

施設名称	心身障害者コロニー	所在地	由利本荘市西目町出戸字孫七山
施設面積	34,469.75 m ²	建設年	H4～H11(改築)
構造・階数	R C造平屋建ほか	台帳価格	4,433,751,018 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県有障害者施設については、障害者自立支援制度の導入など障害福祉を取り巻く環境が大きく変化する中で、県の役割を見直し自立した運営形態への転換を図るため、(福)秋田県社会福祉事業団と協議を行い、これまで水林通勤寮(平成23年4月)、高清水園及び阿桜園(平成28年4月)の3施設を譲与し、心身障害者コロニー及び更生訓練センターを無償貸付してきた。 心身障害者コロニーは、定員規模、施設規模が非常に大きく、現状の規模を維持したまま民間がサービスを提供することは難しいことから、平成28年度から平成32年度までの無償貸付期間中に、将来的なあり方も含め、引き続き同法人と協議していく。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

2に記載のとおり、平成28年度から平成32年度までの無償貸付期間中に、将来的なあり方も含め、引き続き(福)秋田県社会福祉事業団と協議していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

2に記載のとおり、平成28年度から平成32年度までの無償貸付期間中に、将来的なあり方も含め、引き続き(福)秋田県社会福祉事業団と協議していく。

4 管理上の課題等

現在一部の建物においてスプリンクラー設備が未設置であるが、利用者の高齢化・重度化に伴って障害支援区分が上昇することにより、消防法の規定によるスプリンクラー設備の設置が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・平成31年度以降も、耐用年数の経過により更新時期を迎える建物設備について、年次計画により更新する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

心身障害者コロニーに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	空調設備改修等	184,790	大規模修繕
32	衛生設備更新（創生園ほか5棟）	168,372	大規模修繕
32	LED照明器具交換（創生園ほか12棟）	173,442	大規模修繕
32	自動火災報知器等更新（創生園ほか12棟）	42,172	大規模修繕
33	屋上張替（創生園ほか7棟）	37,868	大規模修繕
33	トップライト改修（施設内128か所）	16,848	大規模修繕
33	エレベーター更新（施設内2か所）	40,000	大規模修繕
34	車椅子等特殊浴室（創生園ほか3棟）	90,720	大規模修繕
34	取水設備配管更新	155,283	大規模修繕
34	非常用発電機設備（給食センターほか2棟）	864,005	大規模修繕
35	スプリンクラー（更生作業棟、授産作業棟）	55,080	大規模修繕
35	変電設備及び配電盤改修（創生園ほか14棟）	281,367	大規模修繕
35	浄化槽設備新設	107,568	大規模修繕
36	埋設ケーブルの更新	348,414	大規模修繕
36	空調・電気・濾過制御盤監視管理システム	232,731	大規模修繕
36	屋根改修工事	26,244	大規模修繕
36	外壁改修工事（職員住宅）	75,816	大規模修繕
	（ 合 計 ）	2,900,720	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,738	16,122	16,439	
運用コスト	122,759	123,920	103,129	
修繕コスト	27,747	77,820	35,332	県有建築物大規模修繕事業
その他				
（合計）	166,244	217,862	154,900	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	399	382	376	各年度末における入所者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(身体障害者更生訓練センター)

1 施設の概要

施設名称	身体障害者更生訓練センター	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	4,280.47 m ²	建設年	S 51
構造・階数	R C 造平屋建ほか	台帳価格	260,217,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 平成31年3月31日をもって(福)秋田県社会福祉事業団への無償貸付期間が終了し、廃止となる。現在の入所者は、同法人が整備した新たな施設に転所することになる。平成31年2月より、旧成人病医療センターのカルテを保管中である。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【平成30年度末をもって廃止し、平成31年度以降に除却】

現在の建物は老朽化が著しく、他の用途への転用も困難なことから解体除却する。

4 管理上の課題等

平成31年度以降、建物の状況を定期的に確認する。

5 管理に関する実施方針

平成30年度末をもって廃止し、平成31年度以降に除却する。

6 管理に関する実施計画

身体障害者更生訓練センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
32	除却	128,414	
	(合 計)	128,414	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,218	3,577	3,538	
運用コスト	18,652	18,795	15,277	
修繕コスト	0	0	0	県実施の大規模修繕なし
その他				
(合計)	39,870	22,372	18,815	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	49	49	47	年度平均入所者

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（環境保全センター）

1 施設の概要

施設名称	環境保全センター	所在地	大仙市協和
施設面積	6,156.76 m ²	建設年	H7
構造・階数	R C造・2階建 ほか	台帳価格	368,191,009 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現時点で施設全体に大きな問題がないことから、原状回復を目的とした修繕を実施しながら、存続させていく。		

※ 集約・複合化の検討について

対象施設がなく集約化・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

平成18年度から指定管理者による管理運営を行っており、今後も継続していく。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県内で発生する産業廃棄物の適正処理を確保するために必要な施設であり、県が、指定管理者制度なども活用し、適切な管理運営を行う必要がある。

※ 市町村協働の検討について

県内で発生する産業廃棄物の適正処理を確保するために必要な施設であり、県が、指定管理者制度なども活用し、適切な管理運営を行う必要がある。

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

R C構造建物の耐用年数である50年を目標使用年数とし、経過後は大規模修繕や建替えなどを検討していく。

4 管理上の課題等

- ・安全性や耐久性及び機能性に大きな問題はない。
- ・建具や設備機器について修繕が考えられることから、保守点検の徹底が必要。

5 管理に関する実施方針

- ・建設当時から20年以上使用している空調設備（パッケージエアコン）の更新
- ・建設当時から20年以上対策を行っていない屋根防水工事の実施

6 管理に関する実施計画

環境保全センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	空調設備の改修等	21,000	
H33	屋根防水工事	5,000	
	(合 計)	26,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,767	2,765	
運用コスト	2,366	2,311	2,123	
修繕コスト	2,448	1,244	1,743	
その他	0	0	0	
(合計)	7,503	6,322	6,631	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	538,935	819,207	732,336	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	20,768	24,083	21,635	廃棄物搬入台数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（動物管理センター）

1 施設の概要

施設名称	動物管理センター	所在地	秋田市浜田字神坂
施設面積	439.21 m ²	建設年	H2
構造・階数	鉄筋コンクリート平屋建	台帳価格	37,067,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 構造体の耐久性に問題はないが、床面、壁面、排水設備や設備機器等に劣化が見られ大規模修繕が必要。		

※ 集約・複合化の検討について

対象施設がなく、集約化・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 市町村協働の検討について

狂犬病予防法等に基づく業務を行うための施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

目標使用年数経過後も必要な修繕を行い存続。

4 管理上の課題等

焼却炉等の設備機器については、設置以来の経年劣化も著しくその都度必要な修繕で対応しているが、定期的な補修やメンテナンスが必要不可欠となっている。

5 管理に関する実施方針

- ・当面必要とされる焼却炉等の設備機器の補修やメンテナンスが必要。
- ・修繕については、必要に応じて実施。

6 管理に関する実施計画

動物管理センター庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	床面、壁面、排水関係の大規模改修	81,638	感染症対策、譲渡機能拡充付加
	(合 計)	81,638	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,382	1,475	1,475	
運用コスト	1,747	2,194	2,198	
修繕コスト	4,288	6,210	317	
その他				
(合計)	7,417	9,879	3,990	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,487	1,301	1,340	畜犬取締手数料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	347	363	370	

【個別票】

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（食肉衛生検査所）

1 施設の概要

施設名称	食肉衛生検査所	所在地	鹿角市八幡平字外川原
施設面積	581.98 m ²	建設年	H8
構造・階数	木造・平屋建	台帳価格	29,869,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 法令に基づく行政検査を実施するために設置しており、必要な修繕を行い存続すべき施設である。修繕時期については未定。（必要に応じて修繕） ※と畜検査は検査員がと畜場に出向いて検査を行い、必要に応じて検査室内での精密検査を実施するため、管轄すると畜場（北鹿食肉流通センター）が存続している間は、施設管理が必要となる。		

※ 集約・複合化の検討について

対象施設がなく、集約化・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

※ 市町村協働の検討について

法令に基づく行政検査を実施することを目的に設置した施設であり、引き続き、県が適切に管理を行う必要がある。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

目標使用年数経過後も必要な修繕を行い存続。

4 管理上の課題等

構造体の耐久性に問題はないが、冬期間の凍結（すがもり）による軒先と庇の破損部修繕（H24）後、豪雨時の庁舎（検査室及び休憩室）の雨漏りが顕在化し、建物の劣化を早めてしまうおそれがあることから、屋根の葺き替え補修等に合わせた修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・定期的な屋根の葺き替え補修が必要。
- ・修繕については、必要に応じて実施。

6 管理に関する実施計画

食肉衛生検査所庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	屋根の葺き替え補修及び雨漏り対策	12,000	同時実施
	(合 計)	12,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,385	1,310	1,263	
運用コスト	1,718	1,750	1,692	
修繕コスト	1,782	495	249	
その他	177	294	143	
(合計)	5,062	3,849	3,347	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	61,364	52,278	48,073	と畜検査手数料他

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	30	30	50	来訪者

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（健康環境センター）

1 施設の概要

施設名称	健康環境センター	所在地	秋田市千秋久保田町
施設面積	4,553.52 m ²	建設年	S61
構造・階数	R C 造・5 階建	台帳価格	672,179,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県における保健衛生及び環境保全の科学的・技術的中核機関として、食中毒や感染症の原因究明、食品の安全性確保、環境モニタリング、緊急事例対応など様々な試験検査や調査研究等を行っており、県民の健康被害の防止及び県の環境保全を確保するために必要不可欠であることから、大規模修繕等を実施し、存続する。 なお、食品衛生法第29条に基づき、県が設置した食品衛生検査施設である。		

※ 集約・複合化の検討について

平成18年4月に衛生科学研究所と環境センターを組織統合し、健康環境センターが発足。平成21年4月に現建物に集約した。現時点では、当センターと集約もしくは複合化できる可能性のある県機関は無いものと考えられる。

※ 公民連携の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、行政処分の根拠となることなどから民間等への委託が困難である。また、調査研究については、大学等の研究機関との共同研究などの連携は既に実施しているが、当センターの機能を全て民間等に委託することは困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、行政処分の根拠となることなどから民間等への委託が困難であるため、業務を廃止し、民間等へ施設を譲渡することは困難である。

※ 市町村協働の検討について

秋田市以外の市町村は、当センターが実施している試験検査、調査研究等は実施していないことから、協働は困難である。秋田市は保健所を設置し、試験検査機能を有しているが、市自ら対応できない感染症関係の検査の一部を当センターに委託しており、協働により当センターの業務を縮小することは困難である。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

建物の耐用年数は50年であり、現在、建設から30年以上が経過しているが、空調設備（自動制御装置）等の大規模修繕や必要な改修を行うことにより、今後20年以上の使用が可能と考えられる。

4 管理上の課題等

建設から30年以上が経過し、空調設備等が著しく老朽化していることに加え、建設当時に比べて、検査機器等の種類や台数、稼働環境が変化していることから、適切に業務を遂行するため、引き続き、大規模修繕や改修を行う必要がある。

5 管理に関する実施方針

現時点において見込まれる修繕や更新は次のとおりであるが、災害による被害や突発的な故障は随時対応する。
 空調設備：制御機能が低下。建設以来未更新の自動制御装置を更新する。
 その他の設備：各設備の機能が低下。建設以来未更新の関連する老朽化機器の更新及び修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

健康環境センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給排水設備更新	0	総合保健センターへ計上。
29	バイオハザード室改修（実施設計）	1,404	
30	バイオハザード室改修	77,458	
30	全熱交換器修繕	8,563	
30	空調機更新（送排風機関係）	0	総合保健センターへ計上。
31	ヒュームスクラバー設備更新	48,986	
31	外壁打診	2,174	総合保健センターへも計上。
32	空調機更新（自動制御装置）	103,151	総合保健センターへ計上。
32	特殊ガス警報装置更新	6,254	
32	館内放送設備更新	1,485	
32	事務室LED化改修	13,045	
33	実験排水中和処理施設更新	20,369	
	（ 合 計 ）	282,889	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	14,401	14,748	14,759	
運用コスト	29,092	27,710	24,364	電気、ガス、灯油、水道、電話
修繕コスト	1,462	938	2,346	営繕課再配当需用費等の小破修繕費を計上。
その他			19,440	火災報知設備更新等。（総合保健センター含む）
（合計）	44,955	43,396	60,909	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(鳥獣保護センター)

1 施設の概要

施設名称	鳥獣保護センター(傷病鳥獣救護・野生化訓練棟)	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	449.50 m ²	建設年	H3
構造・階数	W造・平屋建	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣保護管理事業計画を策定し、県内の傷病鳥獣の救護・飼養事業を行っている県内唯一の施設であるため、機能維持して存続していく必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

ケガや病気の野生動物の救護や野生化訓練を行う特殊な施設であるため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

同一敷地内にある環境と文化のむらの指定管理者に業務の一部を委託している。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

民間等の施設では譲受体制が整っていない。

※ 市町村協働の検討について

傷病鳥獣の保護等に関しては、市町村から協力を得ながら行っている。
飼養や野生化訓練については、各市町村で譲受体制が整っていない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根の老朽化により損傷箇所がみられるため、5年以内を目途に修繕する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

屋根の老朽化が進んでいるため、屋根の葺き替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・屋根に損傷箇所が見られるため、屋根の葺き替えを行う。

6 管理に関する実施計画

鳥獣保護センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	屋根の葺き替え	7,441	
	(合 計)	7,441	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	-	91	72	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	91	72	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

【総括表】

部局(庁)名

生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(鳥海国定公園)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鉾立ビジターセンター	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
2	祓川山荘	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】

1	施設名	鳥海国定公園（鉾立ビジターセンター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海国定公園（鉾立ビジターセンター）	所在地	にかほ市象潟町小滝字鉾立
施設面積	377.73 m ²	建設年	S60
構造・階数	R C 造・平屋建	台帳価格	29,937,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公園計画に基づき、博物展示施設を整備し、鳥海山の観光拠点の一つとする必要があるため、存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

施設の建替時期を目途に、隣接する市営稲倉山荘との集約・複合化を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、にかほ市が運営している。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

長寿命化対策として、屋根及び外壁等を修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合には、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

- ・平成25年度に大規模修繕（外壁等）を実施している。
- ・観光拠点として、トイレの洋式化と展示物の更新が望まれる。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のための、トイレの洋式化の整備を行う。
- ・外国人来訪者のための、展示施設の多言語化等、施設の展示の更新を行う。
- ・さらに、噴火時に登山者等に、退避等を周知するための情報伝達等の施設整備を行う。
- ・経年劣化による屋根・外壁等の劣化が予想されるため、屋根・外壁等の修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

鉾立ビジターセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	トイレの洋式化・展示施設の更新	13,000	
H36	情報伝達等の施設の整備	25,000	
	(合 計)	38,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				※維持管理経費等については、にかほ市が全て負担をしている。
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	8,877	11,668	11,336	

【個別票】

2	施設名	鳥海国定公園（祓川山荘）

1 施設の概要

施設名称	鳥海国定公園（祓川山荘）	所在地	由利本荘市矢島町城内字木境
施設面積	367.23 m ²	建設年	S42
構造・階数	R C 造・2 階建	台帳価格	53,158,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公園計画に基づき、鳥海山の自然探勝及び登山のための園地として整備する必要がある。また、緊急時の避難小屋として、登山者等の遭難防止のために存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

鳥海国定公園の矢島口登山道入口に唯一設置されている施設であるため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、由利本荘市が運営している。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

増築前の当初の建物は、築50年経過しているため、修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

- ・平成2年度に増築。
- ・平成27年度に大規模修繕（外壁等）を実施している。
- ・火山防災対策のため、屋根等の修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・火山の噴火時の避難小屋となっているため、噴石対策の屋根の修繕を行う。
- ・さらに、噴火時に登山者等に、退避等を周知するための情報伝達等の施設整備を行う。

6 管理に関する実施計画

祓川山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H35	情報伝達等の施設整備	25,000	
H36	屋根・外壁等の修繕	30,000	
	(合 計)	55,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	1,230	1,230	410	人件費
(合計)	1,230	1,230	410	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	590	691	338	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	431	384	188	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（素波里ふるさと自然公園センター）

1 施設の概要

施設名称	秋田白神県立自然公園（素波里ふるさと自然公園センター）	所在地	藤里町粕毛字南鹿瀬内
施設面積	300.00 m ²	建設年	S 58
構造・階数	R C 造・平屋建	台帳価格	24,682,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

素波里園地内に唯一存在する展示施設であるため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、藤里町が運営している。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

施設の老朽化が進んでおり、今後大規模修繕が必要となる。屋根の修繕は平成27年度に半分終了しており、平成29年度に残り半分の修繕を行った。
目標使用年数経過後については、必要に応じて修繕や更新等を行っていく。

4 管理上の課題等

館内の展示物は開館以来一度も更新されていないことから、故障していたり現状にそぐわない部分があり、今後更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・館内展示物の更新を行う。

6 管理に関する実施計画

素波里ふるさと自然公園センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	屋根半分の修繕	3,000	H29年度実施
H37	館内展示物更新	10,000	
	(合 計)	13,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト			2,556	屋根修繕
その他				
(合計)	0	0	2,556	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	710	571	385	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(こめつが山荘)

1 施設の概要

施設名称	森吉山県立自然公園(こめつが山荘)	所在地	北秋田市森吉字桐内沢国有林
施設面積	212.21 m ²	建設年	S63
構造・階数	W造・2階建	台帳価格	1,715,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公園計画に基づき、森吉山登山のための簡易宿泊施設として整備する必要がある。また、緊急時の避難小屋として、登山者等の遭難防止のために存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

隣接する「こめつが園地休憩所」及び「こめつが園地炊事棟」との集約化を検討する。

※ 公民連携の検討について

北秋田市に業務の一部を委託している。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

北秋田市に業務の一部を委託し、運営している。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

長寿命化対策として、屋根及び外壁等を修繕する必要がある。
また、目標使用年数の間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

最近、森吉山の自然がテレビ等で注目されていることから、今後増加が見込まれる来客者の快適な利用等から、トイレの洋式化が望まれる。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のための、トイレの洋式化を行う。
- ・経年劣化により屋根・外壁の劣化が予想されるため、屋根や外壁等の修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

こめつが山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H35	屋根・外壁・トイレ等の修繕	45,000	
	(合 計)	45,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				※維持管理経費等については、北秋田市が全て負担をしている。
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	66,602	51,020	42,955	利用者不明のため自然公園利用者数

【総括表】

部局(庁)名	生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(環境と文化のむら)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	文化の館	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
2	自然ふれあいセンター	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
3	愛鳥山荘	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】

1	施設名	環境と文化のむら（文化の館）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（文化の館）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	430.60 m ²	建設年	H6
構造・階数	W造・2階建	台帳価格	26,150,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 五城目町で発見された中山遺跡（縄文時代）や岩野山古墳群（奈良・平安時代）の日常品、装飾品など貴重な品を展示している施設であり、業務の一部を五城目町に委託しており、今後も存続していく方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

展示スペースや貴重品の管理の関係上、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

五城目町に業務の一部を委託している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

五城目町に業務の一部を委託し、運営している。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根と外壁の老朽化のほか、展示設備や空調設備の更新が考えられるため、10年以内を目途に修繕や更新する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

・ 今後は屋根や外壁等の修繕、展示設備や空調設備の更新が考えられる。

5 管理に関する実施方針

- ・遺跡の展示施設及び空調設備の老朽化のため、展示施設と空調設備を更新する。
- ・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6 管理に関する実施計画

文化の館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H34	展示設備及び空調設備の改修	5,000	
H37	外壁と屋根の修繕	10,000	
	(合 計)	15,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	393	409	380	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	393	409	380	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	678	508	708	

【個別票】

2	施設名	環境と文化のむら（自然ふれあいセンター）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（自然ふれあいセンター）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	622.03 m ²	建設年	H7
構造・階数	W造・2階建	台帳価格	33,277,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

里山の自然と触れ合い、学習する機会を提供するために設置された施設であり、地元を中心として幼稚園、小学校、自治会等で多く利用されるため、今後も存続する方針である。

※ 集約・複合化の検討について

里山の自然と触れ合う施設としての規模や併設施設の鳥獣保護センターの管理の面などから、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

当該施設については民間事業者が指定管理を行っているが、環境と文化のむら全体としては五城目町に業務の一部を委託するなど市町村協働が行われている。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根と外壁の老朽化がみられるため、10年以内を目途に修繕する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

・ 今後は屋根や外壁等の修繕の更新が考えられる。

5 管理に関する実施方針

- ・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6 管理に関する実施計画

自然ふれあいセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	外壁と屋根の修繕	20,000	
	(合 計)	20,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	183	183	183	
運用コスト	1,179	1,218	1,172	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,362	1,401	1,355	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9,938	10,910	11,065	

【個別票】

3	施設名	環境と文化のむら（愛鳥山荘）

1 施設の概要

施設名称	環境と文化のむら（愛鳥山荘）	所在地	五城目町上樋口字山田沢
施設面積	320.00 m ²	建設年	H9
構造・階数	W造・平屋建	台帳価格	22,440,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

施設には野鳥のはく製が展示され、周辺の「野鳥の森」では、野鳥を観察することができる施設であり、愛鳥学習会や野鳥観察などのイベントで多く利用されるため、今後も存続する方針である。

※ 集約・複合化の検討について

野鳥観察や学習するための施設としての規模や環境を考慮すれば、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲渡体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

当該施設については民間事業者が指定管理を行っているが、環境と文化のむら全体としては五城目町に業務の一部を委託するなど市町村協働が行われている。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根と外壁の老朽化がみられるため、10年以内を目途に更新する必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

・ 今後は屋根や外壁等の修繕が考えられる。

5 管理に関する実施方針

- ・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6 管理に関する実施計画

愛鳥山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	外壁と屋根の修繕	10,000	
	(合 計)	10,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
運用コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
修繕コスト	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
その他	0	0	0	自然ふれあいセンターに含まれる
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,136	886	450	

【個別票】

部局(庁)名

生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(玉川温泉ビジターセンター)

1 施設の概要

施設名称	新玉川温泉保養基地(玉川温泉ビジターセンター)	所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢
施設面積	802.93 m ²	建設年	H5
構造・階数	R C造・平屋建	台帳価格	145,418,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

焼山を中心とした火山活動や自然環境等を展示解説した唯一の博物展示施設であり、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により、市の第3セクターが運営している。

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

来年度、長寿命化対策として、屋根等を修繕する予定である。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

・観光拠点として、展示物の更新が望まれる。

5 管理に関する実施方針

- ・経年劣化により屋根・外壁の劣化が予想されるため、屋根等の修繕等を行う。
- ・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のため、展示施設の多言語化等の整備を行う。

6 管理に関する実施計画

玉川温泉ビジターセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根の修繕	35,900	
	(合 計)	35,900	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,498	2,481	2,481	管理費
運用コスト	271	289	289	事務費
修繕コスト	53	54	54	小破修繕費
その他	2,348	2,490	2,489	人件費
(合計)	5,170	5,314	5,313	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	8,673	8,959	9,944	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(奥森吉青少年野外活動基地)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	野外活動センター	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	親子キャンプ場サニタリー第1、第2、第3	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

施設の劣化状況等を踏まえて対応。

【個別票】

1	施設名	奥森吉青少年野外活動基地（野外活動センター）

1 施設の概要

施設名称	奥森吉青少年野外活動基地（野外活動センター）	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原
施設面積	1,249.02 m ²	建設年	H9
構造・階数	W造・平屋建	台帳価格	166,052,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興の資する目的で設置された施設であり、多くの利用者が訪れる施設であるため、今後も存続する方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

奥森吉の優れた自然環境を体験できる施設として設置されたものであり、集約・複合化にはなじまない施設である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により施設の管理運営を市内のNPO法人が行っており、市町村と協働できる部分はない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根と外壁の老朽化のほか、水道施設の更新が考えられるため、10年以内を目途に修繕や更新を行う必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

- ・ 今後は屋根や外壁等の修繕、水道施設の更新が考えられる。
- ・ 閉鎖施設（野外トイレ、旧浄水場、クマガイ保護センター）の解体撤去を行う必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。
- ・水道施設の老朽化により、水道施設を更新する。
- ・閉鎖されている各施設は風致を害するため、解体撤去する。

6 管理に関する実施計画

野外活動センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H36	水道施設の改修	5,000	
H37	外壁と屋根の修繕	20,000	
H37	閉鎖施設の解体撤去（3施設）	10,000	
	(合 計)	35,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,854	1,893	1,912	
運用コスト	830	607	681	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,684	2,500	2,593	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,488	703	1,430	

【個別票】

2	施設名	奥森吉青少年野外活動基地（親子キャンプ場サニタリー）

1 施設の概要

施設名称	奥森吉青少年野外活動基地（親子キャンプ場サニタリー）	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原
施設面積	630.18 m ²	建設年	H9
構造・階数	W造・平屋建 3基	台帳価格	6,405,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興の資する目的で設置された施設であり、多くの利用者が訪れる施設であるため、今後も存続する方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

奥森吉の優れた自然環境を体験できる施設として設置されたものであり、集約・複合化にはなじまない施設である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

指定管理者制度により施設の管理運営を市内のNPO法人が行っており、市町村と協働できる部分はない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

屋根と外壁の老朽化のほか、水道施設の更新が考えられるため、10年以内を目途に修繕や更新を行う必要がある。
目標使用年数経過後は必要に応じて大規模修繕を行う。

4 管理上の課題等

・ 今後は屋根や外壁等の修繕、水道施設の更新が考えられる。

5 管理に関する実施方針

- ・外壁と屋根の老朽化のため、外壁と屋根を修繕する。

6 管理に関する実施計画

親子キャンプ場サニタリーに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	外壁と屋根の修繕	15,000	
	(合 計)	15,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
運用コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
修繕コスト	0	0	0	野外活動センターに含む
その他	0	0	0	野外活動センターに含む
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	992	887	1,036	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田駒ヶ岳情報センター)

1 施設の概要

施設名称	秋田駒ヶ岳情報センター	所在地	仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳
施設面積	351.00 m ²	建設年	H18
構造・階数	W造・平屋建	台帳価格	62,004,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田県営自然公園施設条例に基づき、自然公園の利用の増進を図るため設置した施設であり、存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

当該施設と仙北市の「自然ふれあい温泉館」及び国土交通省の「秋田駒ヶ岳火山防災ステーション」の3施設を集約化している。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済みである。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等の譲受体制は整っていない。

※ 市町村協働の検討について

仙北市と共同管理をしている。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

長寿命化対策として、屋根及び外壁等を修繕する必要がある。
また、目標使用年数までの間に建物が破損した場合は、必要に応じて修繕を行う。

4 管理上の課題等

・観光拠点として、展示物の更新が望まれる。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、増加が見込まれる外国人来訪者のため、展示施設の多言語化等の更新を行う。
- ・経年劣化による屋根・外壁等の破損が予想されるため、屋根・外壁の修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

秋田駒ヶ岳情報センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	屋根の修繕	10,000	
H34	外壁の修繕	20,000	
	(合 計)	30,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,655	1,896	1,896	管理費
運用コスト	172	80	80	事務費
修繕コスト	56	58	58	小破修繕費
その他	983	1,011	1,011	人件費
(合計)	2,866	3,045	3,045	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	61,635	59,274	57,456	

【個別票】

部局(庁)名

生活環境部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（能代産業廃棄物処理センター）

1 施設の概要

施設名称	能代産業廃棄物処理センター	所在地	能代市浅内
施設面積	452.91 m ²	建設年	H11ほか
構造・階数	L G S 造ほか・2階建ほか	台帳価格	58,321,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現時点で施設に大きな問題はないことから、必要に応じて修繕を実施しながら、存続させていく。		

※ 集約・複合化の検討について

困難（対象施設なし）

※ 公民連携の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

※ 市町村協働の検討について

行政代執行の枠組の中で、県が管理等を継続

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

平成11年に取得した建物であり、現在は問題ないが、水処理は長期間継続しなければならないことから、平成41年（建設から30年経過）を目途に大規模修繕を検討

4 管理上の課題等

安全性や耐久性及び機能性に問題はないが、適切な点検等が必要

5 管理に関する実施方針

平成11年に取得した建物であり、現在は問題ないが、水処理は長期間継続しなければならないことから、適切な点検等を行いながら、平成41年（建設から30年経過）を目途に大規模修繕を検討する。

6 管理に関する実施計画

新水処理施設管理棟に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【総括表】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（地域振興局農村整備課）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）	八峰町	存続	機能維持のための修繕を実施
2	由利地域振興局農村整備課（旧由利南部総合土地改良事務所）	由利本荘市	廃止	除却処分を実施
3	雄勝地域振興局農村整備課（旧雄勝平野土地改良事務所）	湯沢市	廃止	除却処分を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）については、防災施設であることから、下流域の安全・安心を確保するために、優先して修繕を実施する。
それ以外の施設は老朽化が進行しているため、除却する。

【個別票】

1	施設名	山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局農村整備課（水沢ダム管理事務所）	所在地	八峰町
施設面積	561.03 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	42,025,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ダム管理施設であり、雨量観測を行うなど、防災上必要な施設であるため存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

ダム管理施設であり、周辺に類似施設もないことから、集約・複合化になじまない。

※ 公民連携の検討について

ダム管理施設であることから、公民連携になじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

ダム管理施設であることから、譲渡すべき施設ではない。

※ 市町村協働の検討について

ダム管理施設であり、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

下流域の安全・安心を確保する上で、必要不可欠な施設であることから、状況に応じて修繕を実施することで、引き続き施設を存続させる。平成29年度以降、診断調査を実施し、機能保全計画を策定予定であり、大規模修繕が必要になる可能性がある。

4 管理上の課題等

建築後30年以上経過し、老朽化が進行している施設もある。

5 管理に関する実施方針

引き続き、定期点検や簡易修繕を行い、施設の維持管理に努めるとともに、平成29年度以降に診断調査を実施することにより、長寿命化計画を策定し、計画的な機能保全を図る。
また、必要に応じて大規模修繕を行い、防災機能の低下を防止する。

6 管理に関する実施計画

水沢ダム管理事務所等に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	※大規模修繕等については、平成29年度以降に行う診断調査結果を受けて実施する予定のため、現時点では未定。		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	2,535	2,420	2,559	
修繕コスト	25	0	170	
その他	0	0	0	
(合計)	2,560	2,420	2,729	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

2	施設名	由利地域振興局農村整備課（旧由利南部総合土地改良事務所）

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局農村整備課（旧由利南部総合土地改良事務所）	所在地	由利本荘市
施設面積	370.05 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	10,384,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 築後30年以上経過しており、老朽化が進行しているため、除却処分を検討。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化が進行しているため、除却処分する。

※ 公民連携の検討について

庁舎に類する施設であり、公民連携になじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

老朽化が進行しているため、譲渡による活用は困難である。

※ 市町村協働の検討について

老朽化が進行しているため、市町村協働による活用は困難である。

3 目標使用年数 【平成30年度以降に廃止】

平成29年末に国庫補助金の処分制限期間が終了するため、平成30年度以降に廃止予定。

4 管理上の課題等

建築後30年以上経過しているため、鉄骨の腐食等、老朽化が進行している。
（平成27年度には外壁の破損による緊急的な維持修繕を実施）

5 管理に関する実施方針

平成30年度以降の廃止を予定するが、老朽化が進行しているため、定期的な点検等の監視を強化する。

6 管理に関する実施計画

旧由利南部総合土地改良事務所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	除却	25,000	
	(合 計)	25,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	319	H27年度に外壁部分を修繕
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	319	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

3	施設名	雄勝地域振興局農村整備課（旧雄勝平野土地改良事務所）

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局農村整備課（旧雄勝平野土地改良事務所）	所在地	湯沢市
施設面積	554.69 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	10,015,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 築後40年以上経過しており、老朽化が進行しているため、除却処分を検討。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化が進行しているため、除却処分する。

※ 公民連携の検討について

庁舎に類する施設であり、公民連携になじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

老朽化が進行しているため、譲渡による活用は困難である。

※ 市町村協働の検討について

老朽化が進行しているため、市町村協働による活用は困難である。

3 目標使用年数 【平成29年度に廃止】

相当の年数が経過しており、老朽化が著しいことから廃止する。

4 管理上の課題等

老朽化が進行しているため、屋根や外壁部分が損傷しており、損傷部分の拡大が懸念される。

5 管理に関する実施方針

平成29年度の廃止を予定している。

6 管理に関する実施計画

旧雄勝平野土地改良事務所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	除却	33,682	
	(合 計)	33,682	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	61	72	70	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	H28年度に煙突撤去(249千円)
(合計)	61	72	70	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（農業試験場（雄和））

1 施設の概要

施設名称	農業試験場（雄和）	所在地	秋田市
施設面積	28,003.42 m ²	建設年	平成11年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・4階	台帳価格	3,462,276,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 農業試験場中長期計画に基づき施策事業を推進する試験研究機関として、必要な修繕を実施しながら施設を維持していく。		

※ 集約・複合化の検討について

計画期間内に、花き種苗センターの機能を当施設に移転する。

※ 公民連携の検討について

農業技術や県産農産物のマーケティング等に関する試験研究を行う機関であり、今後も農業振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

本県の基幹産業である農業の発展・農業所得の向上のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【本館：目標使用年数60年、付属舎：同25年】

長寿命化対策を実施しながら、法定耐用年数以上の使用を目標とする。

4 管理上の課題等

平成28年度に本館空調冷温水発生機の大規模修繕を進めているが、今後も次のような修繕が必要である。

「本館」：冷温水発生機以外の本館空調設備、消防・防災設備、受変電等電気設備、衛生・給排水設備、屋上等防水、昇降機設備

「付属施設」：付属舎・ガラス温室などの外壁や防水シーリング、ほ場関連設備（排水・給水パイプライン等）

5 管理に関する実施方針

- ・経年劣化による設備の老朽化に対処するため、計画的に補修・更新を行う。
- ・平成31年に花き種苗センターの機能を移転する予定としている。

6 管理に関する実施計画

農業試験場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備・恒温室・ほ場パイプライン等	1,671	
H30	空調設備・温室設備・ほ場管理設備、花き種苗センター移転に伴う温室・作業舎等の設置、管理棟内の改修	666,744	大規模修繕予定（営繕課）、花き種苗センター移転整備等
H31	－	0	
H32	恒温室・ビニールハウス・防風ネット・ファームボンド・ほ場管理設備・空調設備・防災設備・給排水設備・昇降機設備	70,000	
H33	ビニールハウス・ガラス温室・ほ場管理設備・空調設備・衛生給排水設備等	43,000	
H34	恒温室・ビニールハウス・受変電電気設備・ほ場管理設備・ほ場パイプライン等	38,000	
H35	プレハブ型恒温室・受変電電気設備等	12,000	
H36	ほ場パイプライン等・プレハブ型恒温室等	6,500	
H37	衛生給排水設備・空調設備	2,000	
	(合 計)	839,915	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	13,038	13,090	12,936	
運用コスト	45,774	48,415	41,957	
修繕コスト	8,561	13,700	13,540	
その他				
(合計)	67,373	75,205	68,433	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	52	19	13	農業試験場使用料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,781	3,178	3,051	施設見学者等

【総括表】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(果樹試験場)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	果樹試験場	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	果樹試験場天王分場	潟上市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

どちらの施設も、それぞれに個別の樹種に関する試験研究を行う機関であり、併存させていく方針としている。このため、それぞれ適切な修繕により長寿命化を図り、現在の建物を可能な限り長期間使用することを目指す。

1	施設名	果樹試験場

1 施設の概要

施設名称	果樹試験場	所在地	横手市
施設面積	4,544.54 m ²	建設年	昭和57年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階（一部5階）	台帳価格	222,701,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 果樹に関する試験研究機関として、新品種の開発、新技術の提供など果樹農家等が必要とするサービスを提供している県内唯一の施設であるため、必要な修繕を実施しながら施設を存続させていく。		

※ 集約・複合化の検討について

果樹に関する試験研究を行う機関であり、樹園地を要する施設であるため、他の施設との集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

果樹生産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も果樹生産振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の果樹生産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

適切な維持・修繕を実施し、耐用年数以上の使用を目指す。
(平成44年に耐用年数50年に達する予定)

4 管理上の課題等

築36年を経過しており、構造体の大規模修繕は必要ないものの、消防設備、受水槽・高架水槽等の老朽化対策が早急に必要である。
また、平成31年度までに横手市下水道事業に接続することになり、新たに排水管修繕等の経費が必要となった。

5 管理に関する実施方針

緊急度の高いものから順次修繕を実施していく。

6 管理に関する実施計画

果樹試験場本館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	下水道接続、消防設備・受水槽・高架水槽修繕	49,275	
H32	空調設備更新	55,900	
H33	本館ブラインド改修	3,000	
	(合 計)	108,175	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,908	1,372	1,332	
運用コスト	24,892	25,499	21,316	
修繕コスト	1,797	1,986	3,380	
その他				
(合計)	28,597	28,857	26,028	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,900	2,800	3,100	施設見学者(概数)

2	施設名	果樹試験場天王分場

1 施設の概要

施設名称	果樹試験場天王分場	所在地	潟上市
施設面積	1,598.52 m ²	建設年	昭和60年
構造・階数	木造・1階	台帳価格	1,242,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 果樹に関する試験研究機関として、新品種の開発、新技術の提供など果樹農家等が必要とするサービスを提供している県内唯一の施設であるため、必要な修繕を実施しながら施設を存続させていく。		

※ 集約・複合化の検討について

果樹に関する試験研究を行う機関であり、樹園地を要する施設であること、果樹試験場本場（横手市）とは異なる樹種の試験研究を行っていることから、他の施設との集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

果樹生産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も果樹生産振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の果樹生産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

耐用年数の24年を既に経過しているが、基本構造はしっかりしており、適切な維持・修繕を実施しながら継続使用する。

4 管理上の課題等

沿岸部にある木造施設のため、外壁の損傷が著しく早期の修繕が必要である。また今後も不具合の多発が予想され、年次計画的な整備を考えていく必要がある。
平成28年2月の落雷以後、電気系統の不具合が増えており、これについても計画的な修繕等考えていく必要がある。

5 管理に関する実施方針

附属棟の外壁補修を早急に実施する。また、雨漏りや漏電によるブレーカー遮断等が発生しており、建物全体の総合診断を実施した上で修繕計画を立てる必要がある。

6 管理に関する実施計画

果樹試験場天王分場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	—	0	
H32	附属棟外壁補修、ポンプ室等給水設備・配管改修、屋根雨漏り・電気系統等総合診断	6,500	
	※診断結果により、修繕内容の追加があり得る		
	(合 計)	6,500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	669	635	675	
運用コスト	5,222	5,264	6,256	
修繕コスト	1,097	1,048	1,642	
その他				
(合計)	6,988	6,947	8,573	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	500	700	900	施設見学者（概数）

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(かづの果樹センター)

1 施設の概要

施設名称	かづの果樹センター	所在地	鹿角市
施設面積	1,773.76 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	鉄骨・1階	台帳価格	24,997,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・昭和55年に果樹試験場鹿角分場として設置され、平成22年度に樹園地を再整備し、かづの果樹センターとしてモモとリンゴを中心とした地域課題の試験研究と展示、技術成果の農家への伝達・普及業務を行い、果樹産地振興の基幹施設となっている。
- ・現在、「かづの北限の桃」の産地振興や県オリジナル品種「秋田紅あかり」の生産拡大に向けて、地域課題解決と技術普及のための大きな役割を担っており、今後とも地域の要請に応えられるように施設及び樹園地ほ場の適切な維持管理が必要である。

※ 集約・複合化の検討について

県北地域の果樹産地振興のための試験研究と技術普及に特化した専門性の高い業務を行っている。寒冷地特有の技術課題も多く、地域に適応した課題解決のための基幹施設として独自性が求められている。

※ 公民連携の検討について

公共性の高い試験研究や普及活動を業務としており、行政施策実現のため県が主体的に管理運営すべきである。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

今後の県内の果樹振興のためにも、業務を継続していく必要がある。費用・採算性の面からも、民間等への譲渡にそぐわない。

※ 市町村協働の検討について

地域特性の高い課題の解決などについて、今後、協議していくことも考えられる。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

平常時の安全性は確保されているが、耐震診断及び改修が実施されていないため、災害時の安全性は不明である。

4 管理上の課題等

- ・建物は設置から35年以上経過し老朽化しており、補修箇所が多くなっている。また、耐震診断も必要である。
- ・施設の老朽化や果樹の成長に伴い、維持管理費が増大している。

5 管理に関する実施方針

- ・施設の管理は職員や来客の安全性を第一に考え、緊急性を要する箇所から修繕を行うとともに、本来の機能が発揮できるよう維持管理する。
- ・圃場の管理は研究意義や市場性が低下した木などを中心に整理し、最新かつ普及性の高い技術の展示に重点を置き、効率的に管理する。

6 管理に関する実施計画

かづの果樹センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	車庫等のシャッター修繕、受電設備・蓄電池の更新	18,500	老朽化、点検時指摘事項
H31	本館ブラインド、カーテン、網戸の更新	1,700	遮光不良で講習会でのスライド見えない
H32	本館のストーブ（FF式）更新	600	講堂1台、実験室2台
H35	耐震改修	89,300	
	(合 計)	110,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	926	920	各種点検等
運用コスト	2,266	2,359	2,047	電気・ガス・水質検査等
修繕コスト				
その他	100	100	100	職員による簡易修繕等費用
(合計)	3,308	3,385	3,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
生産物売払収入	3,355	2,687	4,700	リンゴ等果実売上金

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,000	1,000	1,000	相談者・見学者等（概数）

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（畜産試験場）

1 施設の概要

施設名称	畜産試験場	所在地	大仙市
施設面積	27,731.72 m ²	建設年	平成元年
構造・階数	鉄骨コンクリート造・2階	台帳価格	588,781,046 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・現在、畜産物は国内外の産地間競争に晒され、農家は低コスト化と高品質生産の実現が喫緊の課題となっている。本施設は、そうした農家に対する技術指導や先端技術の開発、優良種畜・精液等の配付、更には情報の提供など、県内畜産農家を支える礎、畜産技術の拠り所として、その果たす役割は益々大きくなるものと考えられる。このため、現有施設は今後も維持していかなければならないものと考えている。
- ・施設は老朽化が激しく、農家からの今後のニーズを見込みながら、各施設の建替または修繕を実施していく。なお、現在、不使用のものは廃止のうえ除却する。

※ 集約・複合化の検討について

畜産技術に関する試験研究を行う施設であり、畜舎等の配置が必要であること、防疫上の観点から集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

畜産技術に関する試験研究を行う機関であり、今後も畜産振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の畜産振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【管理棟：目標使用年数60年、畜舎等：同25年】

- ・管理棟の経年劣化が激しく、平成26年に屋根を葺替える等の小規模修繕を行ってきた。今後、数年以内に給排水設備、冷暖房設備の大規模修繕を図りながら長寿命化を図る。
- ・なお、場内には90もの畜舎等が散在しているが、建設年もそれぞれ異なり、既に目標使用年数25年を経過した施設もあることから、今後は部門の必要性を検討しながら、各施設の除却や修繕を行っていく。

4 管理上の課題等

- ・昭和24年に農林省から移管を受けた当時の施設が現存することや糞尿による施設の腐食などで劣化が激しいこと、更には施設の数が多く散在すること、施設規模が大きいことなどから、故障・破損の頻度が高く、多くの修繕経費を要する状況となっている。
- ・また、増改築を重ねてきた結果、給排水設備や電気設備等が複雑になっていることから、管理が難しくなっている。

5 管理に関する実施方針

- ・職員等の作業の安全確保に必要な整備、老朽化による必要な整備の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。
- ・修繕も厳しい老朽化施設については更新を要望するとともに、既に使用を中止している施設等については、除却・撤去していく。

6 管理に関する実施計画

畜産試験場に係る計画期間内における修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	—	0	
H31	—	0	
H32	各施設屋根塗装、空調設備改修、畜舎設備等改修、各施設屋根塗装、養豚施設等除却	160,300	
H33	畜舎設備等改修、各施設屋根塗装、養豚施設等除却	70,700	
H34	畜舎設備等改修、各施設屋根・外壁塗装、養豚施設等除却	121,400	
H35	畜舎設備等改修、各施設屋根塗装、研究管理棟給排水設備改修、養豚施設等除却	89,800	
H36	畜舎設備等改修、各施設屋根塗装、養豚施設等除却	75,300	
H37	畜舎設備等改修、各施設屋根・外壁塗装、養豚施設等除却	42,200	
	(合 計)	559,700	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,463	4,837	4,554	
運用コスト	14,957	15,380	14,428	
修繕コスト	15,491	16,464	14,709	
その他	—	—	—	
(合計)	35,911	36,681	33,691	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,011	863	493	依頼採精分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

【総括表】

部局(庁)名

農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（水産振興センター）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	水産振興センター	男鹿市	存続	大規模修繕を実施
2	水産振興センター内水面試験池	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

両施設とも立地環境が厳しいことから、劣化状況を常時確認し、機能上及び安全上、優先すべき部分から計画的に対策を実施する。水産振興センター（No. 1）の種苗生産施設は、平成30年度で更新が完了することから、今後は水産振興センター（No. 1）の本館棟などの管理施設及び内水面試験池（No. 2）の施設について、優先的に修繕等の対策を実施する。

1	施設名	水産振興センター

1 施設の概要

施設名称	水産振興センター	所在地	男鹿市
施設面積	6,827.72 m ²	建設年	昭和60年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	831,945,603 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内水産業の振興を図るための唯一の試験・研究施設として県内漁業者等に対する重要な支援機関となっている。このため今後も存続する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

水産技術に関する試験研究を行う施設であり、水槽等の専門施設を必要とするため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

水産技術に関する試験研究並びに水産業に関する改良普及を行う機関であり、今後も水産振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の水産振興のために必要な研究は、県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

本館棟・倉庫類は今後も継続して使用する場合、耐用年数を迎えるまでに大規模修繕又は更新が必要と見込まれる。
また、目標使用年数経過後も施設としての存続が必要と見込まれるため、当該時点の施設状況を勘案のうえ、維持・管理方法を検討する必要がある。

4 管理上の課題等

本館棟及び倉庫類は外壁の剥離や損傷が多く発生しており、空調や衛生設備等も老朽化が進んでいるため、今後10年以内に大規模修繕が必要と思われる。

5 管理に関する実施方針

- ・ 機能維持に係る部分は、常時点検を行い計画的な修繕を実施する。
- ・ 職員、利用者等の安全に関わる部分については早期に改修等を実施する。

6 管理に関する実施計画

水産振興センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	—	0	
H32	本館棟外壁改修	51,400	
H32	本館棟窓改修	45,576	
H33	本館棟非常用発電装置改修	13,284	
	(合 計)	110,260	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,153	7,089	6,787	
運用コスト	23,128	22,026	18,185	
修繕コスト	9,881	8,223	8,659	
その他	0	0	0	
(合計)	40,162	37,338	33,631	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,204	1,180	1,269	施設見学者

2	施設名	水産振興センター内水面試験池

1 施設の概要

施設名称	水産振興センター内水面試験池	所在地	北秋田市
施設面積	597.35 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	木造・1階	台帳価格	44,470,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内水産業の振興を図るための唯一の試験・研究施設として県内漁業者等に対する重要な支援機関となっている。このため今後も存続する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

内水面漁業に関する試験研究を行う施設であり、水槽等の専門施設を必要とするため、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

内水面漁業に関する試験研究を行う機関であり、今後も県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

今後の県内の水産振興のために必要な研究は、県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

当面は、機能維持のための小規模な修繕を行いながら使用する。また、目標使用年数経過後も施設としての存続が必要と見込まれるため、当該時点の施設状況を勘案のうえ、維持・管理方法を検討する必要がある。

4 管理上の課題等

点検等を行いながら小規模な修繕を随時行う必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・ 機能維持に係る部分は、常時点検を行い計画的な修繕を実施する。
- ・ 職員等の安全に関わる部分については早期に改修等を実施する。

6 管理に関する実施計画

水産振興センター内水面試験池に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	—	0	
H32	管理棟・試験棟屋根修繕	金額精査中	
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	288	298	299	
運用コスト	779	928	970	
修繕コスト	65	0	96	
その他	0	0	0	
(合計)	1,132	1,226	1,365	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	92	136	33	施設見学者

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(林業研究研修センター)

1 施設の概要

施設名称	林業研究研修センター	所在地	秋田市
施設面積	4,397.47 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	448,802,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 森林・林業に関する試験研究並びに林業従事者の育成を行う県内唯一の施設であることから、長寿命化対策等により施設を存続させる。		

※ 集約・複合化の検討について

森林・林業に関する技術等の試験研究を行う施設であり、育種・試験等に関する施設・用地を要することから、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

森林・林業に関する技術等の試験研究を行う機関であり、今後も林業振興に向けて県がその役割を果たしていく必要がある。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

今後の県内の林業振興のために必要な研究は、全県域を対象に県が実施すべき業務であると考えている。

※ 市町村協働の検討について

市町村固有の一部の研究課題については協働も可能であるが、基本的には市町村の要望を聞きながら、県が実施すべきである。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

適切な保守・保全管理を行うことにより長寿命化を図る。

4 管理上の課題等

- ・法定耐用年数を経過して老朽化が目立つ建物については、専門家の診断を受ける必要がある。
- ・空調設備の一部については改修を実施しているが、給水管更新をはじめとする機械設備関係の大規模改修の検討が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・建設後25年を経過しており、上記3、4を踏まえ、設備関係を中心に大規模改修の調査・検討を実施し、故障等により研究・研修機能が停止しないよう適切な保守・保全管理を実施する。
- ・改修にあたっては、運用コスト縮減を図るための措置を講ずる。

6 管理に関する実施計画

林業研究研修センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	研究棟給水管一部更新	10,000	
H33	管理棟屋根葺替	15,000	
H33	自然エネルギー発電システム設置	50,000	
	(合 計)	75,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,279	3,099	3,168	
運用コスト	12,694	13,398	12,217	
修繕コスト	2,177	1,007	2,598	
その他				
(合計)	17,150	17,504	17,983	※建築物のみ

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	2,138	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	589	779	635	見学者、研修生等

【総括表】

部局(庁)名

農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(家畜保健衛生所)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北部家畜保健衛生所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	中央家畜保健衛生所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	南部家畜保健衛生所	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

各地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、いずれの施設についても適切に修繕を行い、存続させていく。

【個別票】

1	施設名	北部家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	北部家畜保健衛生所	所在地	北秋田市
施設面積	919.28 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	木造・2階	台帳価格	15,049,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※ 公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※ 市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

建設後26年が経過し、減価償却資産の耐用年数は経過しているが、現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はなく、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本として使用する。

4 管理上の課題等

施設の定期的な修繕が必要。

- ・事務所：コンクリート製床面の亀裂、外壁の浮きや屋根塗装の劣化、囲障の破損。
- ・家畜検査冷蔵保管施設：冷蔵室内壁の錆の発生

5 管理に関する実施方針

- ・事務室：屋根、外壁の修繕、事務室・研修室のエアコン交換、囲障の交換、灯油タンクの交換
玄関階段タイル修繕
- ・北部地域家畜検査冷蔵保管施設：冷蔵室内壁の錆除去、冷凍機の交換

6 管理に関する実施計画

施設等に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	公共下水道接続	7,517	
H30	事務所・研修室のエアコン交換、事務所屋根塗装等	9,400	
H30	北部地域家畜検査冷蔵保管施設冷凍機交換等	5,000	ユニットクーラー2基交換
H30	北部地域家畜検査冷蔵保管施設修繕工事	3,600	
	(合 計)	25,517	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,213	1,175	1,255	
運用コスト	1,908	1,994	1,537	
修繕コスト	592	4,412	9,829	
その他				
(合計)	3,713	7,581	12,621	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,386	2,133	2,462	条例による使用料・手数料

(単位：戸)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,455	1,290	1,569	家畜伝染病予防事業で検査を実施した延べ戸数

【個別票】

2	施設名	中央家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	中央家畜保健衛生所	所在地	秋田市
施設面積	1,352.76 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	89,125,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※ 公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※ 市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はなく、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本とし、減価償却資産の耐用年数である平成43年度まで使用する。

4 管理上の課題等

施設の定期的な修繕が必要。
・事務所：外壁にひび割れあり。扉、窓の一部が開閉困難。

5 管理に関する実施方針

経年劣化等により、安全性や業務の推進に支障を来すと予測される項目について、計画的対応が必要である。

- ①腐食・破損した囲障の改修
- ②腐食した車庫、動物舎及び解剖焼却棟のトタン屋根張り替え塗装
- ③開閉に支障のある車庫シャッターの交換
- ④開閉困難な玄関戸及び事務所窓の修繕
- ⑤ボイラー式暖房設備の更新（配管含む）
- ⑥冷房用設備の更新（室外機の改修）
- ⑦浴室給湯器の改修
- ⑧男子トイレの洋式化
- ⑨屋上防水改修工事

6 管理に関する実施計画

施設等に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	囲障の一部改修、車庫・動物舎及び解剖焼却棟屋根修繕	4,600	
H31	車庫シャッターの交換	1,000	
H32	玄関戸及び事務所窓の修繕	1,200	
H33	ボイラー式暖房設備の更新（配管含む）	5,000	
H34	浴室給湯器の改修	400	
H34	耐震改修	68,100	
H35	男子トイレの洋式化	1,000	
H36～	屋上防水改修工事	7,800	*H17改質アスファルト防水他実施
	(合 計)	89,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,421	1,906	2,330	
運用コスト	2,987	2,822	2,426	
修繕コスト	1,110	1,448	1,327	
その他				
(合計)	6,518	6,176	6,083	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,640	3,281	3,083	条例による使用料・手数料

(単位：戸)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,125	1,035	1,009	家畜伝染病予防事業で検査を実施した延べ戸数

【個別票】

3	施設名	南部家畜保健衛生所

1 施設の概要

施設名称	南部家畜保健衛生所	所在地	大仙市
施設面積	922.92 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	木造・2階	台帳価格	28,709,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 家畜衛生の推進による畜産振興のため法に基づき県が設置する施設であり、予防保全型の管理による長寿命化対策の実施を基本とし、長期的には建替えを検討しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

地域における家畜衛生等に係る事務を所掌するために家畜保健衛生所法に基づき設置されている施設であり、集約・複合化はできない。

※ 公民連携の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、県が運営していく必要がある。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

家畜保健衛生所法に基づく施設であり、譲渡はできない。

※ 市町村協働の検討について

家畜保健衛生所法に基づき県が設置する施設であり、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

現在のところ外見上安全性に支障のある損壊箇所はない。平成29年度に減価償却資産の耐用年数を迎えるため、今後、定期的な予防保全型管理の実施を基本として使用する。

4 管理上の課題等

経年劣化に伴う施設及び設備の定期的な修繕が必要。
旧解剖棟の焼却炉が老朽化しており、住民の安全確保のため、状況に応じて撤去を検討する。
焼却炉関連施設撤去後は、防疫資材備蓄庫等としての活用を検討する。

5 管理に関する実施方針

- ・旧解剖棟内に設置されている焼却炉は、ダイオキシン類対策特別措置法の基準に適合しないため平成14年から使用しておらず、今後も使用予定は無いため、早期の撤去を計画する。撤去後は、煙突部分の屋根を修理し、防疫資材の備蓄庫として活用する。
- ・建設後約30年を目安として、予防保全型管理となる暖房設備の配管修繕や冷房機器の更新を実施する。

6 管理に関する実施計画

施設等に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	公共下水道接続	1,585	
H30	高圧気中負荷開閉器	800	
H31	焼却炉の撤去及び解剖棟の屋根修繕	8,000	
H32	構内駐車場のフェンス整備	1,700	
H33	屋根（本館、車庫、解剖棟）の塗装	3,000	
H34	家畜検査冷蔵保管施設の冷却装置修繕	2,000	ユニットクーラー交換
H35	暖房及び冷房設備更新	20,000	
H36	外壁（本館）の塗装	5,000	
	(合 計)	42,085	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	861	928	919	
運用コスト	1,482	1,625	1,465	
修繕コスト	2,873	15,885	254	H26 庁舎屋根葺替等 15,819,840円
その他				
(合計)	5,216	18,438	2,638	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,671	1,859	1,828	条例による使用料・手数料

(単位：戸)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,577	1,509	1,367	家畜伝染病予防事業で実施した検査延べ戸数

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(花き種苗センター)

1 施設の概要

施設名称	花き種苗センター	所在地	潟上市
施設面積	7,465.56 m ²	建設年	平成8年～平成9年
構造・階数	鉄骨コンクリート造・1階	台帳価格	885,067,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化(従)を実施

「基本的な方針の考え方」

施設等の老朽化や地盤沈下の進行に加え、熱源(天然ガス)の供給が不安定になっていることから、農業試験場への移転を検討する。移転にあたっては、花きの更なる生産拡大と種苗の安定供給を図るため、リンドウ・ダリア等のオリジナル品種や高度な技術を要する品目に特化するとともに、キク等については民間の種苗会社の協力を得るなど、効率的に種苗を提供できる体制を構築する。

※ 集約・複合化の検討について

①優良種苗の安定供給、②新品種等の実証展示、③花の消費拡大の3つの機能のうち、①優良種苗の安定供給に特化する。さらに種苗供給は、オリジナル品種や高度な種苗生産技術が求められる品目に絞り込むことを検討する。

※ 公民連携の検討について

当センターは、秋田県オリジナル品種や高度な種苗生産技術を要する品目の安定的供給を担う施設であり、今後も県内の花き生産農家に継続的な種苗供給を行っていく必要がある。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

花き種苗センター関連施設のうち、「観賞温室及び花の広場」(指定管理)については、潟上市への譲渡を検討中。

※ 市町村協働の検討について

全県の花き生産者に種苗を供給するための施設であるため、特定の市町村との協働にはなじまない。

3 目標使用年数 【平成31年を目途に機能集約により廃止】

平成31年までに段階的に種苗供給体制を見直すこととしており、あわせて現在の老朽化した施設の移転を検討する。

4 管理上の課題等

沼地を埋め立てて建設したため地盤が軟弱で、少しずつではあるが地盤沈下が進行している。施設の老朽化の他、冷房機や冷蔵庫等の故障が相次いでいるため、施設の移転を急ぐ必要がある。

5 管理に関する実施方針

施設の老朽化や機器等の度重なる故障の実態を踏まえ、施設管理コストの縮減と生産数量の段階的な縮小を進めていく。
施設移転を最優先に検討していくため、現施設の大規模修繕は行わない方針だが、移転先候補の農業試験場でのハード整備に加え、移転後の施設等の解体・撤去を計画的に実施していく。

6 管理に関する実施計画

花き種苗センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	観賞温室の大規模修繕	150,000	
H31	花き種苗センターの温室・管理棟等の解体・撤去	250,000	
	(合 計)	400,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,308	3,918	3,637	
運用コスト	25,941	26,413	23,310	
修繕コスト	9,313	4,198	3,526	
その他				
(合計)	39,562	34,529	30,473	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	なし	なし	なし	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	281,040人	289,950人	288,260人	※観賞温室利用者

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田県種苗センター)

1 施設の概要

施設名称	秋田県種苗センター	所在地	大潟村
施設面積	2,487.42 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	木造・1階	台帳価格	76,086,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

本施設は公益社団法人秋田県農業公社種苗センターの種苗生産に係る施設として公社が使用している。その機能は、主要農作物種子法及び秋田県主要農作物種子法施行細則に基づく原種生産を行っている。また、県オリジナル品種である枝豆、西瓜、メロン、漬物大根の種子も生産し、県内に供給している。従って、秋田県農業において非常に重要な施設となっている。

※ 集約・複合化の検討について

県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、県内農業者へ責任ある供給体制を今後も県が維持していく必要がある。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

県のオリジナル品種を含む種苗供給を担う施設であり、その使命を果たしていく必要があること、また、採算性の面からも、譲渡は困難である。

※ 市町村協働の検討について

全県の生産者に種苗を供給するための施設であるため、特定の市町村との協働にはなじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

木造建物事務所用の耐用年数である24年はすでに経過しているが、出来る限り使用することとし、耐用年数の1.5倍に当たる通算36年以上の使用を目指す。

4 管理上の課題等

本物件は、木造の建物であるがログハウス調の建物であるため、木材が外側に露出している。従って、一般の建物であれば外壁が風雨を防ぎ構造体である木材の腐食を防止するが、その機能が無いため腐食が著しい。この修繕をどのように行っていくのかという課題がある。

5 管理に関する実施方針

前述のような状況であり、本体の構造体を補修するには約1,000万円の見積もりを提示されており、大規模修繕の対象となりうると考えている。構造体の腐食による強度・耐震性の低下は未知数であるが、差し当たり事務所としての機能を維持する為の最低限の修繕を行う方針である。

6 管理に関する実施計画

農業公社 種苗部（大潟村）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	水周りの修繕	1,000	
H31	屋根の修繕	1,000	
H32	事務所床面の修繕	1,000	
H33	以降未定		
H34			
H35			
H36			
H37			
H38			
	(合 計)	3,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	534	525	522	
運用コスト	593	632	631	
修繕コスト	0	46	10	職員による簡易修繕費
その他				
(合計)	1,127	1,203	1,163	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田県種苗センター(神岡))

1 施設の概要

施設名称	秋田県種苗センター(神岡)	所在地	大仙市
施設面積	939.92 m ²	建設年	昭和39年
構造・階数	木造・1階	台帳価格	9 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 この施設の比内地鶏素雛の供給シェアは全供給量の30%前後で推移してきており、比内地鶏生産における本施設の担っている役割は非常に大きい。		

※ 集約・複合化の検討について

比内地鶏の素雛の供給生産を行う施設であり、防疫の観点からも集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

比内地鶏の素雛の安定供給のため、今後も県が関与する必要がある。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

比内地鶏素雛の生産・供給事業は収益性が低いため、素雛の生産・供給事業のみを民間等に譲渡することは困難である。

※ 市町村協働の検討について

同様の施設を有する市町村は無いため、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

- ・本施設は比内地鶏生産における重要な役割を担っていることから、今後も継続して使用していく。
- ・築50年以上が経過し、屋根や外壁の損耗が激しく雨漏り等の兆候が見受けられることから、予防保全型の修繕を実施し、施設の長寿命化を図り今後10年以上使用する。
- ・目標使用年数経過後は当該施設の取扱について検討する。

4 管理上の課題等

- ・トタンに錆が発生し、劣化が進んでいる。
- ・壁が一部剥離している部分がある。
- ・古い建物であり、耐震工事等を実施していない。

5 管理に関する実施方針

- ・本施設は比内地鶏の安定生産に欠かせないことから、素雛生産の機能維持に努める。
- ・現在は予防型の修繕を実施し施設維持をしているが、必要に応じて抜本的な修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

秋田県種苗センター（神岡）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H35	耐震改修	47,300	
H37	屋根、外壁等の修繕	20,000	状況に応じて修繕実施
	(合 計)	67,300	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無償貸付

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9	9	9	農業公社職員

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県営秋田港魚市場）

1 施設の概要

施設名称	県営秋田港魚市場	所在地	秋田市
施設面積	680.40 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 県内水産業振興に資する目的で県営の魚荷捌所を整備し、「秋田港魚市場使用条例」に基づき、秋田県漁業協同組合に平成31年度末までの使用を許可している。老朽化が進んでいるため、最低限の維持修繕により可能な限り使用した後、除却する。		

※ 集約・複合化の検討について

秋田県漁業協同組合本所の隣接地に魚の貯氷施設も含めて、魚市場（荷捌所）を一体的に整備したものであり、集約化は困難である。

※ 公民連携の検討について

本施設における魚の荷捌量が減少傾向にあり、かつ、老朽化が著しく、公民連携による活用は困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

本施設における魚の荷捌量は減少傾向にあり、かつ、老朽化が著しく、譲渡による活用は困難である。

※ 市町村協働の検討について

本施設を有する市町村は無く、市町村協働による活用は見込めない。

3 目標使用年数 【平成32年度以降に廃止】

当面は、必要最低限の補修を行いながら機能維持を図り、使用していく。今後、老朽化の状況の把握に努め、使用に耐えられない状態になると見込まれるときは、廃止する。

4 管理上の課題等

上屋の老朽化が著しく、今後も長期継続使用するためには修繕が必要になることが見込まれる。

5 管理に関する実施方針

当面は最低限の維持修繕を実施し、使用に耐えられない状態になると見込まれるときは、除却する。

6 管理に関する実施計画

魚市場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32以降	解体工事	7,500	
	(合 計)	7,500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	175	157	219	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	143	129	180	荷捌量/トン

【個別票】

部局(庁)名	農林水産部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(森林学習交流館(プラザクリプトン))

1 施設の概要

施設名称	森林学習交流館(プラザクリプトン)	所在地	秋田市
施設面積	4,630.40 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	752,472,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県内唯一の森林・林業に関する研修・学習施設として、これまで県民に対する意識の高揚や、本県林業の振興に果たしてきた役割は大きい。また、森林ボランティア団体等を支援する中核的な施設でもあることから、長寿命化対策等により今後も施設を存続していく考えである。		

※ 集約・複合化の検討について

森林・林業に関する研修・学習施設であり、類似施設は無く、集約・複合化は困難である。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度により、民間企業のノウハウを取り入れ施設の管理運営を行っているところである。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

本施設は森林・林業に関する学習・研修の機会を提供し、本県林業を担う若い人材の確保・育成を図ることを目的としているため、今後も県直営施設として運営していく必要がある。

※ 市町村協働の検討について

林業の担い手確保・育成対策は、県が率先して行う施策であり、同様の取り組みを行っている市町村はないことから、今後も県直営施設として運営していく。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

各種設備は、当面、修繕により機能維持に努めることとする。
施設本体は、耐用年数の2分の1が経過する平成37年頃を目処として老朽化・耐久性に対する調査を実施し、調査結果によりその後の維持・管理方法を検討する。

4 管理上の課題等

供用開始から20年が経過しており、各種設備について大規模修繕の検討が必要となっている。

5 管理に関する実施方針

・当施設は、研修・会議室利用のほか、宿泊客やレストラン利用者など一般客も多く利用する施設であるため、利用客の安全性はもとより、利便性・快適性を優先した老朽設備の更新を行う。
 ・耐用年数1/2にあたるH37に施設の大規模修繕に向けた診断調査を実施することにより、長寿命化計画を策定し、計画的に修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

森林学習交流館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電話交換機	1,500	
H31	空調自動制御機器	800	
H32	館内カーペット・クロス	9,300	
H33	外壁洗浄・塗装	8,100	
H36	老朽化・耐久性に関する施設全体の調査	5,000	
H37	客室建具設置（防火扉）	31,400	
	(合 計)	56,100	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,013	4,038	4,041	
運用コスト	9,374	9,395	9,435	
修繕コスト	3,405	2,891	3,215	
その他				
(合計)	16,792	16,324	16,691	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,106	63,770	64,083	会議室、宿泊、レストラン、売店等

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	60,837	67,855	65,178	

部局(庁)名

産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（計量検定所）

1 施設の概要

施設名称	計量検定所	所在地	秋田市川尻若葉町1番5号
施設面積	915.70 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C造1階	台帳価格	91,685,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 計量法には地域における検査等の実施主体は都道府県と定められており、県は継続的に検査機能を維持する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

- ・平成22年度に、計量法に基づく業務の効率化等を図るため組織改正を行った。（計量検定所は廃止、検査等の主たる業務は外部委託、それ以外の業務は産業政策課に移管）
- ・土地・建物の管理は県（産業政策課）が行い、業務を受託した（一社）秋田県計量協会が検査等に必要な部分について許可を得て使用している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

※ 市町村協働の検討について

計量法で検査等の実施主体は都道府県と定められているため検討の予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

鉄筋コンクリート造の施設で耐用年数は50年であり、現在築27年である。
予防保全型の修繕を実施することで耐用年数経過後もできるだけ長く使用することを想定。
その後は、建物・設備の状況により、建替等を検討。

4 管理上の課題等

- ・経年劣化により庇の一部が落下するなどの破損が生じてきており、内部の設備等も含めて、施設全体の要修理箇所の確認が必要。
- ・確認次第では、中長期的な修繕計画の策定が必要。

5 管理に関する実施方針

・検定施設であることから、検査行為がどの受験者に対しても同様な条件で検査ができるよう施設及び設備の機能を維持する。
・躯体保護のため屋根の防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とし、冷暖房設備の更新、電気設備の改修、内装の改修なども実施する。

6 管理に関する実施計画

計量検定所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	空調設備修繕	1,871	
32	冷暖房設備更新	6,380	H12整備
33	内装改修	3,828	
34	屋根塗装	7,480	
36	電気設備改修	3,857	幹線、ケーブル
	(合 計)	23,416	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,223	1,240	1,261	警備、清掃、設備点検費
運用コスト	975	970	788	電気、ガス、水道等
修繕コスト	49	89	62	小破修繕費
その他				
(合計)	2,247	2,299	2,111	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,560	5,045	4,677	検査・検定に係る手数料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,621	1,310	1,274	施設利用による検査件数

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（産業技術センター）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	産業技術センター本館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	産業技術センター高度技術研究館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

本館（Ｓ５７年竣工）と高度技術研究館（Ｈ４年竣工）で建築年数が１０年違うので、老朽化は本館の方が進んでいるが、安全及び利用者の利便性の確保に向けた修繕を優先し、それから経年劣化に伴う修繕を実施する。

1	施設名	産業技術センター本館

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター本館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-11
施設面積	9,552.95 m ²	建設年	昭和57年
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階	台帳価格	525,612,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。		

※ 集約・複合化の検討について

今後、施設の老朽化の度合いを踏まえ、建て替え等を検討する際には、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

目標使用年数経過後は、施設の老朽化の度合いを踏まえ、高度技術研究館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、34年を経過し、経年劣化によるシャッターの腐食や雨漏りが発生しているほか、塩害による腐食等、空調設備も劣化している。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
- ・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

産業技術センター本館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	空調更新工事	29,869	経年劣化による空調機器の腐食・省エネ対策
30	火災報知設備更新	15,403	消防防災上の大規模修繕
32	受変電設備更新	44,986	設置から35年経過・防災上の大規模修繕
32	エレベータ更新	55,080	設置から35年経過・故障中・重量物を安全に2階に運搬するため
32	自動ドア開閉装置改修	1,966	センサー不良による挟まれ・衝突防止等安全対策
32	B棟機械加工試験室シャッター修繕	2,811	経年劣化によるシャッター腐食のため
32	B棟焼結・結合研究室シャッター修繕	2,811	〃
32	B棟金属溶解試験室シャッター修繕	2,627	〃
32	B棟精密強度試験室シャッター修繕	2,573	〃
33	緊急地震速報受信機設置	1,397	防災上の設備
	(合 計)	159,523	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,608	7,925	11,775	
運用コスト	25,600	25,778	19,980	
修繕コスト	2,493	3,291	9,851	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
(合計)	35,701	36,994	41,606	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,688	14,346	19,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

2	施設名	産業技術センター高度技術研究館

1 施設の概要

施設名称	産業技術センター高度技術研究館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-21
施設面積	6,611.34 m ²	建設年	平成4年
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上3階	台帳価格	1,775,782,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 当面は、施設等の保守・修繕を適切に実施し、公設試験研究機関としての機能維持・向上を図っていく。		

※ 集約・複合化の検討について

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

本館の建て替え等を検討する際に、本館との集約化を含め、より効率的な施設の在り方を検討する。

4 管理上の課題等

建設後、24年を経過し、経年劣化による屋根・壁等のシーリングの劣化により漏水が発生しているほか、空調設備の自動制御機能の一部に故障が生じている。今後、公設試験研究機関としての機能維持を図っていくためには、緊急避難的な修繕のほか、ライフラインを含めた大規模修繕の実施など長期的な視点に立った修繕計画を立案する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・安全及び利用者の利便性の確保に向け優先度の高い修繕から実施する。
- ・経年劣化による腐食等に対応した修繕を実施する。
- ・クリーンルームについて、これまでの実績（県内企業への技術展開）と今後の維持費等を踏まえて、空調の見直しを検討する。

6 管理に関する実施計画

産業技術センター高度技術研究館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自動給水ポンプユニット改修	1,690	圧力維持・交互運転不良による。
30	天井落下防止対策工事	12,166	
32	空調自動制御機器改修	10,772	制御弁・指示調節計・信号変換器等の故障による自動制御不良
32	壁面漏水対策工事	20,552	シーリングの劣化により漏水が発生。大規模改修
32	外部スチールドア修繕	3,039	腐食による開閉困難
32	受変電設備更新	30,219	設置から25年
32	自動制御装置改修（中央監視盤ほか）	3,413	突発的な故障発生・一部制御不能
33	熱源水用流量計更新	2,649	計測不能
33	自動ドア開閉装置	1,890	設置から15年以上、保守部品の製造終了
33	一般研究室・セミナールームエアコン更新	11,992	経年劣化により稼働不可
	（ 合 計 ）	98,382	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	25,060	24,644	24,513	
運用コスト	53,692	57,014	42,424	
修繕コスト	2,161	2,300	10,898	施設分のみ集計
その他	0	0	0	
（合計）	80,913	83,958	77,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,564	6,577	6,398	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3,509	3,970	4,321	センター分として集計

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田県勤労身体障害者スポーツセンター）

1 施設の概要

施設名称	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	1,277.37 m ²	建設年	昭和51年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	36,940,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 利用者は過去3年間で増加しており、勤労身体障害者のスポーツセンターとして県内に同様の施設もないため、適宜修繕を行いながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点で予定はない。

※ 公民連携の検討について

平成18年度より指定管理者制度を導入。現在の指定管理者は一般財団法人秋田市勤労者福祉振興協会（平成28年度～平成32年度）。今後も指定管理者制度で運営を行う予定。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現時点で予定はない。

※ 市町村協働の検討について

現時点で予定はない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
目標年数使用後は、建物の劣化状況や利用状況等を考慮し、施設の方針（集約・複合化等）を検討。

4 管理上の課題等

・築41年であるため、修繕が必要な箇所が多い。

5 管理に関する実施方針

- ・利用者が使用する物や場所については早めに修繕を行う。
- ・外壁については現在不便はないが、雨漏りや剥落の危険性があるため、長期的に建物を使用するには修繕が必要と考えられる。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期はそれぞれ20年と15年とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県勤労身体障害者スポーツセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
35年度	外壁他改修工事	40,864 全面修繕	コンクリート割れ、剥がれ、塗装剥がれ、浮き等あり
36年度	館内暖房機交換工事(6台)	1,062	
	(合 計)	41,926	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,012	1,035	1,052	
運用コスト	1,585	1,167	1,062	
修繕コスト	1,325	356	417	
その他				
(合計)	3,922	2,558	2,531	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	0

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	10,869	10,906	11,345	

【総括表】

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(技術専門校)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鷹巣技術専門校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田技術専門校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	大曲技術専門校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

全体的に比較的新しい施設であるが、建設後一定の年数が経過しており設備などに劣化等がみられるため、各施設の管理に関する実施計画等に基づき順次修繕等を行う。
各施設とも耐用年数までの使用を目標としていることから、今後も適切な管理を行う。

1	施設名	鷹巣技術専門校

1 施設の概要

施設名称	鷹巣技術専門校	所在地	北秋田市
施設面積	7,051.52 m ²	建設年	H19
構造・階数	W造2階（清和寮 RC造2階）	台帳価格	960,859,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 建設後11年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。

4 管理上の課題等

・本館については、外壁塗装の劣化や所々修繕が必要な箇所があるほか、清和寮については、屋根のひび割れ等の劣化による漏水の危険がある屋上防水工事のほか、暖房機器取替工事等、比較的規模の大きい修繕が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

- ・本館については、外壁塗装の劣化などがみられるため、修繕が必要である。清和寮についても、屋上防水工事、暖房機器取替工事等が必要である。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。
- ・修繕の優先順位については、訓練生に直接支障の生じる箇所を最優先とした上で、老朽化の度合い等を鑑み、設定した。

6 管理に関する実施計画

鷹巣技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	寄宿舍（清和寮）屋根防水工事实施設計	549	
31	寄宿舍（清和寮）屋根防水工事	14,864	
32	寄宿舍（清和寮）石油暖房器取替工事	12,102	
33	機械格納庫屋根板金工事	2,520	
34	本館外壁木部塗装工事	12,893	
35	空調設備の更新	50,689	
	(合 計)	93,617	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,875	18,398	15,671	
運用コスト	7,932	7,515	6,346	
修繕コスト	603	700	600	
その他				
(合計)	24,410	26,613	22,617	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	185	182	159	

2	施設名	秋田技術専門校

1 施設の概要

施設名称	秋田技術専門校	所在地	秋田市
施設面積	8,385.89 m ²	建設年	H13
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1,239,155,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 建設後 17 年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は、建て替えを要する。

4 管理上の課題等

・建設後 15 年を経過しており、施設の経年劣化に伴う修繕・改修等において、既定の予算で対応するには厳しい状況になっている。
・特に、海に近いため、塩害による腐食等が激しい。

5 管理に関する実施方針

- ・建設後15年を経過しており、空調室内機や自動ドア、電気設備の部品の交換等が必要になっているため、状況をみながら随時修繕を施工していく必要がある。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	実習場屋根板金工事・塗装	3,000	
33	電話機・構内交換機交換修繕	1,000	
34	屋内空調機更新	15,000	
35	防水工事	5,000	
	(合 計)	24,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,592	3,585	3,605	うち各年、約2,300千円は訓練センターを含めての契約
運用コスト	9,551	9,200	7,825	
修繕コスト	1,434	2,404	3,438	
その他				
(合計)	15,577	15,189	14,868	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	403	468	415	

3	施設名	大曲技術専門校

1 施設の概要

施設名称	大曲技術専門校	所在地	大仙市
施設面積	8,396.24 m ²	建設年	H17
構造・階数	R C 2 階	台帳価格	948,415,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 建設後 13 年程の比較的新しい施設である。引き続き適切に管理し施設を維持していく。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

適切に管理し耐用年数の使用を目指す。目標使用年数経過後は建て替えを要する。

4 管理上の課題等

・建設後 10 年を経過し、所々修繕が必要な箇所が出てきている。27 年度は、膨張タンクや循環ポンプの修繕を行っているが、現在使用中の空調設備（デンソー製灯油ヒートポンプ）が製造中止になっているなど、今後とも機械設備については、大規模な修繕が予想される。

5 管理に関する実施方針

- ・建設後10年を経過することから、空調設備の更新の他、屋根の塗装や講堂棟・管理棟の防水工事などが必要となる。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大曲技術専門校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	体育館の天井耐震化工事	29,753	
35	屋根の塗装	5,000	
36	空調設備の更新	77,540	
37	防水工事	5,000	
	(合 計)	117,293	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,122	9,416	5,485	
運用コスト	9,991	9,788	8,384	
修繕コスト	704	1,348	4,028	
その他	84	87	87	
(合計)	15,901	20,639	17,984	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	358	383	356	

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（職業訓練センター）

1 施設の概要

施設名称	職業訓練センター	所在地	秋田市
施設面積	3,736.86 m ²	建設年	S49
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	66,321,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 耐用年数までは施設を存続する。 ただし、休止中の研修寮と体育館は除却（解体）することとする。		

※ 集約・複合化の検討について

施設の管理面からは秋田技術専門校との複合化（従）が望ましいが、現在の専門校敷地面積では訓練センターの実習場や駐車場などの敷地確保が困難であり、また、訓練センターに入居している県職業能力開発協会（職業能力開発促進法に基づき設置されている法人であり、県と密接な連携の下、国家検定である技能検定の実施などを通じて、本県における職業能力開発の促進を図っている。）の活動に必要な施設をどう確保するか等の課題がある。

※ 公民連携の検討について

当該施設は、常設の技能検定試験場の役割をもち、能開法により、技能検定業務は県が行うものとされ（自治事務）、そのうち技能検定試験の実施は県職業能力開発協会が行っており、他の民間団体への業務委託を行うには現行法上困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

耐用年数の使用を目指す、建設後40年以上経過していることから、雨漏りが散発するなど老朽化が著しい。可能であれば、耐用年数を待たず、建替えることが望ましいが、入居している県職業能力開発協会の活動に必要な施設の確保が課題となっており当該計画期間内において耐用年数をふまえた施設の方向性を検討しつつ、県職業能力開発協会の業務に支障がないよう適切に維持管理していく必要がある。
なお、休止中の研修寮、体育館は除却する。

4 管理上の課題等

- ・施設の老朽化により雨漏りが発生し、その都度修繕工事を行っているなど、施設の老朽化が著しく、根本的には大規模な改修が必要である。大規模な改修には多額の費用がかかることから、建替えが望ましい。
- ・休止中の研修寮、体育館は、管理上からも解体する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・躯体保護のための屋根防水及び外装塗装の改修周期は基本的には20年を目標とするが、老朽化に伴い雨漏り等が発生した場合、都度応急的な処置を行う。
- ・休止中の研修寮、体育館は平成37年に解体する予定。

6 管理に関する実施計画

職業訓練センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
32	石油ストーブ分解掃除、修繕	1,000	40台
35	屋上・屋根防水不良修繕（本館、実習場）	1,500	
37	石油ストーブ分解掃除、修繕	1,000	40台
37	体育館・研修寮の解体	40,000	
	(合 計)	45,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	191	179	181	ほか各年、約2,300千円専門学校を含めての契約あり
運用コスト	1,634	1,447	1,378	
修繕コスト	98	1,749	2,018	
その他				
(合計)	1,923	3,375	3,577	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6,071	7,646	6,021	

【個別票】

部局(庁)名	産業労働部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(金属鉱業研修技術センター)

1 施設の概要

施設名称	金属鉱業研修技術センター	所在地	鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館
施設面積	3,911.00 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造・3階	台帳価格	326,510,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・環境・リサイクル等に関する技術開発や企業への技術支援、人材養成、啓蒙普及などを行うために設置された施設であり、環境と調和した循環型社会形成を推進するうえで、今後もその機能を維持していくことが必要である。 ・利用者等の安全・安心の確保から、計画的な維持補修等を実施する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

地域の特性から現在地に設置されており、移転が伴う集約・複合化にメリットは無い。

※ 公民連携の検討について

宿泊施設及びレストランには既に指定管理者制度を導入しており、今後も継続する予定である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

より効果・効率的な管理運営のため、民間等（市町村等を含む）への施設譲渡の可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

地元市町村において、協働で管理運営するメリットが見出せない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

円滑な施設管理のために建物のライフサイクルに着目した長期的な視点に立った修繕計画（予防措置計画）を立案する必要がある。

4 管理上の課題等

- ・利用者が安全に安心して使用できるよう予防措置を含めた修繕が必要となっている。
- ・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化（ひび、一部剥落を確認）、内装材（天井、内壁、床の張り替え）の修繕が必要。
- ・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新が必要

5 管理に関する実施方針

- ・利用者の利便を考慮すれば、工期を集中させる必要がある。
- ・経年劣化等による、屋上防水、外壁の劣化（ひび、一部剥落を確認）、内装材（天井、内壁、床の張り替え）の修繕を実施する。
- ・経年による、自家発電設備、自動火災報知設備の更新を行う。

6 管理に関する実施計画

金属鉱業研修技術センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	高圧機器更新	13,481	
34	外壁・屋上防水修繕	100,000	
36	内装材張り替え修繕	20,000	
37	自家発電設備更新	10,000	
37	自動火災報知設備更新	25,000	
37	空調設備更新	43,680	
	(合 計)	212,161	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,960	2,059	2,106	
運用コスト	4,535	4,652	4,543	
修繕コスト	3,200	665	12,358	H27 下水道接続工事
その他	38,368	35,191	39,116	指定管理者の人件費以外の支出
(合計)	48,063	42,567	58,123	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	77,095	71,109	74,896	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	30,807	27,683	28,999	

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟）

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園オートキャンプ場管理棟	所在地	北秋田市上杉字赤坂
施設面積	315.56 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	木造平屋建て	台帳価格	38,900,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要がある、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数43年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から43年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

経年劣化に伴う木部防腐塗装を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	木部防腐塗装・雨樋更新	2,929	
	(合 計)	2,929	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
(合計)	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,714	2,939	3,386	キャンプ場使用料 (付属設備使用料含む)

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,519	1,949	1,932	キャンプ場利用者

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立中央公園（スポーツ施設））

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立中央公園トレーニングセンター	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立中央公園スカイドーム	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	県立中央公園庭球場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
4	県立中央公園球技場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	県立中央公園陸上競技場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
6	県立中央公園野球場メインスタンド	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

1	施設名	県立中央公園トレーニングセンター

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園トレーニングセンター	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	4,895.05 m ²	建設年	昭和62年
構造・階数	鉄骨造2階建て	台帳価格	239,368,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数61年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から61年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕等を実施する。
 躯体保護のための屋根防水の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	排煙装置修繕	7,620	
31	天井部電線管及び断熱材塗裝修繕	27,100	
31	レストラン厨房換気扇取付	660	
	(合 計)	35,380	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,256	3,786	3,807	トレーニングルーム・アリーナ使用料（付属設備使用料含む）

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	56,695	56,294	54,342	トレーニングルーム・アリーナ・食堂利用者数（観客除く）

2	施設名	県立中央公園スカイドーム

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園スカイドーム	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	12, 040. 32 m ²	建設年	平成 2 年
構造・階数	R C 造（一部骨組膜構造）	台帳価格	1, 202, 495, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 61 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 61 年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

膜屋根の更新時期が迫っていることから、時期を見て更新する。
設備の老朽化が見られた場合は、更新・補修等を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	セパレートネット ウインチ更新	26,500	
31	膜屋根更新実施設計	73,000	
32	膜屋根更新	900,000	
33	膜屋根更新	1,287,000	
	(合 計)	2,286,500	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	7,822	14,327	6,663	付属設備使用料含む

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,710	49,075	41,492	観客除く

3	施設名	県立中央公園庭球場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園庭球場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	503.32 m ²	建設年	昭和57年
構造・階数	鉄筋コンクリート造	台帳価格	37,029,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	5,036	5,050	4,999	人工芝コート使用料（付属設備使用料含む）

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	28,001	26,554	28,069	人工芝コート利用者数（観客除く）

4	施設名	県立中央公園球技場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園球技場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	904.32 m ²	建設年	昭和57年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建て	台帳価格	66,526,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	781	628	722	付属設備使用料含む

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,735	5,525	8,224	球技場利用者数 (観客除く)

5	施設名	県立中央公園陸上競技場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園陸上競技場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	5,250.58 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造) 4階建て	台帳価格	402,755,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,695	1,637	1,929	陸上競技場使用料 (付属設備使用料含む)

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,486	34,298	32,637	陸上競技場利用者 数(観客除く)

6	施設名	県立中央公園野球場メインスタンド

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園野球場メインスタンド	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	381.58 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	鉄筋コンクリート造	台帳価格	75,715,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	354	251	236	野球場使用料（付属設備使用料含む）

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,839	4,404	5,843	野球場利用者数（観客除く）

7	施設名	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園フィールドアスレチック管理棟	所在地	秋田市雄和椿川字軽井沢
施設面積	349.39 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	13,889,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数43年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から43年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の大規模修繕等の計画は無い。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,971	5,082	5,152	フィールドアスレチック使用料（付属設備使用料含む）

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,406	19,288	19,518	

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(県営住宅)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県営萩の台住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
2	県営獅子ヶ森住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
3	県営花岡改良住宅	大館市	存続	大規模修繕を実施
4	県営芝童森住宅	能代市	存続	大規模修繕を実施
5	県営旭南住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
6	県営新屋住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	県営大野住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	県営手形山住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
9	県営松崎住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
10	県営イサノ住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	県営桜ガ丘住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
12	県営土崎港住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	県営御野場住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
14	県営矢留改良住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
15	県営新屋改良住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
16	県営将軍野改良住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
17	県営船越内子住宅	男鹿市	存続	大規模修繕を実施
18	県営迫分長沼住宅	潟上市	存続	大規模修繕を実施
19	県営南ヶ丘住宅	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	県営高森住宅	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
21	県営梵天住宅	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
22	県営船場町住宅	大仙市	存続	大規模修繕を実施
23	県営吉沢住宅	横手市	存続	大規模修繕を実施
24	県営朝日が丘住宅	横手市	存続	大規模修繕を実施
25	県営倉内住宅	湯沢市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

安全で快適なストックを確保するために、修繕、改善及び建替などの県営住宅の活用手法を検討する。

ストックの効率的な管理として、予防保全的な管理・修繕等が建物の長寿命化に重要なことと認識しつつも、限りある財政状況等を踏まえ事後保全的な措置とならざるを得ないことが想定される。

そうしたなかで、施設のニーズ、建設後の経過年数と耐用年数、また定期的な点検等により修繕対応施設の優先度を検討する。

1	施設名	県営萩の台住宅

1 施設の概要

施設名称	県営萩の台住宅	所在地	大館市池内字上野
施設面積	4,192.74 m ²	建設年	H13～H15
構造・階数	木造3階	台帳価格	397,222,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数45年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	屋上防水改修	36,480	
	(合 計)	36,480	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

2	施設名	県営獅子ヶ森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営獅子ヶ森住宅	所在地	大館市釈迦内字台野道上
施設面積	4,698.57 m ²	建設年	S57～S59
構造・階数	RC造3階	台帳価格	251,305,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	受水槽更新	15,387	
32	屋上防水改修	28,081	
33	屋上防水改修	22,146	
	(合 計)	65,614	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

3	施設名	県営花岡改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営花岡改良住宅	所在地	大館市花岡字前田
施設面積	2,329.70 m ²	建設年	H11
構造・階数	木造1～2階	台帳価格	144,373,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

4	施設名	県営芝童森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営芝童森住宅	所在地	能代市字寿域長根
施設面積	5,320.21 m ²	建設年	S53～S54
構造・階数	RC造3～4階	台帳価格	226,226,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給水管改修	14,675	
30	給水ポンプ改修	2,258	
	(合 計)	16,933	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

5	施設名	県営旭南住宅

1 施設の概要

施設名称	県営旭南住宅	所在地	秋田市旭南一丁目
施設面積	1,743.12 m ²	建設年	H6
構造・階数	RC造3階	台帳価格	229,017,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】

更新日 : H31. 3. 29

6	施設名	県営新屋住宅

1 施設の概要

施設名称	県営新屋住宅	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	23, 415. 75 m ²	建設年	S58～H3
構造・階数	RC造4階	台帳価格	1, 676, 413, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	屋上防水改修	31,689	
29	受水槽更新	1,325	
30	受水槽更新	33,764	
31	受水槽更新	38,960	
32	給水管改修	20,023	
32	屋上防水改修	102,600	
33	屋上防水改修	64,600	
	(合 計)	292,961	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】

更新日 : H30.3.30

7	施設名	県営大野住宅

1 施設の概要

施設名称	県営大野住宅	所在地	秋田市大住一丁目、大住二丁目
施設面積	17,813.40 m ²	建設年	H6～H9
構造・階数	RC造3階	台帳価格	2,426,164,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

8	施設名	県営手形山住宅

1 施設の概要

施設名称	県営手形山住宅	所在地	秋田市手形山西町
施設面積	21,399.41 m ²	建設年	S51～H15
構造・階数	RC造3階, 木造2～3階	台帳価格	1,647,568,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年（※木造3階45年、木造40年）】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

9	施設名	県営松崎住宅

1 施設の概要

施設名称	県営松崎住宅	所在地	秋田市下北手松崎字大沢田、字大巻
施設面積	16,448.70 m ²	建設年	S50～S54
構造・階数	RC造4階	台帳価格	650,075,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

外壁が劣化しているため、予防保全として改修が必要。また、緊急性はないものの、屋根や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	外壁改修	23,162	
30	外壁改修	36,858	
31	外壁改修	36,109	
32	外壁改修	35,326	
33	外壁改修	35,326	
34	外壁改修	35,326	
35	外壁改修	35,326	
36	外壁改修	47,101	
37	外壁改修	35,326	
	(合 計)	319,860	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

10	施設名	県営イサノ住宅

1 施設の概要

施設名称	県営イサノ住宅	所在地	秋田市八橋イサノ二丁目
施設面積	4,961.22 m ²	建設年	S55
構造・階数	RC造2～3階	台帳価格	267,104,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

11	施設名	県営桜ガ丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営桜ガ丘住宅	所在地	秋田市桜ガ丘四丁目
施設面積	8,418.81 m ²	建設年	S61～S63
構造・階数	RC造4階	台帳価格	531,898,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	給水管改修	10,408	
	(合 計)	10,408	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

12	施設名	県営土崎港住宅

1 施設の概要

施設名称	県営土崎港住宅	所在地	秋田市土崎港相染町字中谷地
施設面積	5,737.15 m ²	建設年	S63～H2
構造・階数	RC造4階	台帳価格	428,173,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	受水槽更新	299	
29	給水管改修（屋外）	92	
30	受水槽更新	21,103	
30	給水管改修（屋外）	7,270	
31	給水管改修（屋内）	8,666	
	(合 計)	37,430	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト（全県分）は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県（収入決算額）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

13	施設名	県営御野場住宅

1 施設の概要

施設名称	県営御野場住宅	所在地	秋田市御野場七丁目、御野場新町一丁目
施設面積	33,453.70 m ²	建設年	S53～H4
構造・階数	RC造3～4階、木造1～2階	台帳価格	2,029,432,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年（※木造40年）】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	受水槽更新	39,044	
29	外壁・屋根改修	52,891	
30	外壁・屋根改修	85,046	
31	外壁・屋根改修	93,181	
32	屋根防水改修	163,000	
33	屋根防水改修	209,572	
	(合 計)	642,734	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

14	施設名	県営矢留改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営矢留改良住宅	所在地	秋田市千秋矢留町
施設面積	1,287.40 m ²	建設年	S47
構造・階数	RC造4階	台帳価格	38,932,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

外壁が劣化しているため、予防保全として改修が必要。また、緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給水管改修	2,219	
29	外壁改修	33,241	
	(合 計)	35,460	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

15	施設名	県営新屋改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営新屋改良住宅	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	2,567.55 m ²	建設年	S50
構造・階数	RC造3～4階	台帳価格	91,796,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給水管改修	3,896	
	(合 計)	3,896	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

16	施設名	県営将軍野改良住宅

1 施設の概要

施設名称	県営将軍野改良住宅	所在地	秋田市土崎港北二丁目
施設面積	2,627.41 m ²	建設年	S51～S52
構造・階数	PC造2階	台帳価格	49,999,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数45年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

17	施設名	県営船越内子住宅

1 施設の概要

施設名称	県営船越内子住宅	所在地	男鹿市船越字内子
施設面積	3,822.63 m ²	建設年	S62～H4
構造・階数	木造2階	台帳価格	30,922,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

18	施設名	県営迫分長沼住宅

1 施設の概要

施設名称	県営迫分長沼住宅	所在地	潟上市天王字北上野、字長沼
施設面積	1,866.63 m ²	建設年	S61～S62
構造・階数	木造2階	台帳価格	1,157,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
32	給水管改修	6,072	
	(合 計)	6,072	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】

更新日 : H30.3.30

19	施設名	県営南ヶ丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営南ヶ丘住宅	所在地	秋田市上北手猿田字四ツ小屋、上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	7,683.51 m ²	建設年	H18～H20
構造・階数	木造1階	台帳価格	561,922,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

現時点では、屋根外壁や設備に目立った劣化は生じていない。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】

更新日 : H31.3.29

20	施設名	県営高森住宅

1 施設の概要

施設名称	県営高森住宅	所在地	にかほ市金浦字高森
施設面積	1,420.12 m ²	建設年	H2～H3
構造・階数	木造2階	台帳価格	9,712,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
32	給水管改修	6,168	
	(合 計)	6,168	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【個別票】

更新日 : H30.3.30

21	施設名	県営梵天住宅

1 施設の概要

施設名称	県営梵天住宅	所在地	由利本荘市東梵天
施設面積	4,331.92 m ²	建設年	H8～H10
構造・階数	RC造3階	台帳価格	634,865,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

22	施設名	県営船場町住宅

1 施設の概要

施設名称	県営船場町住宅	所在地	大仙市大曲船場町二丁目
施設面積	4,186.02 m ²	建設年	H3～H5
構造・階数	RC造3～4階	台帳価格	422,362,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	給水管改修	2,914	
	(合 計)	2,914	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

23	施設名	県営吉沢住宅

1 施設の概要

施設名称	県営吉沢住宅	所在地	横手市睦成字吉沢上台
施設面積	2, 267. 39 m ²	建設年	S51～S52
構造・階数	PC造2階	台帳価格	42, 194, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数45年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

機能維持のため、必要な修繕を行う。また、耐用年数経過後のあり方を検討する。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

24	施設名	県営朝日が丘住宅

1 施設の概要

施設名称	県営朝日が丘住宅	所在地	横手市朝日が丘三丁目
施設面積	5,937.50 m ²	建設年	S57～S59
構造・階数	RC造3階	台帳価格	306,232,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数70年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	ガス管改修	11,468	
30	給水管改修	229	
31	給水管改修	8,061	
31	受水槽改修	48,250	横手市施工負担金
	(合 計)	68,008	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

25	施設名	県営倉内住宅

1 施設の概要

施設名称	県営倉内住宅	所在地	湯沢市倉内字三ツ田、字熊ノ堂
施設面積	4,017.15 m ²	建設年	H5～H7
構造・階数	木造2階	台帳価格	105,410,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 公営住宅の役割は「賃貸住宅市場で住宅を確保することが困難な者」に適切な住宅を提供することであり、県は市町村を補完する役割として、各地域の需要動向を見極めながら管理運営を行っている。また、公営住宅の需要は人口の減少や民間賃貸住宅の増加に連動するとは言えないため、経済情勢の動向や福祉住宅としての役割を含め管理運営する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

耐用年数まで管理を継続する方針であり、情勢の変化等に応じ集約等を検討する。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済み。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

※ 市町村協働の検討について

市町村営住宅を含めた管理運営の課題について、県と市町村が協働しながら検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

耐用年数を見据えながら、予防保全型管理（長寿命化対策等）を基本とし、状況に応じて事後保全型管理を行う。また、耐用年数に達する状況においては、施設の劣化度等を勘案し、その後の対応について検討を行う。

4 管理上の課題等

緊急性はないものの、屋根外壁や設備に経年劣化が生じている。

5 管理に関する実施方針

予防保全を図る観点から修繕及び改善の計画を定め、ストックを長寿命化させることによって更新コストの削減と事業量の平準化を図る。

6 管理に関する実施計画

施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	屋根・外壁改修	19,155	
31	屋根・外壁改修	27,262	
32	屋根・外壁改修	29,810	
33	屋根・外壁改修	32,340	
34	屋根・外壁改修	26,538	
	(合 計)	135,105	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				指定管理のため、
運用コスト				保守、運用等の
修繕コスト	108,802	111,687	114,200	コスト(全県分)は
その他				すべて修繕コスト
(合計)	108,802	111,687	114,200	へ計上

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	649,473	622,432	622,780	全県(収入決算額)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,440	2,438	2,434	全県

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立中央公園（スポーツ施設を除く））

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立中央公園休憩所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立中央公園宿泊棟	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

1	施設名	県立中央公園休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園休憩所（ファミリーピクニックゾーン）	所在地	秋田市雄和椿川字山籠
施設面積	441.28 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2階建て	台帳価格	32,245,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

一般財団法人が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。
また、耐震改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	耐震改修	23,000	
	(合 計)	23,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,405	72,465	72,495	ファミリーピクニックゾーン・空港前庭ゾーン利用者数

2	施設名	県立中央公園宿泊棟

1 施設の概要

施設名称	県立中央公園宿泊棟	所在地	秋田市雄和椿川字駒坂台
施設面積	2, 120. 47 m ²	建設年	昭和 6 2 年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 3 階建て	台帳価格	186, 070, 000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が設置管理許可により管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

都市公園としての効用を享受する人々の利便に供するための施設であり、譲渡した場合には公園利用者以外の利用により、利便性が損なわれる可能性がある。また、撤退・撤去の恐れもあることから、利用環境を維持するためにも譲渡は検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から 60 年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

老朽化が見られた場合は小規模修繕を実施する。
 躯体保護のための屋根防水の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	内装改修	1,870	
30	内装改修、便器洋式化 等	8,510	
31	暖房設備更新	6,290	
	(合 計)	16,670	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,718	62,226	49,657	公園全体
運用コスト	41,386	41,557	33,160	
修繕コスト	89,015	157,859	594,250	
その他	0	0	0	
(合計)	187,119	261,642	677,067	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	管理許可施設

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	9,727	10,292	9,413	

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立小泉潟公園）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立小泉潟公園事務所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立小泉潟公園休憩所	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

1	施設名	県立小泉潟公園事務所

1 施設の概要

施設名称	県立小泉潟公園事務所	所在地	秋田市金足嶋崎字後谷地
施設面積	352.70 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 平屋建て	台帳価格	24,163,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から60年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

経年劣化に伴う
・柱修繕
・外壁塗装、壁・床補修
を実施する。
また、耐震改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	柱修繕	451	
34	外壁塗装、壁・床補修	1,378	
35	耐震改修	40,000	
	(合 計)	41,829	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,837	1,879	1,879	公園全体
運用コスト	3,803	3,617	3,406	
修繕コスト	243,182	68,122	13,331	
その他	0	0	0	
(合計)	248,822	73,618	18,616	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6,535	7,987	11,471	

2	施設名	県立小泉潟公園休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立小泉潟公園休憩所（水心苑）	所在地	秋田市金足嶋崎字後谷地
施設面積	272.13 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	鉄筋コンクリート造 平屋建て	台帳価格	18,444,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要がある、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数56年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から56年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

経年劣化に伴う
 ・外壁再塗装
 ・建具の補修
 ・壁・床の修繕
 を実施する。
 また、耐震改修を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	外壁再塗装	59	
32	建具の補修	69	
35	耐震改修	30,000	
37	建具の補修、壁・床の修繕	3,088	
	(合 計)	33,216	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,837	1,879	1,879	公園全体
運用コスト	3,803	3,617	3,406	
修繕コスト	243,182	68,122	13,331	
その他	0	0	0	
(合計)	248,822	73,618	18,616	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	47,499	50,791	53,920	水心苑利用者数

【総括表】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県立北欧の杜公園（オートキャンプ場管理棟を除く））

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	県立北欧の杜公園中央休憩所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	県立北欧の杜公園パークセンター	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

基本的には長寿命化計画に基づき計画的に対策することとし、劣化状況や利用状況等により、優先順位を決定している。

1	施設名	県立北欧の杜公園中央休憩所

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園中央休憩所	所在地	北秋田市上杉字中山沢
施設面積	243.00 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	木造平屋建て	台帳価格	1 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数40年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から40年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

経年劣化に伴う木部防腐塗装等を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	木部防腐塗装	550	
35	屋根部分葺き替え	2,020	
	(合 計)	2,570	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
(合計)	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	無料施設

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	138,052	142,580	149,727	公園全体利用者数

2	施設名	県立北欧の杜公園パークセンター

1 施設の概要

施設名称	県立北欧の杜公園パークセンター	所在地	北秋田市上杉字中山沢
施設面積	1,641.26 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	木造（一部鉄筋コンクリート造）2階建て	台帳価格	294,833,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 都市公園は、都市計画に定められている都市施設であり、都市計画上必要な施設であることから、都市公園内に存在する公園施設も基本的にはすべて必要な施設である。 そのため、機能維持のために必要な修繕を実施し存続させる方針である。		

※ 集約・複合化の検討について

老朽化に伴う更新の際に利用状況等を踏まえ検討する。

※ 公民連携の検討について

民間企業が指定管理者として管理しており、新たな公民連携を検討する予定はない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

公共性を確保する必要があるため、また施設の収益性が見込めないため検討しない。

※ 市町村協働の検討について

公園の位置や規模、機能等から、公園の設置者である県・市町村がそれぞれ管理することが妥当と考えているため、検討しない。

3 目標使用年数 【目標使用年数43年】

「公園施設長寿命化計画策定指針（案）（国土交通省）」に基づき、建設から43年間使用することを目標とする。
目標使用年数経過後は建替えを検討する。

4 管理上の課題等

老朽化が進むことで修繕費用の増加が想定される。

5 管理に関する実施方針

経年劣化に伴うトップライト補修等を実施する。

6 管理に関する実施計画

今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	トップライト修繕	4,640	
31	空調設備更新	4,640	
	(合 計)	9,280	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,282	4,384	4,368	公園全体
運用コスト	7,209	6,840	6,712	
修繕コスト	72,661	17,650	34,582	
その他	0	0	0	
(合計)	84,152	28,874	45,662	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	54	78	34	研修室使用料（付属設備使用料含む）

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,943	10,050	9,873	研修室・レストラン利用者数

【個別票】

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(秋田空港)

1 施設の概要

施設名称	秋田空港	所在地	秋田市雄和椿川字山籠
施設面積	2,656.67 m ²	建設年	S56
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建	台帳価格	117,875,000 円

※空港ターミナルビルは本計画対象外(民間の所有であるため)

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

秋田空港は秋田県地域防災計画で広域防災拠点として位置づけられ、災害や救難・救助活動において人・物資の輸送拠点として重要な役割を担っている。また、交通の手段として県民生活や地域経済にとって必要不可欠であり、自己点検・評価の結果を踏まえても存続すべきである。

※ 集約・複合化の検討について

機能及び管理体制向上のため、将来の施設再配置を含め今後検討していく。

※ 公民連携の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 市町村協働の検討について

検討してしない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

必要により更新を行う。

4 管理上の課題等

より優先度の高い施設(電源局舎、進入灯橋梁等の国有財産で本個別施設計画の対象外)から耐震化の計画を進めており、本計画の対象となる施設は人が常駐しないため優先度を低く設定している。

5 管理に関する実施方針

機能維持のため、必要により更新・修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

秋田空港に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	除雪車庫増設	250,000	債務負担
30	除雪車庫増設	205,983	債務負担
	(合 計)	455,983	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,477	6,511	6,655	
運用コスト	29,102	30,384	27,785	
修繕コスト	0	12,528	0	H26電源局舎改修15,528
その他				
(合計)	35,579	49,423	34,440	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
着陸料収入	429,360	392,623	384,041	
駐車場収入	189,789	195,728	200,801	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,189,809	1,192,449	1,218,364	航空機利用者数

部局(庁)名

建設部

**あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大館能代空港)**

1 施設の概要

施設名称	大館能代空港	所在地	北秋田市脇神字からむし岱
施設面積	4,433.33 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造平屋建	台帳価格	510,072,000 円

※空港ターミナルビルは本計画対象外(民間の所有であるため)

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

大館能代空港は秋田県地域防災計画で広域防災拠点として位置づけられ、災害や救難・救助活動において人・物資の輸送拠点として重要な役割を担っている。また、交通の手段として県民生活や地域経済にとって必要不可欠であり、自己点検・評価の結果を踏まえても存続すべきである。

※ 集約・複合化の検討について

機能及び管理体制向上のため、将来の施設再配置を含め今後検討していく。

※ 公民連携の検討について

ふれあい緑地については指定管理者制度を導入済み。交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

交流人口の拡大と地域活性化を図るため、空港の利活用促進につながる効果的な運営について検討を続けていく。

※ 市町村協働の検討について

検討してしない。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

必要により更新を行う。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

機能維持のため、必要により更新・修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

大館能代空港に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	除雪車庫改修	2,300	外壁内側補修
31	消防車庫改修	14,580	外壁補修
	(合 計)	16,880	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,843	1,914	2,288	
運用コスト	11,634	11,624	10,394	
修繕コスト	13,839	10,883	20,988	H25電源局舎改修13,839/H27除雪車庫改修20,988
保守コスト(指定管理者)	4,038	4,666	4,017	ふれあい緑地
運用コスト(指定管理者)	4,472	3,366	3,617	ふれあい緑地
修繕コスト(指定管理者)	406	209	301	ふれあい緑地
その他				
(合計)	36,232	32,662	41,605	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
着陸料収入	31,231	32,118	31,210	
ふれあい緑地収入	14,126	14,099	14,254	指定管理受託料含む

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	113,357	119,508	123,773	航空機利用者数

部局(庁)名	建設部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(南ヶ丘ニュータウン事務所)

1 施設の概要

施設名称	南ヶ丘ニュータウン事務所	所在地	秋田市南ヶ丘二丁目
施設面積	278.41 m ²	建設年	H14
構造・階数	軽量鉄骨造・地上1階	台帳価格	13,577,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ○現地案内所として、南ヶ丘ニュータウンが完売するまでは建物が必要と考えている。 ○秋田県土地開発公社へ建物の一部を引き続き賃貸する。		

※ 集約・複合化の検討について

○予定なし。

※ 公民連携の検討について

○予定なし。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

○南ヶ丘ニュータウン分譲地の完売後は、秋田県土地開発公社へ譲渡を検討する。

※ 市町村協働の検討について

○予定なし。

3 目標使用年数 【今後10年以上使用】

○事業用分譲宅地の利用計画によっては引き続きの利用が必要となることが想定され、建物も骨組みについては問題ないことから、一部修繕をしながら使用したいと考えている。

4 管理上の課題等

○現時点で大規模な修繕予定はないが、外壁等経年による劣化が目立ってきており、設備等についても不具合が発生する可能性がある。

5 管理に関する実施方針

○大規模な修繕等の計画は無いが、小破修繕等は必要に応じて随時対応する。

6 管理に関する実施計画

南ヶ丘ニュータウン事務所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	屋根塗装	3,000	
	(合 計)	3,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	20	22	22	
運用コスト	31	33	32	
修繕コスト	63		32	H28暖房設備修繕721千円
その他				
(合計)	114	55	86	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	127	84	94	南ヶ丘案内所来所者

【総括表】

部局(庁)名	出納局

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県庁舎等）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	秋田県庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	秋田地方総合庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	秋田県庁第二庁舎	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

行政施設の本庁及び地方機関の機能を有する施設であり、各施設の長寿命化を図るとともに、災害時の防災拠点としての機能を維持するための強靱化を図る必要がある。
建設後の経過年数に応じて機能低下が進行するため、定期的な点検、診断に基づく大規模修繕を実施することにより、予防保全型管理を行う。

1	施設名	秋田県庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁舎	所在地	秋田市山王四丁目 1 - 1
施設面積	32,206.56 m ²	建設年	S34
構造・階数	R C 造・7 階（地下 1 階）	台帳価格	1,263,705,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

・県の本庁機能としての施設ではあるが、建替え時には、隣接する秋田地方総合庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 78 年】

・建築後 59 年経過しているが、平成 22 年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・一定年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4 管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5 管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、エレベーター更新をはじめ、順次、空調設備、給排水管設備、受変電設備、電話設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	本庁舎エレベーター更新1、議会棟屋根防水改修他	142,049	
H30	本庁舎エレベーター更新2、議場天井改修他	255,175	
H31	空調設備熱源更新、登退庁表示設備更新他	181,968	
H32	空調設備FCU配管更新、屋内給排水管更新他	466,026	
H33	受変電設備更新、制震ブレース改修、議会棟EV更新他	507,737	
H34	議会棟受変電設備更新他	321,883	
H35	電話設備更新、駐車場管制装置更新	371,693	議会棟、総庁、二庁含む。
H36	自動制御装置更新、外壁全面点検	123,474	
	(合 計)	2,370,005	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	98,145	94,302	95,247	
運用コスト	44,688	47,140	43,808	
修繕コスト	126,969	221,532	135,689	
その他	0	0	0	
(合計)	269,802	362,974	274,744	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

2	施設名	秋田地方総合庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田地方総合庁舎	所在地	秋田市山王四丁目 1 - 2
施設面積	11,324.64 m ²	建設年	S43
構造・階数	R C 造・6 階（地下 1 階）	台帳価格	512,793,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・主に、県の地方機関としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

・主に地方機関としての施設ではあるが、敷地は県庁舎等と隣接している。建設年度の早い本庁舎の建替えの際には、庁舎、議会棟、県庁第二庁舎、県警本庁舎を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

・建築後 50 年経過しているが、平成 22 年に耐震改修を終えており構造的には健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。 ・目標使用年数経過後は、点検・診断等を行い、建替え時期について検討する。

4 管理上の課題等

・設備の老朽化による小規模な修繕の頻度が年々増えつつある。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

5 管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、渡り廊下外部塗装をはじめ、順次、放送設備、空調設備、屋内消火配管、受変電設備、エレベーター設備等を更新することにより、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。

・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田地方総合庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	議会棟・秋田総庁渡り廊下外部塗装	9,529	
H30	整流機器更新、放送設備更新	22,788	
H31	外壁全面点検	3,443	
H33	屋内消火栓配管設備改修	20,000	
H35	受変電設備更新、空調設備更新1～3階	283,316	
H35	空調設備更新4～6階、エレベーター更新	120,556	
	(合 計)	459,632	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	41,570	39,904	40,296	
運用コスト	19,152	20,203	18,775	
修繕コスト	6,752	13,366	0	
その他	0	0	0	
(合計)	67,474	73,473	59,071	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

3	施設名	秋田県庁第二庁舎

1 施設の概要

施設名称	秋田県庁第二庁舎	所在地	秋田市山王三丁目1-1
施設面積	19,314.96 m ²	建設年	H11
構造・階数	SRC造・8階（地下2階）	台帳価格	3,338,888,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県の本庁機能としての施設であり、行政サービスは法令等で定められたものが多く、設置目的に合致した使用状況となっている。また、オフィスとしての適正な基準にも合致したものとなっている。今後も設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

県庁舎、秋田地方総合庁舎等の建替え時には、第二庁舎の転用など集約・複合化を含め、施設のあり方について検討する。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・耐震基準を満たし構造的に健全である。また、今後、設備等の大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

・比較的新しい施設で管理上大きな課題はないが、今後、設備機器等が耐用年数を迎えるため、大規模修繕費の増大が見込まれる。
・LED照明化などの省エネ改修を終えている。さらに省エネのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術の導入を図る。

5 管理に関する実施方針

・構造は健全であるので、空調設備の部分改修、照明制御装置更新をはじめ、順次、総合防災盤、空調設備、無停電電源装置蓄電池、視聴覚設備、受変電設備等を更新することにより、防災拠点としての機能を維持するとともに、施設の長寿命化を図る。また、省エネルギーのための性能向上化も図る必要があるため、設備等の更新時期には最新技術を導入する。
・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田県庁第二庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	空調設備改修、照明制御装置更新他	84,886	
H30	火災受信機更新、個別空調設備更新	41,977	
H31	玄関ホール天井改修、外壁全面点検	52,495	
H32	放送設備更新、防犯カメラ設備更新等	12,201	
H33	セキュリティシステム更新	30,000	
H34	無停電電源装置蓄電池更新	45,123	
H35	大会議室視聴覚設備更新	25,430	
H36	受変電設備改修、空調設備改修	302,274	
	(合 計)	594,386	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	49,083	50,625	51,154	
運用コスト	57,357	57,134	45,224	
修繕コスト	26,408	57,327	107,427	
その他	0	0	0	
(合計)	132,848	165,086	203,805	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

【総括表】

部局(庁)名	出納局

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（職員公舎（一定規模を超える施設））

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	職員公舎（矢留）	秋田市	存続	大規模修繕を実施
2	職員公舎（川尻）	秋田市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

両施設とも、秋田市内の複数棟から構成される大規模な職員公舎となっている。
職員公舎の効率的な運用を図る観点から、秋田市内の小規模な職員公舎の集約化を行い、両施設については長寿命化対策を実施しながら、引き続き存続させる。
なお、目標使用年数を経過する施設は、順次、計画的な建替を行う。

1	施設名	職員公舎（矢留）

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（矢留）	所在地	秋田市千秋矢留町
施設面積	11,313.05 m ²	建設年	S45
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	1,000,511,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、P F I 事業の導入の可能性を検討する。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

・昭和 45～48 年建築の 6 棟については大規模修繕を終えており、平成 8～9 年建築の 3 棟については、今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。
・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、P F I 等の整備手法を検討する。

4 管理上の課題等

・全棟とも耐震基準は満たしているものの、平成 8～9 年建築の 3 棟については修繕の頻度が増えつつあり、今後 10 年以内に大規模修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。

- ・防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
- ・点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（矢留）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	7-33棟外壁一部改修	1,784	
H31	7-33棟外壁改修（残工事分）	26,250	
H33	5-14棟屋根防水、外壁改修	28,800	
H34	7-44棟屋根防水、外壁改修	23,280	
H35	4-20棟屋根防水、外壁改修	19,736	
H36	7-31棟屋根防水、外壁改修	13,182	
H37	7-32棟屋根防水、外壁改修	26,778	
	（ 合 計 ）	139,810	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,404	6,525	6,282	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	9,861	25,368	9,068	
その他	0	0	0	
（合計）	16,265	31,893	15,350	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	142	137	141	全161戸中

※各年4月1日における入居戸数

2	施設名	職員公舎（川尻）

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（川尻）	所在地	秋田市川尻上野町6－33
施設面積	8,808.52 m ²	建設年	H元
構造・階数	R C造・4階	台帳価格	490,584,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田市内にある大規模な世帯用職員公舎であり、入居需要が高く、所在地域の活性化などにも配慮し、引き続き存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

・施設の建設や維持管理等に民間の資金、経営能力等を活用するなど、P F I事業の導入の可能性を検討する。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・今後、大規模修繕等により長寿命化を図り継続使用する。 ・目標使用年数経過後、建て替えの際には、戸数の設定、P F I等の整備手法を検討する。

4 管理上の課題等

・全棟とも耐震基準は満たしているものの、建築後27～28年経過し修繕の頻度が増えつつあり、まもなく大規模修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

次の方針により、現状（機能）回復と同時に、予防保全のための長寿命化対策工事を計画的に実施する。

- ・防災、防火上の観点から安全上必要と認められるもの
- ・点検、診断により、劣化、損傷等が認められるなど、重大な故障となる恐れが高いもの
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（川尻）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	5号棟屋根改修	19,734	
H32	5号棟外壁改修	21,564	
H32	4号棟外壁改修	16,956	
H33	1号棟、3号棟屋根防水改修	23,660	
H34	3号棟外壁改修	12,312	
H35	2号棟外壁改修、4号棟屋根防水改修	26,430	
H37	1号棟外壁改修、5号棟屋根防水改修	35,702	
	(合 計)	156,358	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,473	4,488	4,388	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	6,369	1,768	5,107	
その他	0	0	0	
(合計)	10,842	6,256	9,495	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85	81	97	全112戸中

※各年4月1日における入居戸数

【総括表】

部局(庁)名	警察本部

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(警察行政施設)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	警察本部庁舎、第二庁舎	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	運転免許センター庁舎	秋田市	存続	複合化(主)を実施
3	警察本部別館(交通機動隊)	秋田市	廃止	複合化(従)を実施
4	航空隊庁舎	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	警察学校道場	秋田市	存続	集約化(主)を実施
6	警察学校体育館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	機動隊屋内訓練場(道場)	秋田市	廃止	集約化(従)を実施
8	鹿角警察署	鹿角市	存続	機能維持のための修繕を実施
9	大館警察署	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
10	北秋田警察署	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
11	能代警察署	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	五城目警察署	五城目町	存続	機能維持のための修繕を実施
13	男鹿警察署	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
14	秋田臨港警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
15	秋田中央警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
16	秋田東警察署	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
17	由利本荘警察署	由利本荘市	存続	機能維持のための修繕を実施
18	大仙警察署	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
19	にかほ警察署	にかほ市	存続	機能維持のための修繕を実施
20	仙北警察署	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
21	横手警察署	横手市	存続	建替えを実施
22	湯沢警察署	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	北秋田警察署森吉幹部交番	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	北秋田警察署合川駐在所	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
25	能代警察署二ツ井交番	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
26	秋田東警察署城東交番	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
27	由利本荘警察署矢島幹部交番	由利本荘市	存続	機能維持のための修繕を実施
28	にかほ警察署仁賀保駐在所	にかほ市	存続	機能維持のための修繕を実施
29	大仙警察署協和交番	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
30	大仙警察署美郷交番	美郷町	存続	機能維持のための修繕を実施
31	横手警察署増田幹部交番	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

警察行政施設は、県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置されており、必要な機能維持を図り、継続して使用する。

今後の施設のあり方については、秋田県警察の機能強化を図ることを目的として、施設の経過年数や劣化状況のみならず、人口減少など社会情勢の変化や有識者等の意見を踏まえながら検討する。

【個別票】

1	施設名	警察本部庁舎、第二庁舎

1 施設の概要

施設名称	警察本部庁舎、第二庁舎	所在地	秋田市山王
施設面積	20,310.79 m ²	建設年	S50、H16
構造・階数	R C造・6階／地下1階 S R C造・7階／地下1階	台帳価格	2,321,087,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。 整備方針や実施年度は、同一敷地内にある県庁舎等のあり方とともに検討が必要である。

4 管理上の課題等

・平成22年度に耐震改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による冷暖房設備や消防設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に冷暖房設備改修及び消火設備改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

警察本部庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	警察本部庁舎冷温水発生機オーバーホール工事	5,490	4台中1台
29	第二庁舎非常用発電機オーバーホール工事	7,517	
29	科学捜査研究所空調設備改修工事	25,385	
29	本部庁舎泡消火設備改修工事(設計)	1,804	H29設計、H30工事
30	本部庁舎泡消火設備改修工事(工事)	42,284	
30	警察本部庁舎高圧気中開閉器交換工事	2,437	
31	警察本部庁舎冷温水発生機オーバーホール工事	16,470	4台中3台
33	警察本部物品倉庫解体工事	18,765	
	(合 計)	120,152	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	30,003	34,413	31,815	
運用コスト	78,940	83,783	77,937	
修繕コスト	7,832	13,277	18,354	H27～排ガス装置改修
その他				
(合計)	116,775	131,473	128,106	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

2	施設名	運転免許センター庁舎

1 施設の概要

施設名称	運転免許センター庁舎	所在地	秋田市新屋南浜町
施設面積	7,418.26 m ²	建設年	S49
構造・階数	R C造・3階	台帳価格	493,084,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	複合化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【建替のため平成35年度に更新】

築後42年が経過し今後10年以内に耐用年数を経過するため、平成35年度までに交通機動隊庁舎と複合化して建て替える計画である。

4 管理上の課題等

・平成22年度に耐震改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による暖房設備（ボイラー）の老朽 ・エレベーターが設置されていないなどバリアフリー対策に問題がある

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に暖房設備改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

運転免許センター庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	庁舎等改築工事	40,123	H30、31設計
31		74,877	H32～35工事
32		3,192	
33		3,796,520	
34		587,639	
35		461,649	
	(合 計)	4,964,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,183	7,440	7,354	
運用コスト	13,954	13,388	12,220	
修繕コスト	3,732	15,269	25,987	H27～給油タンク改修
その他				
(合計)	24,869	36,097	45,561	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

3	施設名	警察本部別館（交通機動隊）

1 施設の概要

施設名称	警察本部別館（交通機動隊）	所在地	秋田市八橋
施設面積	1,421.98 m ²	建設年	S45
構造・階数	R C 造・2階	台帳価格	45,734,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【建替（集約）のため平成35年度までに廃止】

築後46年が経過し今後10年以内に耐用年数を経過するため、平成35年度までに運転免許センターと複合化して廃止する計画である。

4 管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による冷暖房設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

警察本部別館（交通機動隊）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
36	解体工事	42,909	
	(合 計)	42,909	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,278	1,317	1,317	
運用コスト	2,224	2,099	1,662	
修繕コスト	76	313	357	
その他				
(合計)	3,578	3,729	3,336	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

4	施設名	航空隊庁舎

1 施設の概要

施設名称	航空隊庁舎	所在地	秋田市雄和椿川
施設面積	1,191.47 m ²	建設年	H11
構造・階数	S造・2階	台帳価格	236,376,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

平成11年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後20年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・消防防災航空隊庁舎と同一であり、総合防災課と連携した施設管理が必要

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

航空隊庁舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

5	施設名	警察学校道場

1 施設の概要

施設名称	警察学校道場	所在地	秋田市新屋勝平台
施設面積	923.95 m ²	建設年	S41
構造・階数	R C 造・1 階	台帳価格	47,968,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察官の教養・訓練を行う施設として存続する。 警察官の教養施設は、本来、国費で整備するものであることから、国（財務省、警察庁）に対して施設の建て替えを要望する。		

※ 集約・複合化の検討について

隣接する類似施設の機動隊道場と合築を検討
（平成33年度までに完成するよう予算要求中）

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築後50年以上と耐用年数を経過しており、平成33年度までに建て替える方針で国に予算要求しているため、建替が決定されるまでは機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

- ・屋根からの漏水が発生し、漏電の恐れ
- ・暖房設備の老朽
- ・コンクリート壁の劣化による亀裂

5 管理に関する実施方針

- ・建替までは機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

警察学校道場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	建替工事（国費）	797,915	H30・31設計、H32・33工事
	（ 合 計 ）	797,915	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
（合計）	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

6	施設名	警察学校体育館

1 施設の概要

施設名称	警察学校体育館	所在地	秋田市新屋勝平台
施設面積	719.40 m ²	建設年	S59
構造・階数	S造・1階	台帳価格	18,305,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察官の教養・訓練を行う施設として機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

築後30年以上と耐用年数を経過しているが、平成27年度耐震改修を行ったほか、平成29年度に屋根改修を行う予定であることから、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み ・平成29年度に屋根改修を実施予定 ・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に屋根改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

警察学校体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	屋根等改修工事	21,219	H28設計済み
	(合 計)	21,219	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		307	448	
その他				
(合計)	0	307	448	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

7	施設名	機動隊屋内訓練場（道場）

1 施設の概要

施設名称	機動隊屋内訓練場（道場）	所在地	秋田市新屋勝平台
施設面積	1,218.98 m ²	建設年	S49
構造・階数	S造・1階	台帳価格	59,822,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	集約化（従）を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、災害等の警備出動に従事する警察官の待機・訓練を行う施設として存続する。 機動隊関連施設は、本来、国費で整備するものであることから、国（財務省、警察庁）に対して施設の建て替えを要望する。		

※ 集約・複合化の検討について

隣接する類似施設の警察学校道場と合築を検討
（平成33年度までに完成するよう予算要求中）

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築後43年を経過しており、警察学校道場とともに平成33年度までに建て替える方針で国に予算要求しているので、建替が決定されるまでは機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

- ・平成24年度に耐震改修済み
- ・災害時の安全性や耐久性に問題なし
- ・経年による消防設備や暖房設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・建替までは機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

機動隊屋内訓練場（道場）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
33	建替工事（国費）		工事費は警察学校道場に計上
	（ 合 計 ）	0	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト		1,243	31	
その他				
（合計）	0	1,243	31	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

8	施設名	鹿角警察署

1 施設の概要

施設名称	鹿角警察署	所在地	鹿角市花輪
施設面積	3,068.73 m ²	建設年	H10
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	624,443,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成10年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による給湯設備や電気設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に給湯設備改修及び電気設備改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

鹿角警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	真空ボイラ改修工事	1,540	
31	高圧負荷開閉器及び非常用発電機蓄電池更新工事	3,000	
	(合 計)	4,540	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,670	2,658	2,941	
運用コスト	6,484	5,987	5,682	
修繕コスト	633	876	679	
その他				
(合計)	9,787	9,521	9,302	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

9	施設名	大館警察署

1 施設の概要

施設名称	大館警察署	所在地	大館市根下戸新町
施設面積	3,007.94 m ²	建設年	S53
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	162,921,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後 10 年程度使用】

平成41年に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成10年度に耐震診断済み ・平成28年度に外壁改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

大館警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,637	5,927	4,097	
運用コスト	8,425	7,587	6,129	
修繕コスト	706	874	1,126	
その他				
(合計)	12,768	14,388	11,352	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

10	施設名	北秋田警察署

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署	所在地	北秋田市鷹巣
施設面積	3,128.32 m ²	建設年	H28
構造・階数	R C 造・5 階	台帳価格	964,838,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成28年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

北秋田警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	庁舎等改築事業	29,287	H26～29継続事業
	(合 計)	29,287	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,385	1,398	1,387	
運用コスト	3,402	3,396	3,106	
修繕コスト	1,045	847,784	594,965	H26～改築工事
その他				
(合計)	5,832	852,578	599,458	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

11	施設名	能代警察署

1 施設の概要

施設名称	能代警察署	所在地	能代市日吉町
施設面積	3,646.75 m ²	建設年	H22
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	648,872,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成22年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

能代警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,901	2,840	2,619	
運用コスト	8,603	9,486	8,904	
修繕コスト	103	587	1,003	
その他				
(合計)	11,607	12,913	12,526	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

12	施設名	五城目警察署

1 施設の概要

施設名称	五城目警察署	所在地	南秋田郡五城目町
施設面積	1,725.68 m ²	建設年	S55
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	103,192,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

平成43年に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成19年度に耐震診断済み ・平成27年度に屋上防水改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による冷暖房設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に暖房設備改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

五城目警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	冷暖房設備改修工事	22,668	
	(合 計)	22,668	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	964	1,019	1,023	
運用コスト	5,502	5,019	3,739	
修繕コスト	1,182	347	8,553	
その他				
(合計)	7,648	6,385	13,315	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

13	施設名	男鹿警察署

1 施設の概要

施設名称	男鹿警察署	所在地	男鹿市船川港船川
施設面積	1,861.88 m ²	建設年	S58
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	125,511,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

平成46年に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による屋上防水の劣化

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に屋上防水改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

男鹿警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	屋上防水改修工事	13,478	
	(合 計)	13,478	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,007	1,036	1,065	
運用コスト	3,811	4,006	3,603	
修繕コスト	977	602	3,415	
その他				
(合計)	5,795	5,644	8,083	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

14	施設名	秋田臨港警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田臨港警察署	所在地	秋田市土崎港
施設面積	3,405.35 m ²	建設年	H8
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	631,860,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成8年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による電気設備及び冷暖房設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に電気設備改修及び冷暖房設備改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

秋田臨港警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
30	高圧負荷開閉器等受電設備改修工事	3,000	
31	冷暖房設備溶液循環ポンプ等改修工事	4,260	
	(合 計)	7,260	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,142	4,056	3,995	
運用コスト	11,659	12,042	10,625	
修繕コスト	2,350	2,695	22,992	H27～GHPエアコン更新
その他				
(合計)	18,151	18,793	37,612	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

15	施設名	秋田中央警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田中央警察署	所在地	秋田市千秋明德町
施設面積	7,339.55 m ²	建設年	H19
構造・階数	SRC造・6階／地下1階	台帳価格	1,123,643,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成19年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・増員による事務室の狭隘化 ・経年による非常用発電設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に事務室間仕切改修及び非常用発電機蓄電池更新工事を実施

6 管理に関する実施計画

秋田中央警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	事務室間仕切改修工事	5,351	
30	非常用発電機始動用蓄電池更新工事	1,382	
	(合 計)	6,733	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,453	11,249	10,937	
運用コスト	26,065	26,587	23,642	
修繕コスト	3,341	1,616	2,013	
その他				
(合計)	40,859	39,452	36,592	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

16	施設名	秋田東警察署

1 施設の概要

施設名称	秋田東警察署	所在地	秋田市上北手百崎
施設面積	4,009.21 m ²	建設年	H16
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	536,623,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成16年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

秋田東警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,048	4,295	3,998	
運用コスト	10,927	11,125	10,834	
修繕コスト	834	2,044	3,492	
その他				
(合計)	14,809	17,464	18,324	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

17	施設名	由利本荘警察署

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署	所在地	由利本荘市中町
施設面積	3,392.64 m ²	建設年	H20
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	534,886,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成20年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による非常用発電設備の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に非常用発電機蓄電池更新工事を実施

6 管理に関する実施計画

由利本荘警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
31	非常用発電機始動用蓄電池更新工事	438	
	(合 計)	438	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,249	4,132	4,356	
運用コスト	8,205	8,707	8,411	
修繕コスト	164	226	88	
その他				
(合計)	12,618	13,065	12,855	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

18	施設名	大仙警察署

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署	所在地	大仙市大曲日の出町
施設面積	3,785.50 m ²	建設年	H26
構造・階数	R C 造・4 階	台帳価格	719,523,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成26年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

大仙警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,794	3,532	3,951	
運用コスト	6,883	9,983	9,533	
修繕コスト	925,950	230,834	0	H25～26改築工事
その他				
(合計)	934,627	244,349	13,484	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

19	施設名	にかほ警察署

1 施設の概要

施設名称	にかほ警察署	所在地	にかほ市象潟町
施設面積	994.30 m ²	建設年	S49
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	96,299,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成27年度に耐震改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

にかほ警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,124	1,156	1,156	
運用コスト	3,252	2,925	2,373	
修繕コスト	218	271	500	
その他				
(合計)	4,594	4,352	4,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

20	施設名	仙北警察署

1 施設の概要

施設名称	仙北警察署	所在地	仙北市角館町西野川原
施設面積	1,767.17 m ²	建設年	S55
構造・階数	R C造・3階	台帳価格	101,848,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

平成43年に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成19年度に耐震診断済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による屋上防水の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に屋上防水改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

仙北警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	屋上防水改修工事	8,330	
	(合 計)	8,330	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,234	1,264	1,267	
運用コスト	3,660	4,555	3,751	
修繕コスト	2,291	1,180	1,515	
その他				
(合計)	7,185	6,999	6,533	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

21	施設名	横手警察署

1 施設の概要

施設名称	横手警察署	所在地	横手市安田
施設面積	2,166.92 m ²	建設年	S51
構造・階数	R C造・3階	台帳価格	105,380,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【建替のため平成31年度に更新】

平成28年度から庁舎建替事業を進めており、平成31年度までに完成予定

4 管理上の課題等

- ・平成24年度に耐震改修済み
- ・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

横手警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	庁舎等改築工事	88,755	H28設計、H29～31工事
30		1,769,787	
31		711,625	
	(合 計)	2,570,167	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,109	1,142	1,142	
運用コスト	5,890	5,303	4,703	
修繕コスト	1,491	1,085	368	
その他				
(合計)	8,490	7,530	6,213	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

22	施設名	湯沢警察署

1 施設の概要

施設名称	湯沢警察署	所在地	湯沢市千石町
施設面積	3,374.49 m ²	建設年	H13
構造・階数	R C 造・3 階	台帳価格	654,330,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成13年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

湯沢警察署に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,542	3,011	2,427	
運用コスト	7,137	7,119	6,227	
修繕コスト	391	967	764	
その他				
(合計)	10,070	11,097	9,418	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

23	施設名	北秋田警察署森吉幹部交番

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署森吉幹部交番	所在地	北秋田市米内沢
施設面積	312.24 m ²	建設年	H28
構造・階数	W造・1階	台帳価格	42,956,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

平成28年に建築されており、予防保全型（長寿命化対策）の管理を行いながら、今後30年以上は継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

北秋田警察署森吉幹部交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	33	35	0	
運用コスト	1,198	1,085	903	
修繕コスト	255	1,151	42	
その他				
(合計)	1,486	2,271	945	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

24	施設名	北秋田警察署合川駐在所

1 施設の概要

施設名称	北秋田警察署合川駐在所	所在地	北秋田市新田
施設面積	215.29 m ²	建設年	H元
構造・階数	W造・1階	台帳価格	1,268,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築後27年と耐用年数を経過しており、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

北秋田警察署合川駐在所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	248	244	501	
修繕コスト	96	4	634	
その他				
(合計)	344	248	1,135	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

25	施設名	能代警察署二ツ井交番

1 施設の概要

施設名称	能代警察署二ツ井交番	所在地	能代市二ツ井
施設面積	583.01 m ²	建設年	S46
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	18,273,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

能代市庁舎の改築に伴い、能代市二ツ井庁舎の空きスペースに複合化できないか検討するも合意に至らず。

3 目標使用年数 【今後 10 年程度使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施 ・経年による外壁・屋上防水の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

能代警察署二ツ井交番に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	212	218	228	
運用コスト	1, 216	1, 248	1, 056	
修繕コスト	238	51	0	
その他				
(合計)	1, 666	1, 517	1, 284	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

26	施設名	秋田東警察署城東交番

1 施設の概要

施設名称	秋田東警察署城東交番	所在地	秋田市広面
施設面積	310.18 m ²	建設年	H7
構造・階数	S造・2階	台帳価格	23,977,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし ・経年による外壁・屋上防水の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施
- ・直近に外壁改修・屋上防水改修工事を実施

6 管理に関する実施計画

秋田東警察署城東交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	下水道接続工事	1,480	
32	外壁・屋上防水改修工事	9,547	
	(合 計)	11,027	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5	105	232	
運用コスト	1,083	1,067	906	
修繕コスト	0	5	266	
その他				
(合計)	1,088	1,177	1,404	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

27	施設名	由利本荘警察署矢島幹部交番

1 施設の概要

施設名称	由利本荘警察署矢島幹部交番	所在地	由利本荘市矢島町七日町
施設面積	788.33 m ²	建設年	S44
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	30,157,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後 10 年程度使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施 ・経年による外壁・屋上防水の老朽 ・経年による給水管の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

由利本荘警察署矢島幹部交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	665	686	686	
運用コスト	1,777	1,716	1,588	
修繕コスト	761	57	64	
その他				
(合計)	3,203	2,459	2,338	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

28	施設名	にかほ警察署仁賀保駐在所

1 施設の概要

施設名称	にかほ警察署仁賀保駐在所	所在地	にかほ市中三地
施設面積	210.31 m ²	建設年	H2
構造・階数	W造・1階	台帳価格	1,495,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築後26年と耐用年数を経過しているが、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

にかほ警察署仁賀保駐在所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト	194	193	165	
修繕コスト	53	37	217	
その他				
(合計)	247	230	382	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

29	施設名	大仙警察署協和交番

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署協和交番	所在地	大仙市協和境
施設面積	218.61 m ²	建設年	H元
構造・階数	W造・1階	台帳価格	2,755,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

築後27年と耐用年数を経過しているが、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

大仙警察署協和交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	14	16	
運用コスト	342	231	299	
修繕コスト	20	7	222	
その他				
(合計)	362	252	537	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

30	施設名	大仙警察署美郷交番

1 施設の概要

施設名称	大仙警察署美郷交番	所在地	美郷町六郷
施設面積	523.01 m ²	建設年	S46
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	18,273,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ 型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

美郷町所管の公共施設に転用や複合化できないか、検討を依頼中

3 目標使用年数 【今後 10 年程度使用】

今後10年以内に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・耐震診断は調査対象外のため未実施 ・経年による外壁・屋上防水の老朽

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

大仙警察署美郷交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	49	57	
運用コスト	902	866	730	
修繕コスト	56	25	76	
その他				
(合計)	958	940	863	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

【個別票】

31	施設名	横手警察署増田幹部交番

1 施設の概要

施設名称	横手警察署増田幹部交番	所在地	横手市増田町増田
施設面積	1,724.93 m ²	建設年	S57
構造・階数	R C造・3階	台帳価格	112,354,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県民生活の治安維持のため、警察法及び県条例に基づき設置された警察施設として必要な施設の機能維持を図り、継続して使用する。		

※ 集約・複合化の検討について

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

平成45年に耐用年数を経過するため、建替えや大規模改修が必要であるが、当面は機能維持のための修繕を行い継続して使用する。

4 管理上の課題等

・平成24年度に耐震改修済み ・災害時の安全性や耐久性に問題なし

5 管理に関する実施方針

- ・機能維持のための修繕を実施

6 管理に関する実施計画

横手警察署増田幹部交番に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	781	813	813	
運用コスト	2,520	2,579	2,016	
修繕コスト	483	780	192	
その他				
(合計)	3,784	4,172	3,021	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入				

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「高等学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	花輪高等学校	鹿角市	存続	集約化（主）を実施
2	十和田高等学校	鹿角市	存続	集約化（主）を実施
3	小坂高等学校	小坂町	存続	集約化（主）を実施
4	大館鳳鳴高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
5	大館鳳鳴高等学校（定時制）	大館市	存続	大規模修繕を実施
6	大館国際情報学院中学校・高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
7	秋田北鷹高等学校	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
8	二ツ井高等学校	能代市	存続	大規模修繕を実施
9	能代高等学校	能代市	存続	建替え又は大規模修繕
10	能代松陽高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
11	能代工業高等学校	能代市	存続	集約化（主）を実施
12	能代西高等学校	能代市	存続	集約化（主）を実施
13	五城目高等学校	五城目町	存続	大規模修繕を実施
14	男鹿海洋高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
15	男鹿工業高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
16	金足農業高等学校	秋田市	存続	建替えを実施
17	秋田西高等学校	潟上市	存続	大規模修繕を実施
18	秋田高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
19	秋田北高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	秋田市	存続	大規模修繕を実施
21	秋田中央高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
22	秋田工業高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	秋田明德館高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
24	新屋高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
25	本荘高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
26	由利高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
27	由利工業高等学校	由利本荘市	存続	集約化（主）を実施
28	矢島高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
29	西目高等学校	由利本荘市	存続	集約化（主）を実施
30	仁賀保高等学校	にかほ市	存続	集約化（主）を実施

31	西仙北高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
32	大曲農業高等学校	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
33	大曲農業高等学校太田分校	大仙市	廃止	当面の間、廃止又は休止（施設残存）
34	大曲高等学校	大仙市	存続	建替えを実施
35	大曲工業高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
36	角館高等学校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
37	角館高等学校（定時制）	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
38	六郷高等学校	美郷町	存続	大規模修繕を実施
39	横手高等学校	横手市	存続	建替えを実施
40	横手城南高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
41	横手清陵学院中学校・高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
42	平成高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
43	雄物川高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
44	増田高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
45	湯沢高等学校	湯沢市	存続	建替え又は大規模修繕
46	湯沢高等学校稲川分校	湯沢市	廃止	当面の間、廃止又は休止（将来除却）
47	湯沢翔北高等学校	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
48	羽後高等学校	羽後町	存続	大規模修繕を実施
49	雄勝高等学校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
50	大館桂桜高等学校	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・統合が予定されている学校については、地元市町村など、関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次事業に着手する。
- ・単独改築を予定している学校については、校舎の老朽度合いなどを総合的に勘案しながら年次的に進めていく。
- ・大規模修繕については、危険度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	花輪高等学校

1 施設の概要

施設名称	花輪高等学校	所在地	鹿角市花輪字明堂長根
施設面積	11,354.27 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,803,544,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、十和田高校、小坂高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、十和田高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

花輪高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,239	
	(合 計)	3,239	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	988	1,261	907	
運用コスト	11,713	10,900	9,652	
修繕コスト	5,300	5,900	0	
その他	0	0	0	
(合計)	18,001	18,061	10,559	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	474	471	465	

2	施設名	十和田高等学校

1 施設の概要

施設名称	十和田高等学校	所在地	鹿角市十和田毛馬内字下寄熊
施設面積	9,503.10 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	563,530,009 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、花輪高校、小坂高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、花輪高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

十和田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
H30	外部改修	2,794	
H32	地下タンク改修(セミナーハウス)	3,536	
	(合 計)	11,759	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	602	432	610	
運用コスト	7,117	7,557	6,215	
修繕コスト	744	0	12,150	
その他	0	0	0	
(合計)	8,463	7,989	18,975	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	338	338	328	

3	施設名	小坂高等学校

1 施設の概要

施設名称	小坂高等学校	所在地	鹿角郡小坂町小坂字館平
施設面積	12,906.91 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	546,700,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、花輪高校、十和田高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、花輪高校、十和田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

小坂高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根改修等	23,008	
H33	地下タンク改修（セミナーハウス）	5,000	
	(合 計)	28,008	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,094	1,139	1,156	
運用コスト	8,723	7,927	6,727	
修繕コスト	5,800	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,617	9,066	7,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	170	170	

4	施設名	大館鳳鳴高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校	所在地	大館市字金坂後
施設面積	13,741.70 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	558,553,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	地下タンク改修	5,502	
H33	大規模修繕（建築・設備）	283,878	
	(合 計)	303,957	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	625	612	593	
運用コスト	14,391	13,458	10,549	
修繕コスト	1,947	19,000	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,963	33,070	11,142	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	771	774	763	

5	施設名	大館鳳鳴高等学校（定時制）

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校（定時制）	所在地	大館市柄沢字狐台
施設面積	6,989.32 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	636,415,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県北地区の定時制基幹校として平成28年4月に開校しており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も大規模修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	校舎棟誘導灯改修	6,486	
H31	公共下水道接続 実施設計	1,000	
H32	建築・設備修繕	18,835	
H37	大規模修繕（建築・設備）	170,308	
	(合 計)	196,629	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,599	1,659	1,695	
運用コスト	7,969	8,156	6,872	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,568	9,815	8,567	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	422	377	371	

6	施設名	大館国際情報学院中学校・高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館国際情報学院中学校・高等学校	所在地	大館市松木字大上
施設面積	17,337.44 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,476,289,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、県北地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大館国際情報学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	メディアホール屋根改修、気中開閉器更新	16,375	
H30	公共下水道接続等	22,285	
	(合 計)	38,660	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,703	4,768	3,284	
運用コスト	21,545	21,171	19,483	
修繕コスト	0	881	5,364	
その他	0	0	0	
(合計)	27,248	26,820	28,131	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	870	850	850	

50	施設名	大館桂桜高等学校

1 施設の概要

施設名称	大館桂桜高等学校	所在地	大館市片山町
施設面積	31,233.08 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	3,693,355,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年数が新しいことから機能維持のための修繕をしながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大館桂桜高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

7	施設名	秋田北鷹高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田北鷹高等学校	所在地	北秋田市伊勢町
施設面積	19, 208. 21 m ²	建設年	平成 22 年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	2, 272, 624, 002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田北鷹高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,317	5,982	6,240	
運用コスト	17,641	18,959	17,116	
修繕コスト	1,320	713	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24,278	25,654	23,356	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	802	810	794	

8	施設名	二ツ井高等学校

1 施設の概要

施設名称	二ツ井高等学校	所在地	能代市二ツ井町字五千刈
施設面積	7,288.49 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	627,489,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、能代高校の昼間の部定時制課程として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、能代工業高校定時制課程との再編について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築25年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

二ツ井高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	65,715	
	(合 計)	65,715	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,359	1,523	1,352	
運用コスト	4,681	4,381	3,216	
修繕コスト	0	0	660	
その他	0	0	0	
(合計)	6,040	5,904	5,228	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	196	175	170	

9	施設名	能代高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校	所在地	能代市字高埴
施設面積	11,608.00 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	343,840,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が進行していることから、今後、建替え又は大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

建物の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

能代高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	大規模修繕（建築・設備）	243,311	
	（ 合 計 ）	243,311	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,099	910	942	
運用コスト	12,298	11,651	11,336	
修繕コスト	0	40,536	1,271	
その他	0	0	0	
（合計）	13,397	53,097	13,549	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	760	760	

10	施設名	能代松陽高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代松陽高等学校	所在地	能代市緑町
施設面積	16,491.80 m ²	建設年	平成25年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,709,702,840 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代松陽高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,066	5,060	5,065	
運用コスト	15,229	16,360	16,377	
修繕コスト	0	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,295	21,668	21,442	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	786	739	732	

11	施設名	能代工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代工業高等学校	所在地	能代市盤若町
施設面積	22,720.17 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	648,840,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、能代西高校との統合を計画しており、現校舎の建て替えを実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、能代西高校との統合を計画している。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成31年頃を目処に建替】

能代西高校との統合が計画されており、現校舎を建て替えることとする。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、築45年以上経過しており老朽化が著しいため建て替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画に基づき、能代西高等学校と統合し現校地内に専門系高校として建替え・整備を行う。

6 管理に関する実施計画

能代工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(能代地区専門系統合校整備事業 ※能代工業高校と能代西高校の統合)		
	H29-H30 基本・実施設計	288,240	
	H31-H35 施設整備	5,398,468	
	(合 計)	5,686,708	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	662	681	622	
運用コスト	14,292	13,899	11,460	
修繕コスト	1,589	1,530	777	
その他	0	0	0	
(合計)	16,543	16,110	12,859	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	449	448	434	

12	施設名	能代西高等学校

1 施設の概要

施設名称	能代西高等学校	所在地	能代市真壁地字上野
施設面積	12,507.81 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	448,424,026 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、能代工業高校との統合を計画しており、現校舎は統合後、一部利用施設等を除き除却処分を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、能代工業高校との統合を計画している。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成37年頃を目処に一部除却】

能代工業高校との統合を計画しており、現校舎については統合後、一部利用施設を除き除却処分を実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、築45年以上経過しており老朽化が著しい。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画に基づき、能代工業等学校と統合し専門系高校として整備を行う。
一部利用施設は存置し統合校施設として活用する。

6 管理に関する実施計画

能代西高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	構内高圧架線改修、煙突断熱材改修	21,159	
	(合 計)	21,159	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,960	1,462	1,542	
運用コスト	10,893	9,426	7,647	
修繕コスト	768	1,393	364	
その他	0	0	0	
(合計)	13,621	12,281	9,553	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	340	350	

13	施設名	五城目高等学校

1 施設の概要

施設名称	五城目高等学校	所在地	南秋田郡五城目町大川西野字田屋下
施設面積	9,670.99 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	348,154,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、今後も入学者数が一定程度見込めることや、全県的に見た学校の配置状況等を考慮し存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

五城目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	1,772	
H31	大規模修繕（建築・設備）	169,600	
H32	大規模修繕（建築・設備）	185,000	
	(合 計)	356,372	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	489	243	448	
運用コスト	7,729	7,021	5,565	
修繕コスト	0	12,234	1,253	
その他	0	0	0	
(合計)	8,218	19,498	7,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	363	347	328	

14	施設名	男鹿海洋高等学校

1 施設の概要

施設名称	男鹿海洋高等学校	所在地	男鹿市船川港南平沢字大畑台
施設面積	12,677.40 m ²	建設年	昭和50年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,279,118,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、男鹿工業高校との統合を検討しているが、一定期間、現在の両校の校舎を存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、男鹿工業高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿海洋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
H32	大規模修繕（建築・設備）	160,163	
H33	大規模修繕（建築・設備）	120,131	
	(合 計)	285,723	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,293	1,133	1,238	
運用コスト	17,929	19,660	15,169	
修繕コスト	33,877	12,640	2,237	
その他	0	0	0	
(合計)	53,099	33,433	18,644	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	367	363	371	

15	施設名	男鹿工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	男鹿工業高等学校	所在地	男鹿市船越字内子
施設面積	15,547.32 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	632,351,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、男鹿海洋高校との統合を検討しているが、一定期間、現在の両校の校舎を存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、男鹿海洋高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	内部改修等	22,730	
H34	大規模修繕（建築・設備）	422,067	
	(合 計)	459,374	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	588	1,160	
運用コスト	11,122	9,730	8,275	
修繕コスト	578	1,829	1,404	
その他	0	0	0	
(合計)	12,272	12,147	10,839	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	340	349	

16	施設名	金足農業高等学校

1 施設の概要

施設名称	金足農業高等学校	所在地	秋田市金足追分
施設面積	17,280.97 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	748,851,026 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業学科の中心的な専門校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業学科の中心的な専門校として位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成34年頃を目処に建替】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

金足農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	18,590	
H30	セミナーハウスボイラー修繕	5,702	
	(合 計)	24,292	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,627	1,571	1,631	
運用コスト	15,607	14,870	14,414	
修繕コスト	0	2,816	2,743	
その他	0	0	0	
(合計)	17,234	19,257	18,788	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	607	608	592	

17	施設名	秋田西高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田西高等学校	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	10,975.57 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	493,672,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田西高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	電気設備改修等	24,448	
H33	大規模修繕（建築・設備）	147,828	
	(合 計)	186,853	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	290	538	567	
運用コスト	9,052	8,822	7,995	
修繕コスト	50,245	31,037	0	
その他	0	0	0	
(合計)	59,587	40,397	8,562	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	651	646	617	

18	施設名	秋田高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田高等学校	所在地	秋田市手形字中台
施設面積	18,488.99 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,209,472,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修、煙突断熱材改修	105,791	
H35	大規模修繕（建築・設備）	131,318	
H36	大規模修繕（建築・設備）	213,697	
	(合 計)	450,806	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	424	1,965	868	
運用コスト	19,220	17,993	17,098	
修繕コスト	5,603	387	20,126	
その他	0	0	0	
(合計)	25,247	20,345	38,092	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	929	897	889	

19	施設名	秋田北高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田北高等学校	所在地	秋田市千秋中島町
施設面積	14,451.75 m ²	建設年	平成13年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,893,352,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,051	1,329	1,265	
運用コスト	15,912	16,003	14,694	
修繕コスト	378	451	1,050	
その他	0	0	0	
(合計)	17,341	17,783	17,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	782	772	771	

20	施設名	秋田南高等学校・秋田南高等学校中部

1 施設の概要

施設名称	秋田南高等学校・秋田南高等学校中部	所在地	秋田市仁井田緑町
施設面積	18,810.30 m ²	建設年	平成9年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,814,776,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

中部設置に伴う改修を行ったが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	6,549	
	(合 計)	6,549	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,112	1,530	969	
運用コスト	17,881	17,059	17,292	
修繕コスト	2,763	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	21,756	18,589	18,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	894	896	894	

21	施設名	秋田中央高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田中央高等学校	所在地	秋田市土崎港南
施設面積	14,405.27 m ²	建設年	平成26年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,526,322,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田中央高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	345	415	2,303	
運用コスト	15,121	12,766	11,454	
修繕コスト	599	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,065	13,181	13,757	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	767	780	785	

22	施設名	秋田工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田工業高等学校	所在地	秋田市保戸野金砂町
施設面積	25,110.24 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	3,546,060,854 円

平成30年度整備事業終了

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業学科の中心的な専門校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業学科の中心的な専門校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(H24～H30施設整備)		
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,413	4,932	3,261	
運用コスト	21,566	20,508	15,005	
修繕コスト	971	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	25,950	25,440	18,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	763	731	711	

23	施設名	秋田明德館高等学校

1 施設の概要

施設名称	秋田明德館高等学校	所在地	秋田市中通二丁目
施設面積	13,834.37 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造7階	台帳価格	1,921,911,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田明德館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	46,660	
	(合 計)	46,660	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,609	26,625	26,683	
運用コスト	27,959	26,827	24,063	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	52,568	53,452	50,746	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,162	929	849	

24	施設名	新屋高等学校

1 施設の概要

施設名称	新屋高等学校	所在地	秋田市豊岩石田坂字鎌塚
施設面積	11,046.97 m ²	建設年	昭和59年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	584,800,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修	10,335	
H30	公共下水道接続 実施設計	1,207	
H30	階段昇降機取付	5,000	
H31	受水槽屋根改修	6,625	
H31	公共下水道接続	31,738	
H35	大規模修繕（建築・設備）	269,133	
	(合 計)	324,038	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,047	1,015	
運用コスト	10,972	10,072	8,924	
修繕コスト	1,323	850	2,084	
その他	0	0	0	
(合計)	13,274	11,969	12,023	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	649	650	621	

25	施設名	本荘高等学校

1 施設の概要

施設名称	本荘高等学校	所在地	由利本荘市陳場岱
施設面積	16,796.19 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,171,270,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震性を有しており、安全性に問題はないが、築25年以上経っており、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

本荘高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修、受変電機器更新	41,913	
H32	建築・設備修繕	62,352	
H36	大規模修繕（建築・設備）	444,344	
	(合 計)	548,609	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,590	1,588	1,626	
運用コスト	12,924	12,907	11,218	
修繕コスト	1,365	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,879	14,495	12,844	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	828	826	818	

26	施設名	由利高等学校

1 施設の概要

施設名称	由利高等学校	所在地	由利本荘市川口字愛宕山
施設面積	11,538.91 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,287,743,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

由利高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,871	3,525	2,342	
運用コスト	11,290	11,765	11,696	
修繕コスト	0	2,657	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,161	17,947	14,038	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	612	609	594	

27	施設名	由利工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	由利工業高等学校	所在地	由利本荘市石脇字田尻
施設面積	17,028.79 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,467,085,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れ統合の検討を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

統合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

由利工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	15,334	
	(合 計)	15,334	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,313	2,536	1,973	
運用コスト	14,603	14,543	13,497	
修繕コスト	987	1,064	536	
その他	0	0	0	
(合計)	17,903	18,143	16,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	423	434	433	

28	施設名	矢島高等学校

1 施設の概要

施設名称	矢島高等学校	所在地	由利本荘市矢島町七日町字助の淵
施設面積	5,439.76 m ²	建設年	平成21年
構造・階数	R C造一部木造2階	台帳価格	780,392,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、地理的な背景を踏まえ、今後も校舎一体型の中高連携校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

当面は機能維持のための修繕を行うが、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

矢島高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	8,106	
	(合 計)	8,106	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,251	2,288	2,342	
運用コスト	10,040	9,389	8,591	
修繕コスト	0	0	994	
その他	0	0	0	
(合計)	12,291	11,677	11,927	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	244	204	198	

29	施設名	西目高等学校

1 施設の概要

施設名称	西目高等学校	所在地	由利本荘市西目町沼田字新道下
施設面積	15,778.89 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	748,106,038 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れ統合の検討を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

西目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	構内配電線設備改修	8,701	
	(合 計)	8,701	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	860	824	779	
運用コスト	12,091	11,446	9,943	
修繕コスト	1,133	3,880	3,457	
その他	0	0	0	
(合計)	14,084	16,150	14,179	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	525	503	466	

30	施設名	仁賀保高等学校

1 施設の概要

施設名称	仁賀保高等学校	所在地	にかほ市象潟町字下浜山
施設面積	8,824.68 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	363,586,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れ統合の検討を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととする。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

仁賀保高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,909	
	(合 計)	3,909	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,006	1,028	
運用コスト	11,255	12,089	11,855	
修繕コスト	1,806	7,566	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,040	20,661	12,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	455	458	442	

31	施設名	西仙北高等学校

1 施設の概要

施設名称	西仙北高等学校	所在地	大仙市刈和野字北ノ沢嶋山
施設面積	7,144.24 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	245,063,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、秋田市の生徒の進学先の一つとなっていることや学校配置に係る地理的バランス等も考慮し存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

西仙北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根・外壁改修（格技場）	10,941	
H32	屋根・外壁改修（セミナーハウス）他	15,712	
H37	大規模修繕（建築・設備）	191,916	
	(合 計)	218,569	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,000	873	1,090	
運用コスト	7,141	6,703	6,031	
修繕コスト	432	5,331	0	
その他	0	0	0	
(合計)	8,573	12,907	7,121	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	178	201	271	

32	施設名	大曲農業高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校	所在地	大仙市大曲金谷町
施設面積	22,289.25 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	3,532,144,535 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業学科の中心的な専門校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業学科の中心的な専門校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(H25～H29施設整備)		
H30	農場施設給排水設備改修	20,091	
	(合 計)	20,091	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,918	1,941	1,901	
運用コスト	17,369	16,013	13,727	
修繕コスト	0	259	0	
その他	0	0	0	
(合計)	19,287	18,213	15,628	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	563	556	577	

33	施設名	大曲農業高等学校太田分校

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校太田分校	所在地	大仙市太田町横沢字窪関南
施設面積	2,339.13 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	13,827,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	当面の間、廃止又は休止（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、地区全体で少子化が進む中で定員割れが続いており、将来的に一層小規模化が進むことが予想されるため募集停止とする。 なお、募集停止時期は平成37年度までの計画期間中を目途として検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、募集停止を検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

第七次高等学校総合整備計画期間中を目途として募集停止を検討することとしており、併せて現校舎の活用方法について検討する。

4 管理上の課題等

現在のところ、安全性等に特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

今後、募集停止が検討され施設の利活用が未定であることから、大規模修繕は実施しない。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校太田分校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	189	194	338	
運用コスト	1,503	1,574	1,535	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,692	1,768	1,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109	95	85	

34	施設名	大曲高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲高等学校	所在地	大仙市大曲栄町
施設面積	13,202.37 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	451,381,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成33年頃を目処に建替】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	H31～H32 基本・実施設計（改築事業）	319,208	
	（ 合 計 ）	319,208	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,225	1,322	1,379	
運用コスト	14,050	13,733	11,229	
修繕コスト	13,784	2,868	0	
その他	0	0	0	
（合計）	29,059	17,923	12,608	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	731	711	

35	施設名	大曲工業高等学校

1 施設の概要

施設名称	大曲工業高等学校	所在地	大仙市大曲若葉町
施設面積	16,497.85 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,666,565,784 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業学科の中心的な専門校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業学科の中心的な専門校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

校舎棟については耐震補強工事を実施しており、安全性に問題はないが、今後、大規模修繕は必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大曲工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	野球場防球ネット改修	25,938	
H32	建築・設備修繕	15,786	
	(合 計)	41,724	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	1,132	1,069	
運用コスト	13,952	15,543	12,192	
修繕コスト	0	594	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,894	17,269	13,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	473	473	474	

36	施設名	角館高等学校

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校	所在地	仙北市角館町細越町
施設面積	11,896.78 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	901,341,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成26年度に大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	0	1,773	
運用コスト	11,412	400	11,259	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	12,652	400	13,032	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	616	0	777	

37	施設名	角館高等学校（定時制）

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校（定時制）	所在地	仙北市角館町小館
施設面積	4,980.75 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	330,576,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

平成27年度に大規模改修を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校（定時制）に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H34	地下タンク改修	2,000	
	(合 計)	2,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	711	958	186	
運用コスト	8,629	10,819	3,790	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,340	11,777	3,976	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	286	790	42	

38	施設名	六郷高等学校

1 施設の概要

施設名称	六郷高等学校	所在地	仙北郡美郷町六郷字馬場
施設面積	9,533.37 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	528,534,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、全県唯一の福祉科を有する学校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

六郷高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修	24,568	
H30	地下タンク改修等	12,165	
H32	パラペット修繕（危険箇所）	8,000	
H35	大規模修繕（建築・設備）	203,745	
	(合 計)	248,478	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	660	678	814	
運用コスト	7,666	7,578	5,870	
修繕コスト	6,000	6,700	16,265	
その他	0	0	0	
(合計)	14,326	14,956	22,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	332	305	

39	施設名	横手高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校	所在地	横手市睦成字鶴谷地
施設面積	16,164.98 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	774,172,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成32年頃を目処に建替】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	21,609	
	H30-H31 基本・実施設計（改築事業）	284,368	
	H32-H37 施設整備（改築事業）	5,325,357	
	(合 計)	5,631,334	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	761	704	1,050	
運用コスト	13,300	12,035	9,713	
修繕コスト	2,699	3,484	378	
その他	0	0	0	
(合計)	16,760	16,223	11,141	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	777	770	770	

40	施設名	横手城南高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手城南高等学校	所在地	横手市根岸町
施設面積	13,380.01 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,039,069,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

横手城南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築修繕	25,048	
	(合 計)	25,048	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,647	1,476	1,414	
運用コスト	12,582	12,580	10,441	
修繕コスト	423	0	2,524	
その他	0	0	0	
(合計)	14,652	14,056	14,379	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	635	615	595	

41	施設名	横手清陵学院中学校・高等学校

1 施設の概要

施設名称	横手清陵学院中学校・高等学校	所在地	横手市大沢字前田
施設面積	24,685.40 m ²	建設年	平成16年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	3,261,797,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

横手清陵学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H31	第1・第2体育館屋根修繕	57,086	
	(合 計)	57,086	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,806	2,780	3,041	
運用コスト	26,537	26,109	22,569	
修繕コスト	6,383	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	35,726	28,889	25,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	841	820	746	

42	施設名	平成高等学校

1 施設の概要

施設名称	平成高等学校	所在地	横手市平鹿町上吉田字角掛
施設面積	7,836.99 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	868,182,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、増田高校、雄物川高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、増田高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

平成高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根塗装他	5,400	
	(合 計)	5,400	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,479	1,297	1,895	
運用コスト	8,731	7,682	6,311	
修繕コスト	649	0	2,466	
その他	0	0	0	
(合計)	10,859	8,979	10,672	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	369	366	350	

43	施設名	雄物川高等学校

1 施設の概要

施設名称	雄物川高等学校	所在地	横手市雄物川町今宿字まみ袋
施設面積	7,957.61 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	494,938,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、平成高校、増田高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、平成高校、増田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

雄物川高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	2,711	
H34	地下タンク改修	5,000	
	(合 計)	7,711	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,127	1,055	394	
運用コスト	10,337	10,873	9,195	
修繕コスト	0	0	691	
その他	0	0	0	
(合計)	11,464	11,928	10,280	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	374	358	353	

44	施設名	増田高等学校

1 施設の概要

施設名称	増田高等学校	所在地	横手市増田町増田字一本柳
施設面積	14,583.46 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	657,652,022 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、平成高校、雄物川高校との統合について検討を行う。 校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）において、平成高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

増田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	電気室キュービクル更新	3,781	
H32	建築・設備修繕	13,573	
H35	地下タンク改修	2,000	
	(合 計)	19,354	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,003	913	736	
運用コスト	12,191	13,061	10,522	
修繕コスト	12,532	0	900	
その他	0	0	0	
(合計)	25,726	13,974	12,158	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	509	485	484	

45	施設名	湯沢高等学校

1 施設の概要

施設名称	湯沢高等学校	所在地	湯沢市字新町
施設面積	12,195.33 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	695,766,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が進行していることから、今後、建替え又は大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

建物の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

湯沢高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	大規模修繕（建築・設備）	137,919	
	（ 合 計 ）	137,919	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	596	679	614	
運用コスト	14,569	13,758	12,263	
修繕コスト	29,737	3,677	1,318	
その他	0	0	0	
（合計）	44,902	18,114	14,195	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	731	730	697	

46	施設名	湯沢高等学校稲川分校

1 施設の概要

施設名称	湯沢高等学校稲川分校	所在地	湯沢市稲庭町字大森
施設面積	720.20 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	鉄骨1階	台帳価格	33,088,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	当面の間、廃止又は休止（将来除却）
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、地区全体で少子化が進む中で定員割れが続いているため、募集停止を行い閉校とする。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、平成29年度入学者選抜から募集停止とすることとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成38年頃を目処に除却】

平成30年3月に閉校しており、現体育館については湯沢市への譲渡等を検討し、譲渡しない場合は除却する。

4 管理上の課題等

当施設は湯沢高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

閉校しており、大規模修繕は実施しない。

6 管理に関する実施計画

湯沢高等学校稲川分校に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	平成２９年度末で閉校		
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	218	225	225	
運用コスト	1,634	1,574	1,508	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,852	1,799	1,733	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	53	50	39	

47	施設名	湯沢翔北高等学校

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校	所在地	湯沢市湯ノ原
施設面積	15,606.85 m ²	建設年	平成23年
構造・階数	R C造6階	台帳価格	2,056,891,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

湯沢翔北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,365	1,404	1,387	
運用コスト	16,941	16,658	14,305	
修繕コスト	965	259	185	
その他	0	0	0	
(合計)	19,271	18,321	15,877	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	753	752	737	

48	施設名	羽後高等学校

1 施設の概要

施設名称	羽後高等学校	所在地	雄勝郡羽後町字大戸
施設面積	7,099.21 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	451,181,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、中山間地域の生徒の通学や地域の教育・文化における役割等を考慮し存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

羽後高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H36	大規模修繕（建築・設備）	170,900	
H37	地下タンク改修	5,000	
	（ 合 計 ）	175,900	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	719	730	675	
運用コスト	6,457	5,869	4,844	
修繕コスト	0	0	670	
その他	0	0	0	
（合計）	7,176	6,599	6,189	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	303	286	259	

49	施設名	雄勝高等学校

1 施設の概要

施設名称	雄勝高等学校	所在地	湯沢市下院内字小白岩
施設面積	6,919.90 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	274,887,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）に基づき、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～H37）においては、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校にすることとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立高校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

雄勝高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館床改修	5,227	
H33	大規模修繕（建築・設備）	157,463	
	（ 合 計 ）	162,690	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	919	657	424	
運用コスト	5,824	6,156	5,728	
修繕コスト	1,092	15,100	0	
その他	0	0	0	
（合計）	7,835	21,913	6,152	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	264	239	202	

【総括表】

部局(庁)名	教育委員会

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「特別支援学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	視覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	聴覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	比内支援学校	大館市	存続	建替えを実施
4	比内支援学校たかのす校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
5	比内支援学校かづの校	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
6	能代支援学校	能代市	存続	大規模修繕を実施
7	栗田支援学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	大曲支援学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	横手支援学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
10	稲川支援学校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
11	ゆり支援学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
12	天王みどり学園	潟上市	存続	大規模修繕を実施
13	秋田きらり支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	視覚支援学校

1 施設の概要

施設名称	視覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,167.34 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	358,165,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の視覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	2,788	
	(合 計)	2,788	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

2	施設名	聴覚支援学校

1 施設の概要

施設名称	聴覚支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	3,395.09 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	383,110,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の聴覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

聴覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	建築・設備修繕	5,904	
	(合 計)	5,904	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

3	施設名	比内支援学校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校	所在地	大館市比内町達子字前田野
施設面積	6,093.99 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	267,269,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施
「基本的な方針の考え方」 大館地区の知的障害の特別支援学校として存続していく。建築から40年以上経過しており、建築当時と環境等が大きく変化しており、老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【平成30年頃を目処に建替】

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、教育活動に支障が生じている。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(比内支援学校整備事業)		
H29	実施設計	92,787	
H30-H34	施設整備	2,950,096	
	(合 計)	3,042,883	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,131	1,374	1,073	
運用コスト	14,323	13,324	11,279	
修繕コスト	5,209	3,609	1,521	
その他	0	0	0	
(合計)	20,663	18,307	13,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	188	213	180	

4	施設名	比内支援学校たかのす校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校たかのす校	所在地	北秋田市七日市字家向
施設面積	1,471.60 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	木造1階	台帳価格	62,252,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 北秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校たかのす校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備改修	3,471	
H33	大規模修繕（建築・設備）	63,439	
H37	地下タンク改修	3,000	
	(合 計)	69,910	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	528	472	481	
運用コスト	3,822	2,916	2,694	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	4,350	3,388	3,175	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	72	85	90	

5	施設名	比内支援学校かづの校

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校かづの校	所在地	鹿角市花輪字案内
施設面積	1,542.48 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	126,310,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 鹿角地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校かづの校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	224	158	158	
運用コスト	2,707	2,755	2,637	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,931	2,913	2,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	70	75	90	

6	施設名	能代支援学校

1 施設の概要

施設名称	能代支援学校	所在地	能代市真壁地字トトメキ沢
施設面積	6,477.95 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	917,590,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 能代地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

能代支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	誘導灯改修、電気設備改修	6,920	
H30	校地内通路舗装	1,500	
H30	空調設備更新	140,764	H31に繰越
H35	大規模修繕（建築・設備）	220,656	
	(合 計)	369,840	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,415	1,504	1,525	
運用コスト	10,783	10,161	9,219	
修繕コスト	0	5,600	2,129	
その他	0	0	0	
(合計)	12,198	17,265	12,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	200	182	

7	施設名	栗田支援学校

1 施設の概要

施設名称	栗田支援学校	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	13,477.44 m ²	建設年	平成12年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,551,364,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

安全性に問題はないが、小学部棟については築35年以上経っていることや、高等部の教室が不足しているなど施設機能に不具合が生じている。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

栗田支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ガス配管等改修	3,498	
H30	ブロック塀改修	42,723	H31に繰越
H30	空調設備更新	207,662	H31に繰越
H32	大規模修繕（建築・設備）	170,100	
	(合 計)	423,983	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,448	1,235	1,165	
運用コスト	19,855	18,191	14,207	
修繕コスト	1,456	4,077	15,141	
その他	0	0	0	
(合計)	22,759	23,503	30,513	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	372	388	408	

8	施設名	大曲支援学校

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校	所在地	大仙市大曲西根字下成沢
施設面積	7,332.15 m ²	建設年	平成4年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	782,919,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 大仙地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	189,516	H31に繰越
H34	大規模修繕（建築・設備）	210,684	
	（ 合 計 ）	400,200	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,162	1,087	1,382	
運用コスト	13,798	11,523	10,834	
修繕コスト	1,742	0	27,458	
その他	0	0	0	
（合計）	16,702	12,610	39,674	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	281	271	272	

9	施設名	横手支援学校

1 施設の概要

施設名称	横手支援学校	所在地	横手市赤坂字仁坂
施設面積	6,249.63 m ²	建設年	平成8年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	479,147,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 横手地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

横手支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	4,365	
H33	大規模修繕（建築・設備）	113,218	
	（ 合 計 ）	117,583	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	806	1,055	839	
運用コスト	6,116	6,026	5,788	
修繕コスト	0	2,439	25,852	
その他	0	0	0	
（合計）	6,922	9,520	32,479	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	169	157	167	

10	施設名	稲川支援学校

1 施設の概要

施設名称	稲川支援学校	所在地	湯沢市駒形町字八面寺下谷地
施設面積	3,403.94 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	272,824,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 湯沢地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

稲川支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	地下タンク改修	5,000	
H36	大規模修繕（建築・設備）	93,279	
	（ 合 計 ）	98,279	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,103	873	836	
運用コスト	4,439	4,273	3,458	
修繕コスト	771	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	6,313	5,146	4,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	111	124	123	

11	施設名	ゆり支援学校

1 施設の概要

施設名称	ゆり支援学校	所在地	由利本荘市水林
施設面積	6,256.50 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,142,986,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 由利本荘地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

より支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	180,591	H31に繰越
H32	建築・設備修繕	21,958	
H37	大規模修繕（建築・設備）	135,560	
	(合 計)	338,109	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,427	1,699	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	139	1,410	626	
その他	0	0	0	
(合計)	12,581	13,836	12,762	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

12	施設名	天王みどり学園

1 施設の概要

施設名称	天王みどり学園	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	5,133.06 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	867,185,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 男鹿・南秋地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、10年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

天王みどり学園に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	大規模修繕（建築・設備）	55,448	
	（ 合 計 ）	55,448	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,045	1,021	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	704	793	0	
その他	0	0	0	
（合計）	12,764	12,541	12,136	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

13	施設名	秋田きらり支援学校

1 施設の概要

施設名称	秋田きらり支援学校	所在地	秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢
施設面積	11,501.51 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,471,619,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の肢体不自由支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性格上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

現在の県立特別支援学校の機能を、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田きらり支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	外構整備	3,964	
H33	建築・設備修繕	12,134	
	(合 計)	16,098	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	8,083	9,112	8,404	
運用コスト	37,993	37,205	34,314	
修繕コスト	1,200	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	47,276	46,317	42,718	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	462	437	437	

【総括表】

部局(庁)名	教育委員会

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「教育機関」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合教育センター	潟上市	存続	大規模修繕を実施
2	自然体験活動センター	八峰町	存続	大規模修繕を実施
3	青少年交流センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
4	県立美術館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	近代美術館	横手市	存続	大規模修繕を実施
6	博物館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	奈良家	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	埋蔵文化財センター	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	農業科学館	大仙市	存続	大規模修繕を実施
10	図書館・公文書館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	あきた文学資料館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	生涯学習センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	大館少年自然の家	大館市	存続	大規模修繕を実施
14	保呂羽山少年自然の家	横手市	存続	大規模修繕を実施
15	岩城少年自然の家	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
16	旧県立美術館	秋田市	廃止	民間等への譲渡を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	総合教育センター

1 施設の概要

施設名称	総合教育センター	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	14,861.00㎡	建設年	平成7年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	3,129,678,000円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県における教職員の研修施設として大きな役割を果たしており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

総合教育センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	68,460	
H32	設備修繕	51,385	
H33	設備修繕	5,098	
H36	大規模修繕（建築・設備）	226,558	
H37	大規模修繕（建築・設備）	178,404	
	(合 計)	529,905	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	44,039	44,139	45,283	
運用コスト	21,653	23,612	18,348	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	65,692	70,381	78,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	100	100	110	

2	施設名	自然体験活動センター

1 施設の概要

施設名称	自然体験活動センター	所在地	山本郡八峰町八森字御所の台
施設面積	2,660.08 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	302,036,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然体験活動の機会を提供し、青少年の心身の健全な発達と県民の生涯学習の振興に資する施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

八峰町を指定管理者としており、公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

八峰町へ譲渡する可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

現在も八峰町を指定管理者としており、隣接するはたはた館と一体的な運営をしている。

3 目標使用年数 【今後30年以上使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

自然体験活動センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,567	3,796	3,638	
運用コスト	5,465	5,401	4,286	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	9,032	11,827	22,322	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	15,196	14,879	14,901	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,353	10,114	9,900	

3	施設名	青少年交流センター

1 施設の概要

施設名称	青少年交流センター	所在地	秋田市寺内神屋敷
施設面積	8,452.60 m ²	建設年	平成11年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,951,082,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・青少年に対する研修と青少年の交流・学習機会の提供等を行う施設として位置づけられている。 ・建設年が比較的新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（一財）秋田県青年会館を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

青少年交流センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修等	21,756	
	(合 計)	21,756	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	19,563	18,434	18,742	
運用コスト	50,503	49,628	45,295	
修繕コスト	882	1,681	2,758	
その他	0	0	0	
(合計)	70,948	69,743	66,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,679	69,281	75,354	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85,663	86,616	83,844	

4	施設名	県立美術館

1 施設の概要

施設名称	県立美術館	所在地	秋田市中通
施設面積	3,746.66 m ²	建設年	平成24年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,124,467,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県民の美術に関する教養の向上に資するとともに、平野政吉美術財団が所有する藤田嗣治を中心とした美術作品の展示施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（公財）平野政吉美術財団を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要になる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

県立美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	県民ギャラリー等改修	79,839	
	(合 計)	79,839	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,823	10,899	10,859	
運用コスト	24,220	27,522	23,351	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	30,043	38,421	34,210	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,079	38,986	23,091	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	96,890	144,864	124,135	

5	施設名	近代美術館

1 施設の概要

施設名称	近代美術館	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	11,166.50 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	SRC造7階	台帳価格	3,835,917,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県にゆかりのある作家の優れた美術作品を中心に収集・保管・展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う施設と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

近代美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	中央監視設備改修	47,063	
H29	企画展示室等改修	83,128	
H37	大規模修繕（建築・設備）	263,596	
	(合 計)	393,787	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,445	57,559	57,559	
運用コスト	31,809	32,524	30,404	
修繕コスト	25,454	5,562	287	
その他	0	0	0	
(合計)	113,708	95,645	88,250	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,447	11,665	19,877	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	102,677	92,210	141,776	

6	施設名	博物館

1 施設の概要

施設名称	博物館	所在地	秋田市金足鳩崎字後山
施設面積	11,952.81 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,217,015,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・郷土の自然と人文に関する認識を深め、県民の学術及び文化の発展に寄与する、県内唯一の総合博物館と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

博物館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	大規模修繕（設備）	111,183	
H33	大規模修繕（設備）	165,689	
	（ 合 計 ）	276,872	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,279	11,203	11,250	
運用コスト	27,858	28,057	25,736	
修繕コスト	2,789	57,542	46,000	
その他	0	0	0	
（合計）	41,926	96,802	82,986	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	8,589	4,605	7,293	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,393	104,036	107,277	

7	施設名	奈良家

1 施設の概要

施設名称	奈良家	所在地	秋田市金足鳩崎字後山
施設面積	1,465.27㎡	建設年	昭和44年
構造・階数	木造1階	台帳価格	10円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 国指定重要文化財であり、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないが、今後、老朽箇所の大規模修繕等が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

奈良家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H33	大規模修繕（建築・設備）	25,390	
	（ 合 計 ）	25,390	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	878	765	705	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	878	765	705	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※利用者数は博物館に含める

8	施設名	埋蔵文化財センター

1 施設の概要

施設名称	埋蔵文化財センター	所在地	大仙市払田字牛嶋
施設面積	11,910.12 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	497,900,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県唯一の埋蔵文化財調査機関として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

- ・ 建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。
- ・ 出土品の収蔵スペースに限りがあり、将来的に収蔵庫の増設を検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

埋蔵文化財センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水設備改修	5,947	
H32	地下タンク改修	5,000	
H33	大規模修繕（建築・設備）	157,065	
H35	大規模修繕（建築・設備）	98,828	
	(合 計)	266,840	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,458	21,274	1,025	
運用コスト	2,507	3,540	2,345	
修繕コスト	0	0	902	
その他	0	0	0	
(合計)	3,965	24,814	4,272	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,709	8,691	11,261	

9	施設名	農業科学館

1 施設の概要

施設名称	農業科学館	所在地	大仙市内小友字中沢
施設面積	5,032.93 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C 造 1 階	台帳価格	679,634,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県の農林業、農村生活の理解を深め、農林業に関する科学技術について学習の機会を提供する施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根鉄板葺きの改修周期は30年、外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

農業科学館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	大規模修繕（建築）	55,451	
H36	大規模修繕（建築・設備）	130,725	
	（ 合 計 ）	186,176	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,902	10,076	10,046	
運用コスト	11,826	10,794	7,933	
修繕コスト	22,000	10,598	895	
その他	0	0	0	
（合計）	43,728	31,468	18,874	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	72	85	62	貸館分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	88,372	88,982	96,950	

10	施設名	図書館・公文書館

1 施設の概要

施設名称	図書館・公文書館	所在地	秋田市山王新町
施設面積	12,445.73 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,930,852,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県公立図書館の中心的な役割を担い、また唯一の県立図書館として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

図書館・公文書館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	直流電流設備改修	24,261	
H32	設備修繕	17,465	
H35	大規模修繕（建築・設備）	149,349	
H36	大規模修繕（建築・設備）	100,294	
	(合 計)	291,369	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	27,755	28,692	27,508	
運用コスト	42,255	47,377	43,425	
修繕コスト	945	5,549	22,637	
その他	0	0	0	
(合計)	70,955	81,618	93,570	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	450,106	438,108	421,547	

11	施設名	あきた文学資料館

1 施設の概要

施設名称	あきた文学資料館	所在地	秋田市中通
施設面積	874.81 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	124,651,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田にゆかりのある作家の資料等を収集・保存・公開し、併せて県民の多彩な文学活動の拠点として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

県立図書館と集約化できる可能性があるか、今後検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

機能維持のための修繕を実施しながら使用するが、大規模修繕が必要となった場合、県立図書館を含めた他の県有施設と集約化できる可能性があるか検討する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

あきた文学資料館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,078	1,029	996	
運用コスト	1,686	1,746	1,659	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,764	2,775	2,655	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,692	7,201	6,922	

12	施設名	生涯学習センター

1 施設の概要

施設名称	生涯学習センター	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	6,299.60 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	R C造5階	台帳価格	428,857,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・生涯学習に関する調査研究を行うとともに、県民に学習の機会を提供し、生涯学習の振興を図る施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

将来的な建替えの際、近隣の県有施設との集約化について検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用するが、老朽化が進んでいることから、将来的な建替えも視野に入れることとする。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水の改修周期は20年、外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

生涯学習センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	23,233	
H30	視聴覚室空調設備改修	9,729	
H31	ボイラー更新	25,884	
H34	大規模修繕（建築・設備）	353,168	
	(合 計)	412,014	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,411	16,411	16,398	
運用コスト	19,435	18,994	17,160	
修繕コスト	1,827	7,000	49	
その他	0	0	0	
(合計)	37,673	42,405	33,607	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,950	2,902	3,026	使用料（貸館）
〃	1,450	1,465	1,368	スマートカレッジ受講料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,457	109,327	114,608	

13	施設名	大館少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	大館少年自然の家	所在地	大館市東字岩神沢
施設面積	3,244.61 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	160,680,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県北地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	17,994	
H30	屋根改修等	8,016	
H33	大規模修繕（建築・設備）	90,216	
	(合 計)	116,226	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,391	2,543	2,072	
運用コスト	3,628	3,686	3,228	
修繕コスト	0	0	129	
その他	0	0	0	
(合計)	6,019	6,229	5,429	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	163	141	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	26,483	26,080	25,735	

14	施設名	保呂羽山少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	保呂羽山少年自然の家	所在地	横手市大森町八沢木字大木屋
施設面積	3,332.69 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	182,892,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県南地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

保呂羽山少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	17,728	
H30	外壁改修等	4,016	
H34	大規模修繕（建築・設備）	105,965	
	(合 計)	127,709	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,588	2,645	2,574	
運用コスト	3,447	3,595	3,172	
修繕コスト	654	86	626	
その他				
(合計)	6,689	6,326	6,372	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	130	118	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	17,321	17,790	17,932	

15	施設名	岩城少年自然の家

1 施設の概要

施設名称	岩城少年自然の家	所在地	由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢
施設面積	4,805.00 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C造1階	台帳価格	358,921,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・中央地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

岩城少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	宿泊棟給排水設備等改修	6,449	
H34	地下タンク改修	5,000	
H35	大規模修繕（建築・設備）	86,579	
	(合 計)	98,028	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,167	4,341	3,814	
運用コスト	5,305	5,922	5,363	
修繕コスト				
その他				
(合計)	9,472	10,263	9,177	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	515	506	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	23,238	22,840	25,854	

16	施設名	旧県立美術館

1 施設の概要

施設名称	旧県立美術館	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	2,860.31 m ²	建設年	昭和41年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	126,296,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田市への譲渡を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

秋田市への譲渡を検討している。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【未定】

秋田市への譲渡を検討しているため、使用年数は未定である。

4 管理上の課題等

施設の使用には、耐震化、設備の更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

秋田市への譲渡を検討しているため、修繕等は実施しない。

6 管理に関する実施計画

旧県立美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,311	1,092	793	
運用コスト	7,170	996	804	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	8,481	2,088	1,597	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	0	0	0	

秋田県公共施設等総合管理計画推進本部

(事務局：秋田県出納局財産活用課)

〒010-8570

秋田市山王四丁目1番1号

TEL：018-860-2733

FAX：018-860-3900